

令和6年3月15日

地方創生特別委員会

企画調整部企画課

浜松市総合戦略について

◆ 資 料 ◆

- | | |
|-----|---------------------------------|
| 資料1 | 市民意識調査（アンケート）の中間報告について |
| 資料2 | 人口減少の状況について |
| 資料3 | 出身地に対する意識についてのインタビュー |
| 資料4 | 政令指定都市比較による人口減少の現状 |
| 資料5 | 今後のスケジュールについて |
| 資料6 | 2023年度第2回浜松市“やらまいか”総合戦略推進会議について |

市民意識調査（アンケート）の中間報告について

1 市民意識調査について

浜松市では、平成 26 年 12 月に市の最上位計画として策定した 30 年間の総合計画のうち、10 年間の総合的な政策を定める基本計画が令和 6 年度で終期を迎えることから、次期基本計画の作成作業を進めております。

次期基本計画の策定にあたり、ウェルビーイング¹の視点を取り入れ、市民の皆様の生活満足度や、幸せにとって特に重要だと思うものなどについてアンケート調査を行ったことから、中間報告として回答の単純集計結果を報告します。

2 調査概要

- 調査地域：浜松市全域
- 発送数：5,000 人（満 18 歳以上の市民 5,000 人）
- 抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法：質問紙郵送法（Web 回答も可）
- 調査期間：2023 年 11 月 17 日～2023 年 12 月 10 日
- 有効回収数：2,640 人（郵送：1890 人、Web：750 人）
- 有効回収率：52.8%

3 調査内容

(1) アンケート構成（合計 49 指標） 別紙 1：指標・質問文一覧表

アンケートの質問文（指標）は「総合指標」、「分野指標」、「個別指標」の 3 層構成としている。

①総合指標（8 指標）

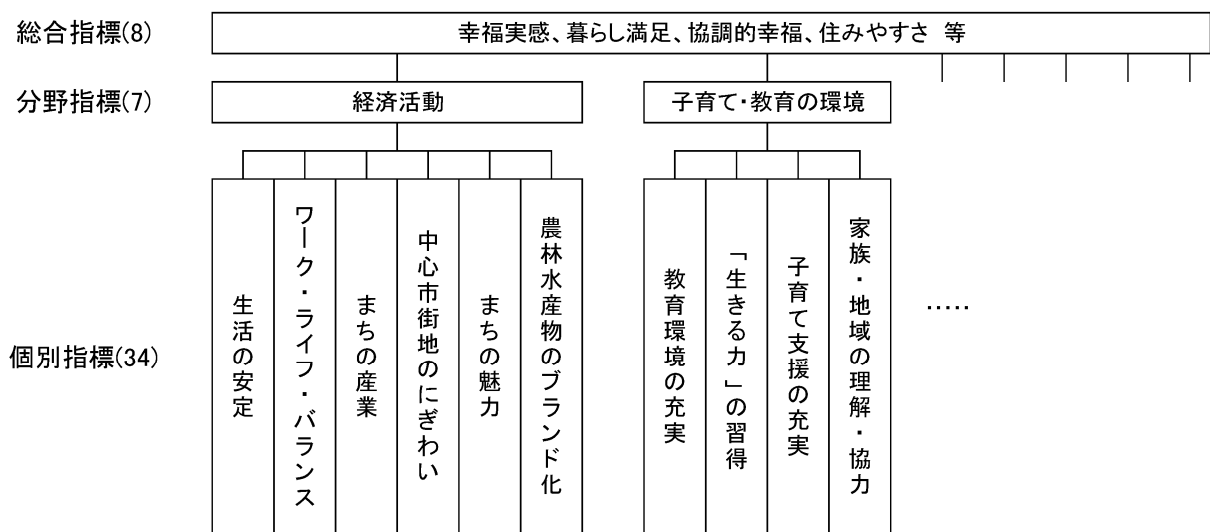
幸福実感、暮らしの満足といった分野横断的で総合的な実感を把握するための質問。

②分野指標（7 指標）

各分野に関する実感を把握するための質問。

③個別指標（34 指標）

各分野に関する具体的な項目について実感を把握するための質問。



¹ ウェルビーイング：WHO の健康の定義によると「健康の定義身体的、精神的、社会的に良好な状態（well-being）」を指す。

(2) 質問内容 **別紙 2：調査票**

①分野ごとの質問（分野指標+個別指標） ※別紙 2：調査票 P1～P8

「産業経済」、「子育て・教育」、「安全・安心・快適」、「環境・エネルギー」、「健康・福祉」、「文化・生涯学習」、「地方自治・都市経営」の 7 分野に関して、現在の実感と、自身の幸せにとって重要だと思う項目を質問した。

ア 実感に関する回答方法

分野指標及び個別指標について「感じる」、「やや感じる」、「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「感じない」の 5 段階評価 + 「わからない」のいずれかを選択。

イ 重要度に関する回答方法

個別指標のうち「あなたの幸せにとって特に重要だと思うもの」として 1～3 位までの順位を回答。

②すべての分野に関する質問 ※別紙 2：調査票 P9～P10

幸福実感や暮らしの満足といった分野横断的で総合的な内容に関して、現在の実感や自身の幸せにとって重要だと思う項目を質問した。

ア 実感に関する回答方法

- ・幸福や暮らしの満足に関する総合的な 3 指標について「とても幸せ」を 10 点、「とても不幸」を 0 点とする 11 段階評価のいずれかを選択。
- ・生活実感に関する分野横断的な 5 指標について「感じる」、「やや感じる」、「どちらともいえない」、「あまり感じない」、「感じない」の 5 段階評価 + 「わからない」のいずれかを選択。

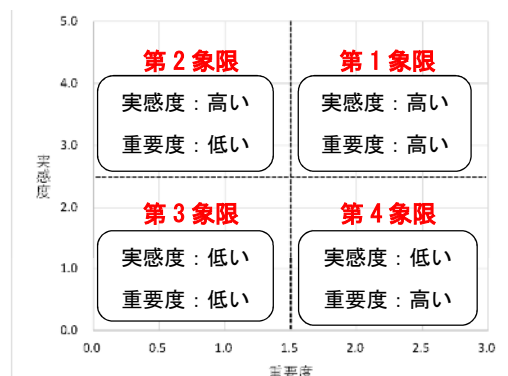
イ 重要度に関する回答方法

- ・「産業経済」、「子育て・教育」、「安全・安心・快適」、「環境・エネルギー」、「健康・福祉」、「文化・生涯学習」、「地方自治・都市経営」の 7 分野について「あなたの幸せにとって現在重要だと思うもの」として 1～7 位までの順位を回答。
- ・上記 7 分野について「あなたの幸せにとって 10 年後に重要だと思うもの」として 1～3 位までの順位を回答。

(3) アンケートの集計と可視化の手法

実感や重要度に関する回答の単純集計の他、指標ごとに実感度と重要度を以下のとおり点数化し、散布図により可視化した。

- ・実感度：項目ごとに回答者の点数を合計し、回答数（無回答者は除く）で割った値
- ・重要度：第 1 位を 3 点、第 2 位を 2 点、第 3 位を 1 点として合計した得点を全回答数(2,640 人)で割った値
- ・散布図を 4 つの領域に区分することで、実感度と重要度の乖離等について確認する。



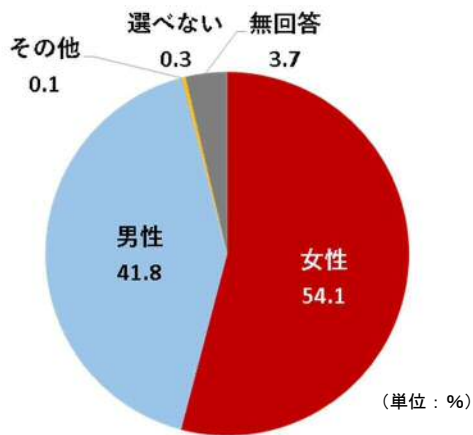
※実感度と重要度の関係のイメージ

- ・散布図は分野ごとに作成している
- ・実感度と重要度の平均値を分岐点として、4 つの領域に区分した（第 1～第 4 象限）（解釈の例）
第 4 象限：幸せにとって、重要度は高いが、実感度は低い指標

3 調査結果の概要

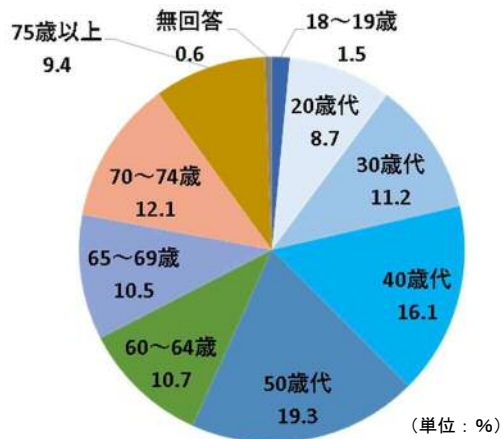
(1) 回答者の属性

① 性別



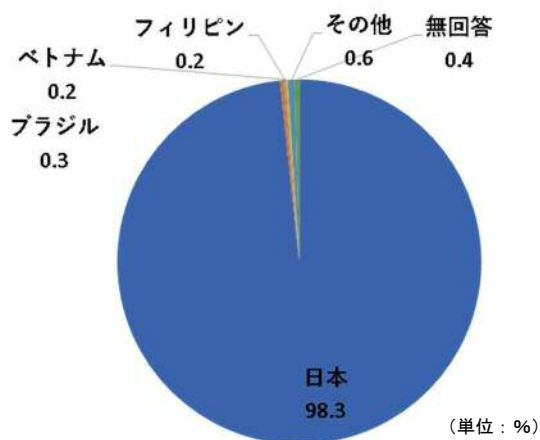
	人数(人)	構成比(%)
女性	1,427	54.1
男性	1,103	41.8
その他	3	0.1
選ばない	9	0.3
無回答	98	3.7
全体	2,640	100.0

② 年齢



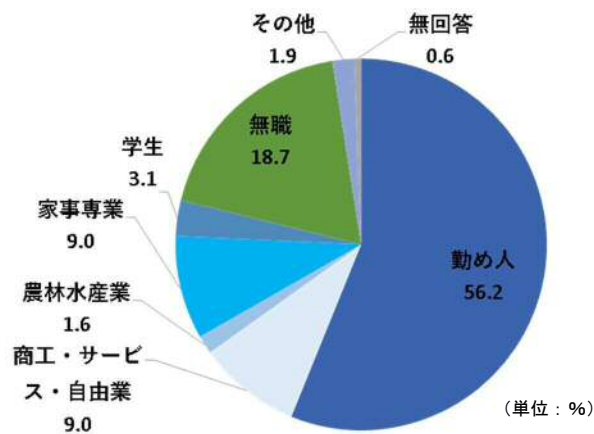
	人数(人)	構成比(%)
18~19歳	39	1.5
20歳代	229	8.7
30歳代	296	11.2
40歳代	425	16.1
50歳代	509	19.3
60~64歳	282	10.7
70~74歳	320	12.1
75歳以上	248	9.4
無回答	15	0.6
全体	2,640	100.0

③ 国籍・地域



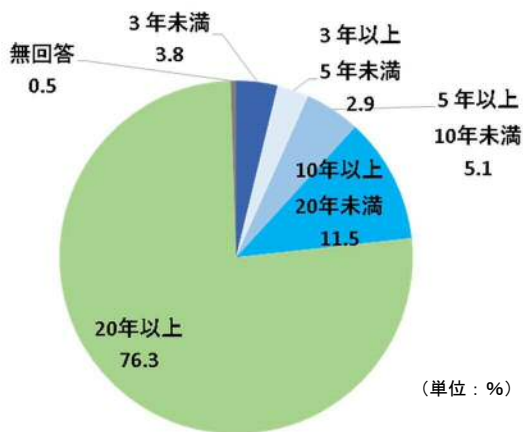
	人数(人)	構成比(%)
日本	2,595	98.3
ブラジル	8	0.3
フィリピン	4	0.2
ベトナム	6	0.2
その他	17	0.6
無回答	10	0.4
全体	2,640	100.0

④職業



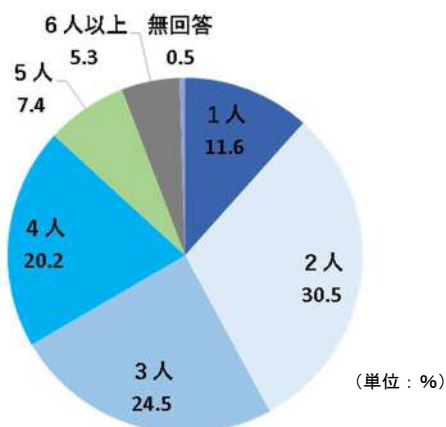
	人数(人)	構成比(%)
勤め人	1,484	56.2
商工・サービス・自由業 (自営・家族従事者)	237	9.0
農林水産業 (自営・家族従事者)	41	1.6
家事専業	237	9.0
学生	82	3.1
無職	494	18.7
その他	50	1.9
無回答	15	0.6
全 体	2,640	100.0

⑤浜松市での居住年数



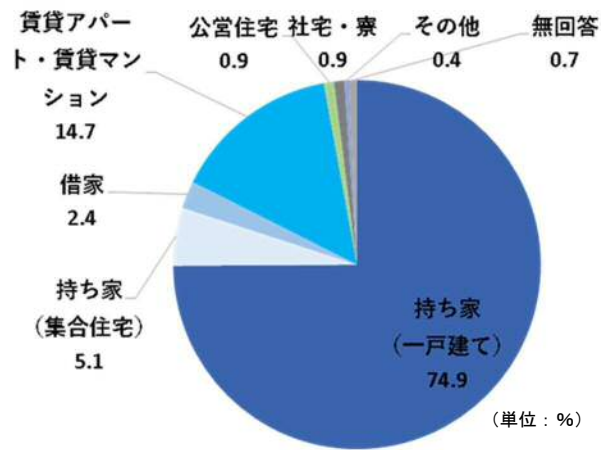
	人数(人)	構成比(%)
3年未満	100	3.8
3年以上	76	2.9
5年未満	76	2.9
5年以上	134	5.1
10年未満	134	5.1
10年以上	303	11.5
20年未満	303	11.5
20年以上	2,014	76.3
無回答	13	0.5
全 体	2,640	100.0

⑥家族数



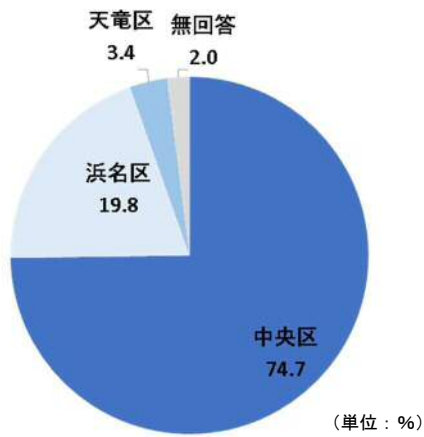
	人数(人)	構成比(%)
1人	306	11.6
2人	805	30.5
3人	648	24.5
4人	532	20.2
5人	195	7.4
6人以上	141	5.3
無回答	13	0.5
全 体	2,640	100.0

⑦居住形態



	人数(人)	構成比(%)
持ち家(一戸建て)	1,977	74.9
持ち家(集合住宅)	134	5.1
借家	63	2.4
賃貸アパート・賃貸マンション	388	14.7
公営住宅	25	0.9
社宅・寮	25	0.9
その他	10	0.4
無回答	18	0.7
全体	2,640	100.0

⑧居住エリア (3区で集計)

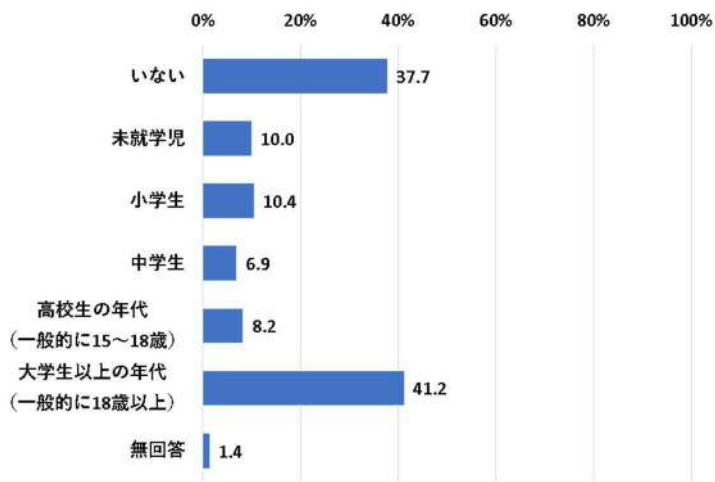


	人数(人)	構成比(%)
中央区	1,973	74.7
浜名区	524	19.8
天竜区	89	3.4
無回答	54	2.0
全体	2,640	100.0

(参考)

	人数(人)	構成比(%)
中区	778	29.5
東区	406	15.4
西区	347	13.1
南区	327	12.4
北区	301	11.4
浜北区	338	12.8
天竜区	89	3.4
無回答	54	2.0
全体	2,640	100.0

⑨子どもの年代（複数回答）

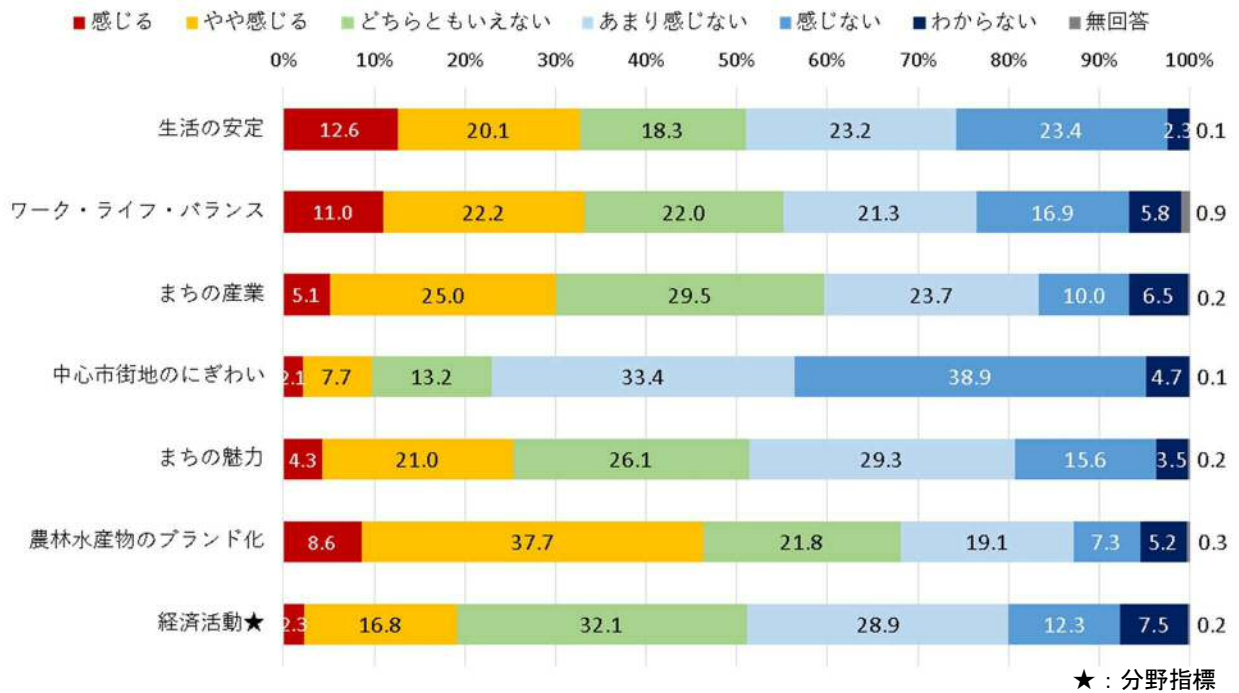


	人数(人)	構成比(%)
いない	995	37.7
未就学児	264	10.0
小学生	274	10.4
中学生	181	6.9
高校生の年代 (一般的に15~18歳)	216	8.2
大学生以上の年代 (一般的に18歳以上)	1,087	41.2
無回答	37	1.4
全 体	2,640	100.0

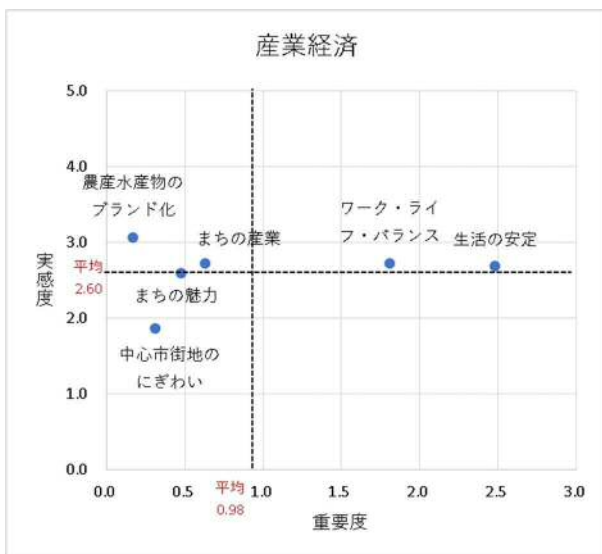
(2) 調査結果

①分野ごとの回答結果

【産業経済】

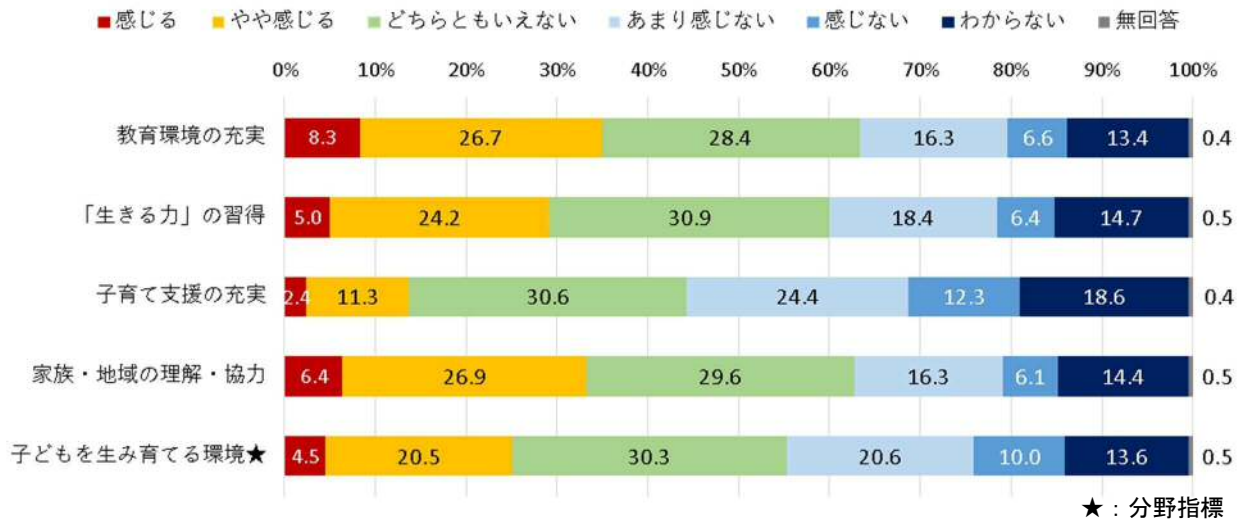


指標※「★」・・・分野指標	質問文
生活の安定	あなたは、生活を送るために必要な収入を得ることができていると感じますか。
ワーク・ライフ・バランス	あなたは、仕事と生活とのバランスが取れていると感じますか。
まちの産業	浜松市の企業は元気で活力があると感じますか。
中心市街地のにぎわい	浜松市の中心市街地はにぎわいがあると感じますか。
まちの魅力	浜松市は、市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか。
農林水産物のブランド化	浜松産の農林水産物は、ブランドとして評価されていると感じますか。
経済活動★	浜松市の経済活動(市民の消費、企業の活動など)は盛んだと感じますか。

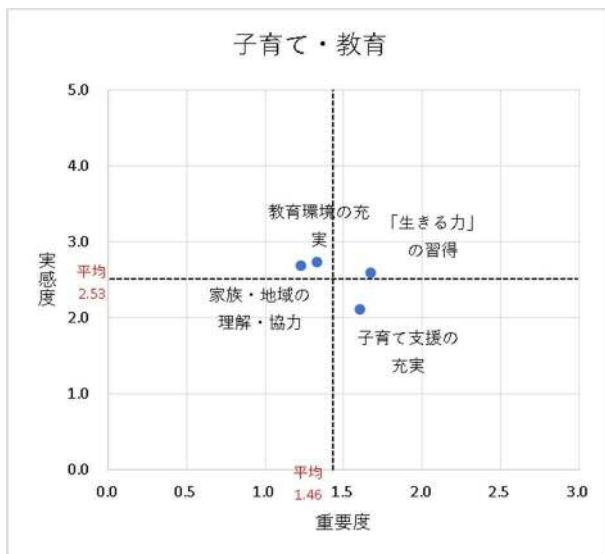


- ・「生活の安定」、「ワーク・ライフ・バランス」の指標については、実感度、重要度ともに高い。
- ・「中心市街地のにぎわい」、「まちの魅力」の指標については、実感度及び重要度ともに低い。
- ・「まちの産業」、「農林水産物のブランド化」の指標については、実感度は高いが、重要度は低い。

【子育て・教育】

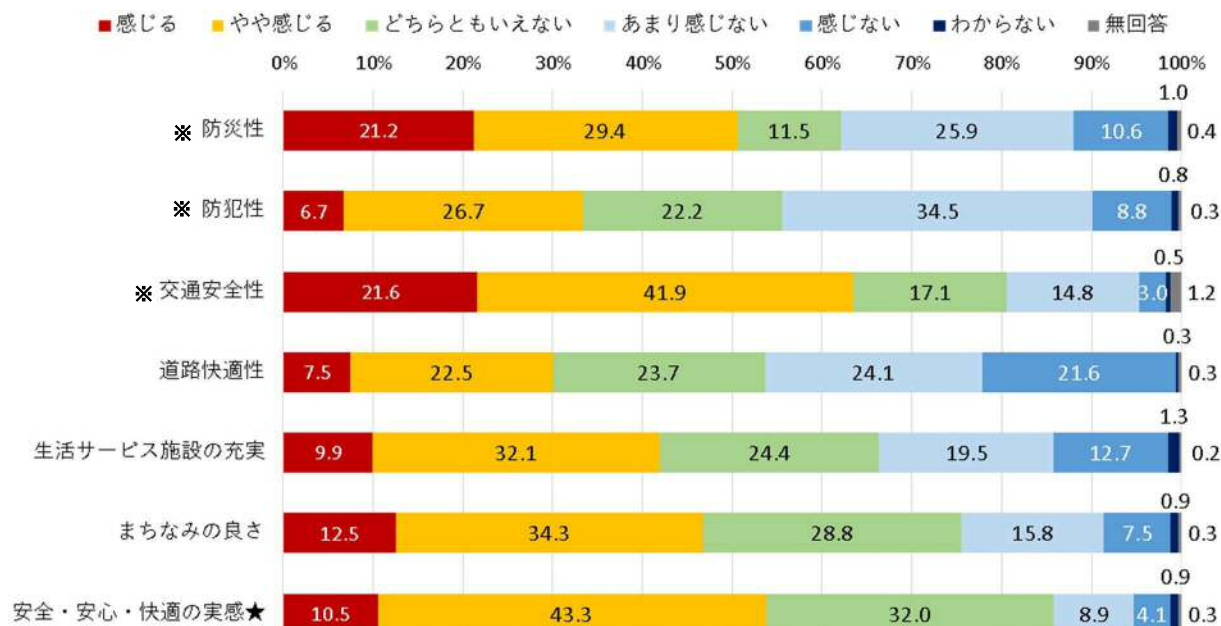


指標※「★」…分野指標	質問文
教育環境の充実	あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか。
「生きる力」の習得	あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか。
子育て支援の充実	あなたの暮らしている地域では、子育て支援が手厚いと感じますか。
家族・地域の理解・協力	あなたのご家族や暮らしている地域の方は、子育てに関する理解や協力があると感じますか。
子どもを生み育てる環境★	あなたの暮らしている地域では、子どもを生み育てやすい環境が整っていると感じますか。



- ・「生きる力」の習得」の指標については、実感度、重要度ともに高い。
- ・「子育て支援の充実」の指標については、重要度は高いが実感度は低い。
- ・「教育環境の充実」、「家族・地域の理解・協力」は実感度は高いが、重要度は低い。

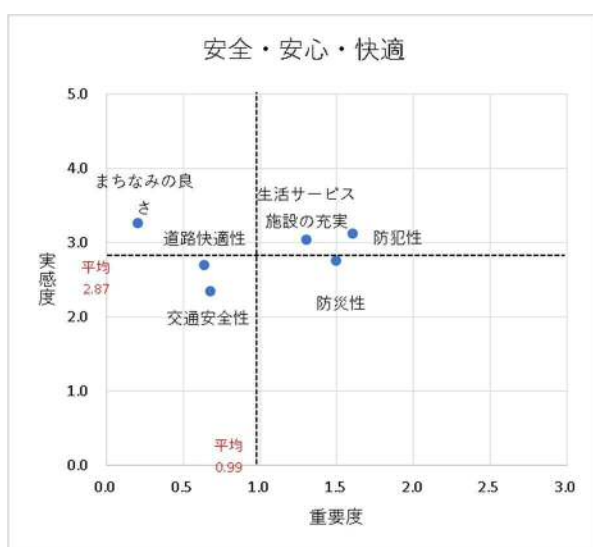
【安全・安心・快適】



「※」の指標は質問文で「危険を感ずるか」、「不安を感ずるか」の負の実感を尋ねていることに留意が必要

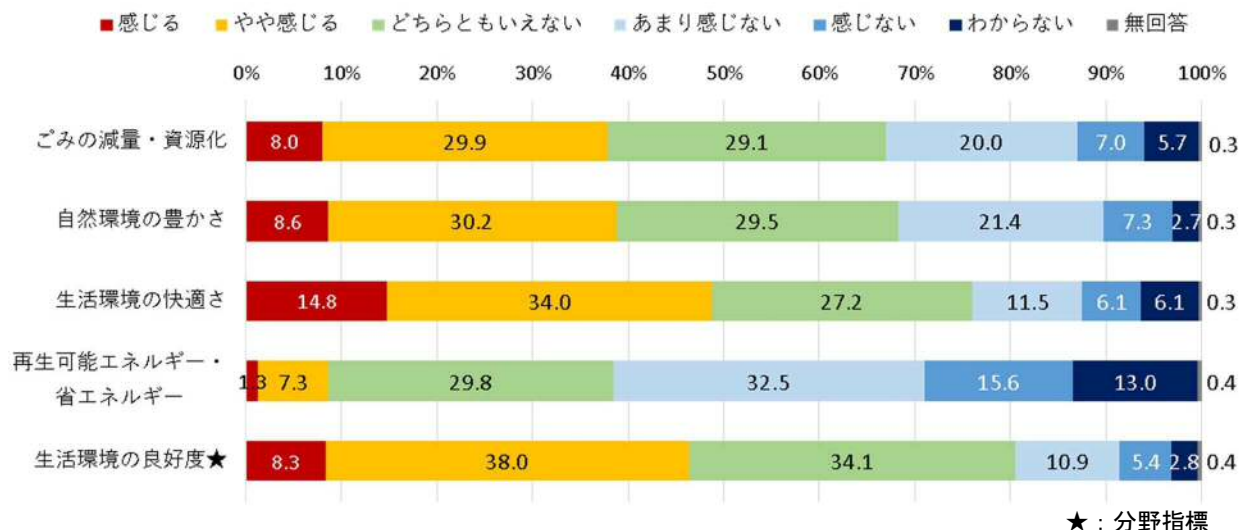
★：分野指標

指標※「★」…分野指標	質問文
防災性	あなたの暮らしている地域で、災害の危険を感ずるか。
防犯性	あなたの暮らしている地域で、犯罪への不安を感ずるか。
交通安全性	あなたの暮らしている地域で、交通事故の危険を感ずるか。
道路快適性	あなたの暮らしている地域では、自動車、自転車、徒歩などにより、快適な移動ができる道路が整備されていると感ずるか。
生活サービス施設の充実	あなたの暮らしている地域の生活サービス施設(医療・福祉、買物、文化、公共交通など)は充実していると感ずるか。
まちなみの良さ	あなたの暮らしている地域のまちなみ(景観・緑など)は良いと感ずるか。
安全・安心・快適の実感★	あなたの暮らしている地域は、安全・安心で住みやすいと感ずるか。

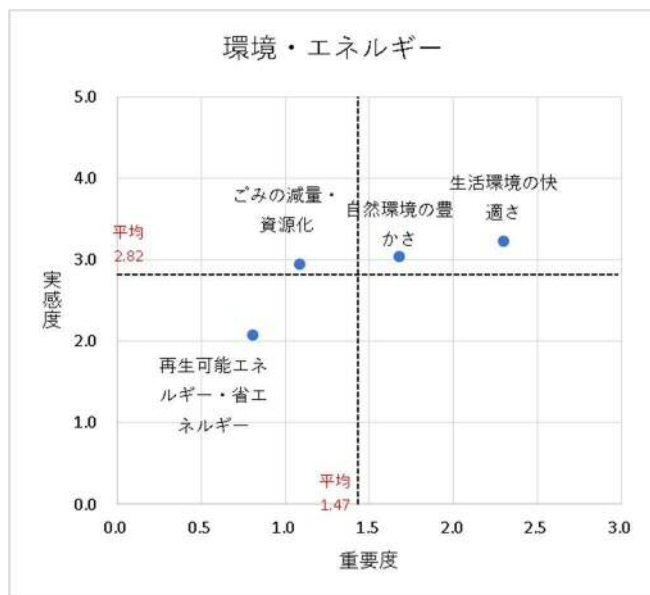


- ・「防犯性」、「生活サービス施設の充実」の指標については、実感度、重要度ともに高い。
- ・「交通安全性」、「道路快適性」の指標については、実感度、重要度ともに低い。
- ・「防災性」の指標については、重要度は高いが、実感度は低い。
- ・「まちなみの良さ」の指標については、実感度は高いが、重要度は低い。

【環境・エネルギー】

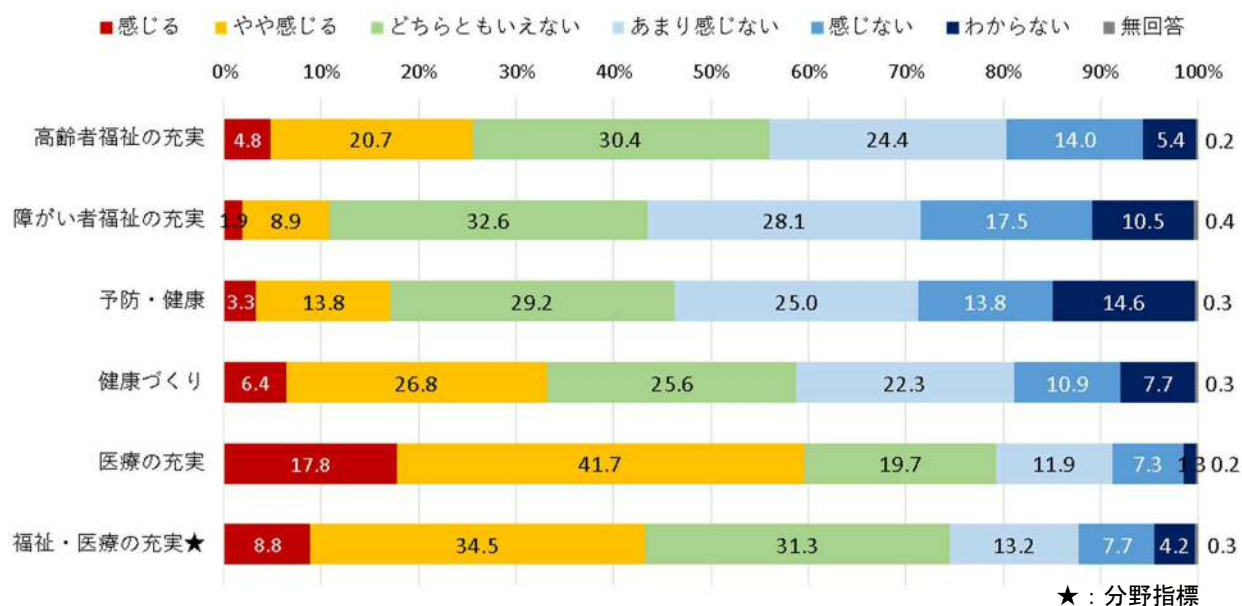


指標※「★」…分野指標	質問文
ごみの減量・資源化	あなたの暮らしている地域では、ごみの減量やリサイクルなど環境に配慮した取組が進んでいると感じますか。
自然環境の豊かさ	あなたの暮らしている地域では、豊かな自然が守られ、自然と触れあう暮らしができていますと感じますか。
生活環境の快適さ	あなたの暮らしている地域の生活環境(大気、水、土壌など)には、大きな問題はないと感じますか。
再生可能エネルギー・省エネルギー	あなたの暮らしている地域で、地球温暖化防止のため、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取組が十分にされていると感じますか。
生活環境の良好度★	あなたの暮らしている地域は、快適で良好な環境にあると感じますか。

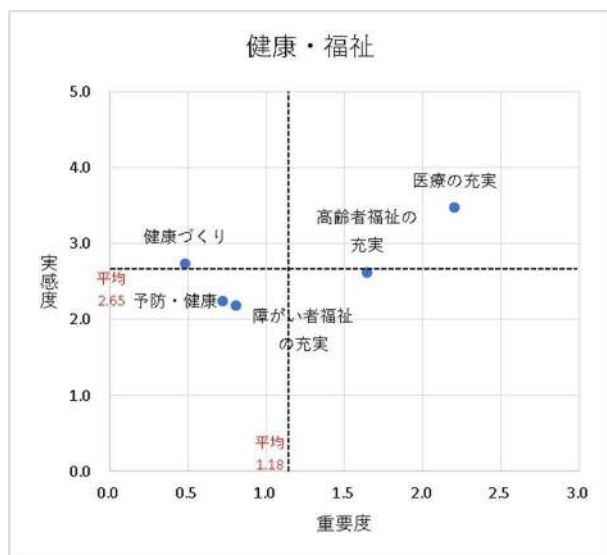


- ・「自然環境の豊かさ」、「生活環境の快適さ」の指標については、実感度、重要度ともに高い。
- ・「再生可能エネルギー・省エネルギー」の指標については、実感度、重要度ともに低い。
- ・「ごみの減量・資源化」の指標については、実感度は高いが、重要度は低い。

【健康・福祉】

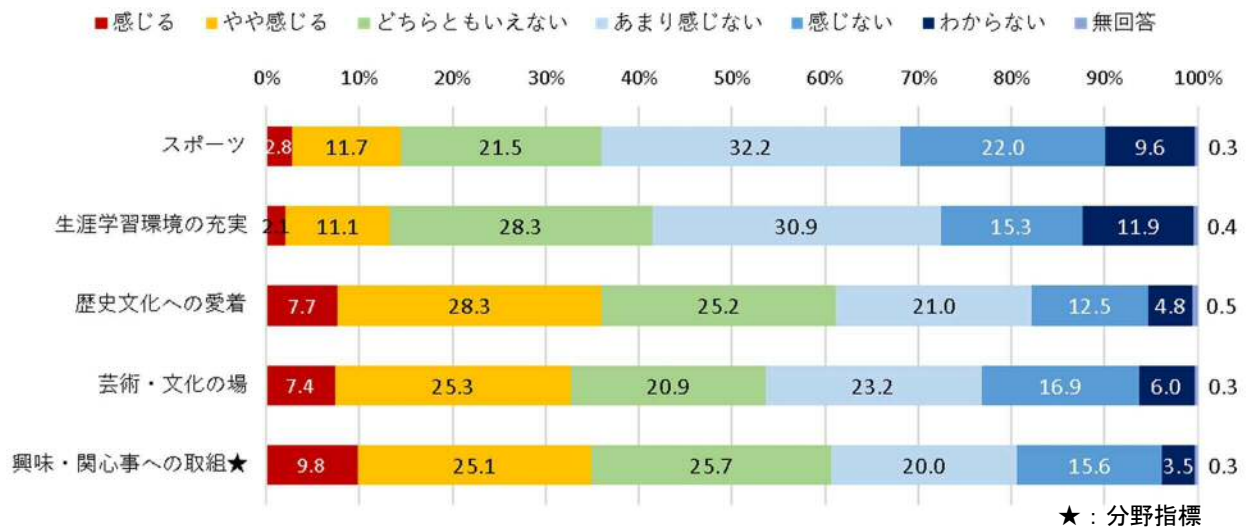


指標※「★」…分野指標	質問文
高齢者福祉の充実	あなたの暮らしている地域は、高齢者が暮らしやすい環境だと感じますか。
障がい者福祉の充実	あなたの暮らしている地域は、障がい者が暮らしやすい環境だと感じますか。
予防・健康	あなたの暮らしている地域では、生活習慣病対策など、健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていると感じますか。
健康づくり	あなたの暮らしている地域では、ウォーキングや体操などの健康づくりの意欲が高いと感じますか。
医療の充実	あなたの暮らしている地域では、安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していると感じますか。
福祉・医療の充実★	あなたの暮らしている地域で、福祉・医療の面において安心して生活ができていると感じますか。

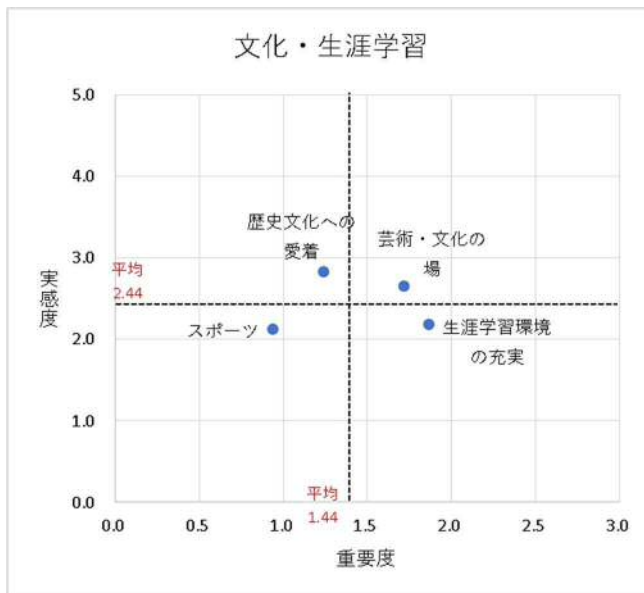


- ・「医療の充実」の指標については、実感度、重要度ともに高い。
- ・「障がい者福祉の充実」、「予防・健康」の指標については、実感度、重要度ともに低い。
- ・「高齢者福祉の充実」の指標については、重要度は高いが、実感度は低い。
- ・「健康づくり」の指標については、実感度は高いが、重要度は低い。

【文化・生涯学習】

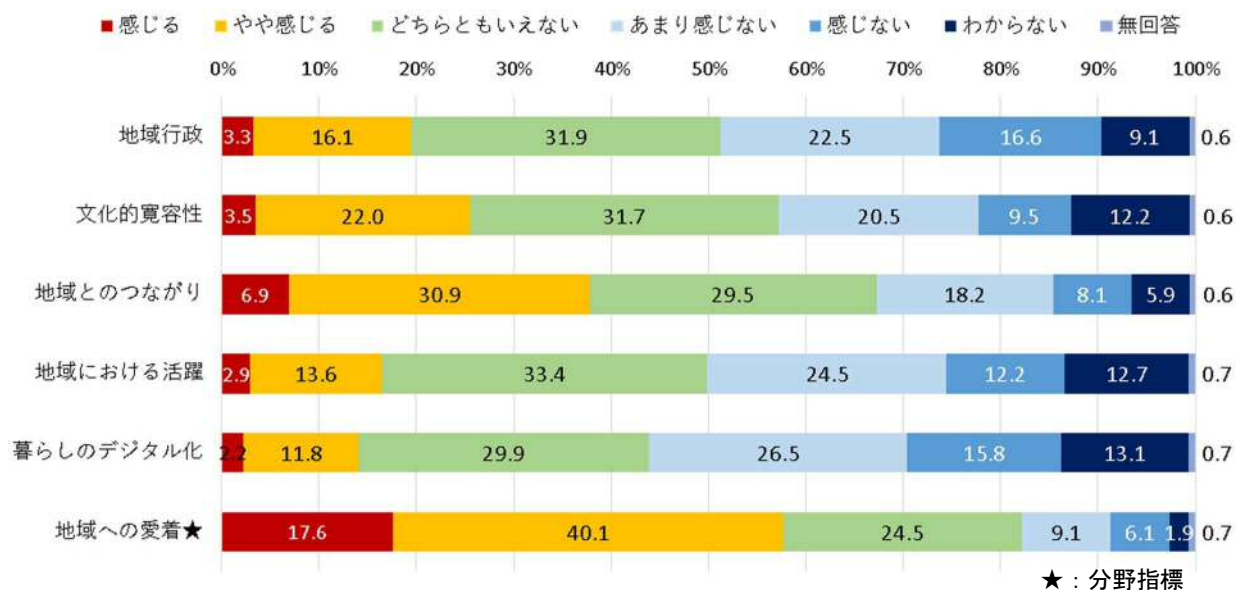


指標※「★」…分野指標	質問文
スポーツ	浜松市では、スポーツを観戦する機会が充実していると感じますか。
生涯学習環境の充実	あなたの暮らしている地域では、生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか。
歴史文化への愛着	あなたは、暮らしている地域の歴史文化に愛着や誇りを感じますか。
芸術・文化の場	あなたの暮らしている地域では、音楽や芸術を鑑賞できる場や文化活動に参加できる場が整っていると感じますか。
興味・関心事への取組★	あなたは、興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか。

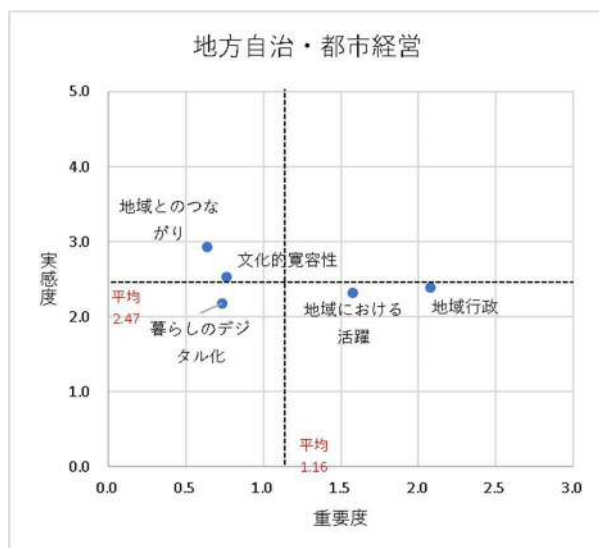


- ・「芸術・文化の場」の指標については、実感度、重要度ともに高い。
- ・「スポーツ」の指標については、実感度、重要度ともに低い。
- ・「生涯学習環境の充実」の指標については、重要度は高いが、実感度は低い。
- ・「歴史文化への愛着」の指標については、実感度は高いが、重要度は低い。

【地方自治・都市経営】



指標※「★」…分野指標	質問文
地域行政	浜松市は、市民のことを真剣に考えていると思いますか。
文化的寛容性	あなたの暮らしている地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか。
地域とのつながり	あなたの暮らしている地域では、自治会や地域行事などの地域活動への参加が盛んだと感じますか。
地域における活躍	あなたの暮らしている地域では、年齢や性別にかかわらず誰もが活躍出来ていると感じますか。
暮らしのデジタル化	あなたの暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすいと感じますか。
地域への愛着★	あなたは、暮らしている地域に対する愛着を持っていますか。

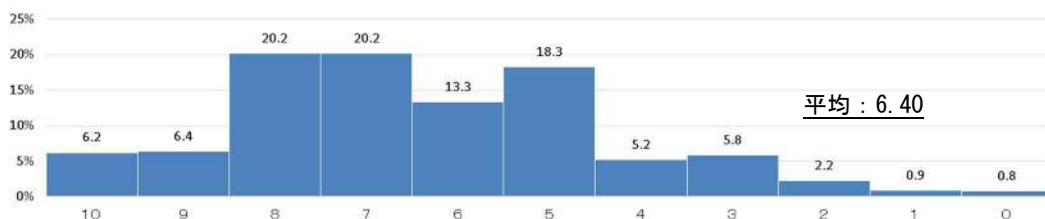


- ・「暮らしのデジタル化」の指標については、実感度、重要度ともに低い。
- ・「地域行政」、「地域における活躍」の指標については、重要度は高いが、実感度は低い。
- ・「文化的寛容性」、「地域とのつながり」の指標については、実感度は高いが、重要度は低い。

③すべての分野に関する回答結果

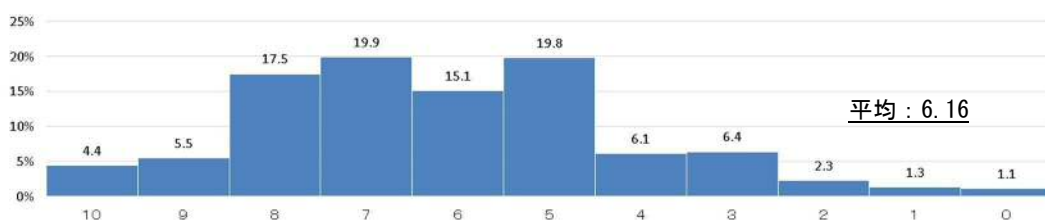
【総合指標No.1 からNo.3】

指標	質問文
幸福実感	現在、あなたはどの程度幸せですか。



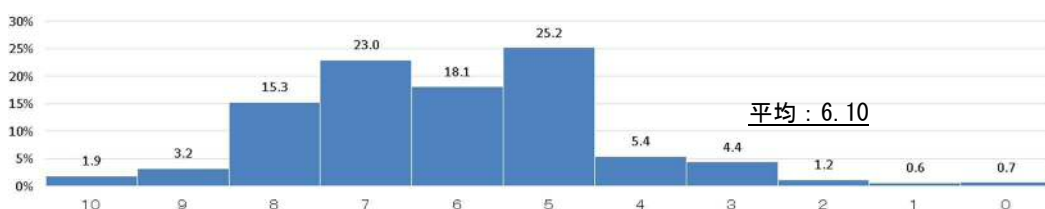
	とても 幸せ 10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	とても 不幸 0	無回答	全体
人数(人)	163	168	532	532	352	484	137	154	58	24	22	14	2,640
構成比(%)	6.2	6.4	20.2	20.2	13.3	18.3	5.2	5.8	2.2	0.9	0.8	0.5	100.0

指標	質問文
暮らしの満足	現在、あなたは浜松市での暮らしにどの程度満足していますか。



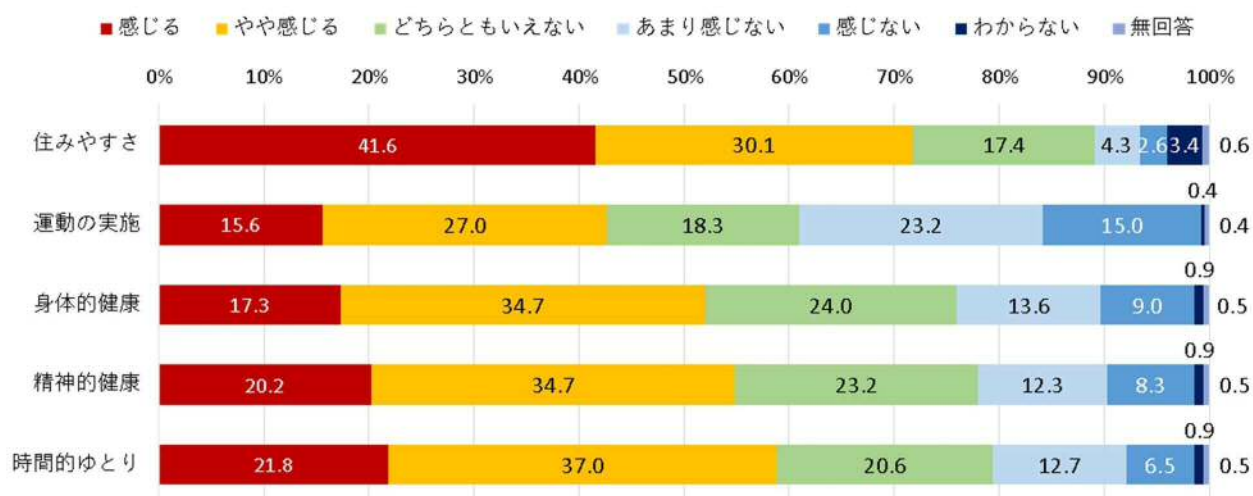
	とても 満足 10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	とても 不満足 0	無回答	全体
人数(人)	115	146	461	526	399	523	161	169	62	34	28	16	2,640
構成比(%)	4.4	5.5	17.5	19.9	15.1	19.8	6.1	6.4	2.3	1.3	1.1	0.6	100.0

指標	質問文
協調的幸福	あなたにとって、身近なまわりの人や大切な人は、大体、どれくらい幸せだと思いますか。



	とても 幸せ 10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	とても 不幸 0	無回答	全体
人数(人)	51	85	404	608	479	665	143	117	31	15	18	24	2,640
構成比(%)	1.9	3.2	15.3	23.0	18.1	25.2	5.4	4.4	1.2	0.6	0.7	0.9	100.0

【総合指標No.4 からNo.8】



指標	質問文
住みやすさ	あなたは、これからも浜松市に住み続けたいと感じますか。
運動の実施	あなたは、体を動かしたり運動したりすることができていると感じますか。
身体的健康	あなたは、身体的に健康な状態だと感じますか。
精神的健康	あなたは、精神的に健康な状態だと感じますか。
時間的ゆとり	あなたは、心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか。

【幸せにとって現在重要だと思う分野】



※重要度：第1位を7点、第2位を6点・・・第7位を1点として合計した得点を全回答数(2,640人)で割った値

質問文
次の7つの分野について、あなたの幸せにとって現在重要だと思う順に、記入欄に順位（1～7位）を記入してください。

分野	概要
産業経済	収入やワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）、地域経済、中心市街地のにぎわいなどについて
子育て・教育	子育て・教育の環境やこどもの成長などについて
安全・安心・快適	犯罪や事故、災害に対する安全・安心や生活サービス施設の充実などについて
環境・エネルギー	環境に配慮した取組や快適で良好な環境などについて
健康・福祉	高齢者や障がい者が暮らしやすい福祉サービスや健康づくりの取組、医療機関の充実などについて
文化・生涯学習	スポーツ観戦の機会や生涯学習の環境、地域の歴史・芸術・文化などについて
地方自治・都市経営	文化や言語が異なる人々の理解や自治会などの地域活動、日常生活におけるデジタル化などについて

【幸せにとって10年後に重要だと思う分野】



※1～3位で順位付けされた比率を分野ごとに示している

※重要度：第1位を3点、第2位を2点、第3位を1点として合計した得点を全回答数(2,640人)で割った値

質問文
あなたの幸せにとって10年後に重要だと思うものを選び、第1位から第3位までの順に、分野の番号(①～⑦)を記入してください。

分野	概要
①産業経済	収入やワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）、地域経済、中心市街地のにぎわいなどについて
②子育て・教育	子育て・教育の環境やこどもの成長などについて
③安全・安心・快適	犯罪や事故、災害に対する安全・安心や生活サービス施設の充実などについて
④環境・エネルギー	環境に配慮した取組や快適で良好な環境などについて
⑤健康・福祉	高齢者や障がい者が暮らしやすい福祉サービスや健康づくりの取組、医療機関の充実などについて
⑥文化・生涯学習	スポーツ観戦の機会や生涯学習の環境、地域の歴史・芸術・文化などについて
⑦地方自治・都市経営	文化や言語が異なる人々の理解や自治会などの地域活動、日常生活におけるデジタル化などについて

【分野に関する現在と10年後の重要度の比較】

	現在の重要度		10年後の重要度	
	重要度	分野ごとの順位	重要度	分野ごとの順位
産業経済	5.05	<u>2</u> 位	1.36	<u>3</u> 位
子育て・教育	4.17	4位	0.90	4位
安全・安心・快適	5.39	<u>1</u> 位	1.44	<u>2</u> 位
環境・エネルギー	3.15	5位	0.43	5位
健康・福祉	4.63	<u>3</u> 位	1.47	<u>1</u> 位
文化・生涯学習	2.33	6位	0.14	6位
地方自治・都市経営	1.93	7位	0.11	7位

※下線は、分野ごとの順位について、現在の重要度と10年後の重要度で異なるもの

総合指標(8)

No.	指標	質問文
1	幸福実感	現在、あなたはどの程度幸せですか。
2	暮らしの満足	現在、あなたは浜松市での暮らしにどの程度満足していますか。
3	協調的幸福	あなたにとって、身近なまわりの人や大切な人は、大体、どれぐらい幸せだと思いますか。
4	住みやすさ	あなたは、これからも浜松市に住み続けたいと感じますか。
5	運動の実施	あなたは、体を動かしたり運動したりすることができていると感じますか。
6	身体的健康	あなたは、身体的に健康な状態だと感じますか。
7	精神的健康	あなたは、精神的に健康な状態だと感じますか。
8	時間的ゆとり	あなたは、心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか。

分野指標+個別指標(41)

分野	No.	指標※「★」…分野指標	質問文
産業経済	9	生活の安定	あなたは、生活を送るために必要な収入を得ることができていると感じますか。
	10	ワーク・ライフ・バランス	あなたは、仕事と生活とのバランスが取れていると感じますか。
	11	まちの産業	浜松市の企業は元気で活力があると感じますか。
	12	中心市街地のにぎわい	浜松市の中心市街地はにぎわいがあると感じますか。
	13	まちの魅力	浜松市は、市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか。
	14	農林水産物のブランド化	浜松産の農林水産物は、ブランドとして評価されていると感じますか。
	15	経済活動★	浜松市の経済活動(市民の消費、企業の活動など)は盛んだと感じますか。
子育て・教育	16	教育環境の充実	あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか。
	17	「生きる力」の習得	あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか。
	18	子育て支援の充実	あなたの暮らしている地域では、子育て支援が手厚いと感じますか。
	19	家族・地域の理解・協力	あなたのご家族や暮らしている地域の方は、子育てに関する理解や協力があると感じますか。
	20	子どもを生み育てる環境★	あなたの暮らしている地域では、子どもを生み育てやすい環境が整っていると感じますか。
安全・安心・快適	21	防災性	あなたの暮らしている地域で、災害の危険を感じますか。
	22	防犯性	あなたの暮らしている地域で、犯罪への不安を感じますか。
	23	交通安全性	あなたの暮らしている地域で、交通事故の危険を感じますか。
	24	道路快適性	あなたの暮らしている地域では、自動車、自転車、徒歩などにより、快適な移動ができる道路が整備されていると感じますか。
	25	生活サービス施設の充実	あなたの暮らしている地域の生活サービス施設(医療・福祉、買物、文化、公共交通など)は充実していると感じますか。
	26	まちなみの良さ	あなたの暮らしている地域のまちなみ(景観・緑など)は良いと感じますか。
	27	安全・安心・快適の実感★	あなたの暮らしている地域は、安全・安心で住みやすいと感じますか。
環境・エネルギー	28	ごみの減量・資源化	あなたの暮らしている地域では、ごみの減量やリサイクルなど環境に配慮した取組が進んでいると感じますか。
	29	自然環境の豊かさ	あなたの暮らしている地域では、豊かな自然が守られ、自然と触れあう暮らしができていると感じますか。
	30	生活環境の快適さ	あなたの暮らしている地域の生活環境(大気、水、土壌など)には、大きな問題はないと感じますか。
	31	再生可能エネルギー・省エネルギー	あなたの暮らしている地域で、地球温暖化防止のため、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取組が十分にされていると感じますか。
	32	生活環境の良好度★	あなたの暮らしている地域は、快適で良好な環境にあると感じますか。
健康・福祉	33	高齢者福祉の充実	あなたの暮らしている地域は、高齢者が暮らしやすい環境だと感じますか。
	34	障がい者福祉の充実	あなたの暮らしている地域は、障がい者が暮らしやすい環境だと感じますか。
	35	予防・健康	あなたの暮らしている地域では、生活習慣病対策など、健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていると感じますか。
	36	健康づくり	あなたの暮らしている地域では、ウォーキングや体操などの健康づくりの意欲が高いと感じますか。
	37	医療の充実	あなたの暮らしている地域では、安心してかかることができる医療機関(病院や薬局など)が充実していると感じますか。
	38	福祉・医療の充実★	あなたの暮らしている地域で、福祉・医療の面において安心して生活ができていると感じますか。
文化・生涯学習	39	スポーツ	浜松市では、スポーツを観戦する機会が充実していると感じますか。
	40	生涯学習環境の充実	あなたの暮らしている地域では、生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか。
	41	歴史文化への愛着	あなたは、暮らしている地域の歴史文化に愛着や誇りを感じますか。
	42	芸術・文化の場	あなたの暮らしている地域では、音楽や芸術を鑑賞できる場や文化活動に参加できる場が整っていると感じますか。
	43	興味・関心事への取組★	あなたは、興味・関心事のあることに取り組むことができていると感じますか。
地方自治・都市経営	44	地域行政	浜松市は、市民のことを真剣に考えていると思いますか。
	45	文化的寛容性	あなたの暮らしている地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか。
	46	地域とのつながり	あなたの暮らしている地域では、自治会や地域行事などの地域活動への参加が盛んだと感じますか。
	47	地域における活躍	あなたの暮らしている地域では、年齢や性別にかかわらず誰もが活躍出来ていると感じますか。
	48	暮らしのデジタル化	あなたの暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすいと感じますか。
49	地域への愛着★	あなたは、暮らしている地域に対する愛着を持っていますか。	

インターネットから回答される方は
右のIDとパスワードを入力
してください。

【調査票】浜松市総合計画次期基本計画に係る市民意識調査（アンケート）

I 産業経済の分野についておたずねします

問1 次の（１）から（７）までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）

	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
（１）あなたは生活を送るために必要な収入を得ることができていると感じますか？	5	4	3	2	1	0
（２）あなたは仕事と生活とのバランスが取れていると感じますか？	5	4	3	2	1	0
（３）浜松市の企業は元気で活力があると感じますか？	5	4	3	2	1	0
（４）浜松市の中心市街地はにぎわいがあると感じますか？	5	4	3	2	1	0
（５）浜松市は、市外から人が訪れたい魅力のあるまちだと思いますか？	5	4	3	2	1	0
（６）浜松産の農林水産物はブランドとして評価されていると感じますか？	5	4	3	2	1	0
（７）浜松市の経済活動（市民の消費、企業の活動など）は盛んだと感じますか？	5	4	3	2	1	0

問2 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第1位から第3位までの順に、項目の番号を記入してください。(番号はそれぞれ1つずつ)

第1位

第2位

第3位

【選択項目】

- 1 生活を送るために必要な収入を得ることができていること
- 2 仕事と生活とのバランスが取れていること
- 3 浜松市の企業が元気で活力があること
- 4 浜松市の中心市街地のにぎわいがあること
- 5 浜松市が、市外から人が訪れたい魅力のあるまちであること
- 6 浜松産の農林水産物がブランドとして評価されていること

Ⅱ 子育て・教育の分野についておたずねします

問3 次の(1)から(5)までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

※お子さんがいらっしゃる方もご回答ください。

	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
(1) あなたの暮らしている地域では、教育環境が整っていると感じますか？	5	4	3	2	1	0
(2) あなたの暮らしている地域では、子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていると感じますか？	5	4	3	2	1	0
(3) あなたの暮らしている地域では、子育て支援が手厚いと感じますか？	5	4	3	2	1	0
(4) あなたのご家族や暮らしている地域の方は、子育てに関する理解や協力があると感じますか？	5	4	3	2	1	0
(5) あなたの暮らしている地域では、子どもを生き育てやすい環境が整っていると感じますか？	5	4	3	2	1	0

問4 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第1位から第3位までの順に、項目の番号を記入してください。(番号はそれぞれ1つずつ)

第1位 第2位 第3位

【選択項目】

- 1 教育環境が整っていること
- 2 子どもが社会で生活していく上で、必要な知識や技能、社会性、体力などを身につけられる教育がされていること
- 3 子育て支援が手厚いこと
- 4 家族や暮らしている地域の方に、子育てに関する理解や協力があること

Ⅲ 安全・安心・快適の分野についておたずねします

問5 次の(1)から(7)までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
(1) あなたの暮らしている地域で、災害の危険を感じますか？	5	4	3	2	1	0
(2) あなたの暮らしている地域で、犯罪への不安を感じますか？	5	4	3	2	1	0
(3) あなたの暮らしている地域で、交通事故の危険を感じますか？	5	4	3	2	1	0
(4) あなたの暮らしている地域では、自動車、自転車、徒歩などにより、快適な移動ができる道路が整備されていると感じますか？	5	4	3	2	1	0
(5) あなたの暮らしている地域の生活サービス施設（医療・福祉、買物、文化、公共交通など）は充実していると感じますか？	5	4	3	2	1	0
(6) あなたの暮らしている地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？	5	4	3	2	1	0
(7) あなたの暮らしている地域は、安全・安心で住みやすいと感じますか？	5	4	3	2	1	0

問6 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第1位から第3位までの順に、項目の番号を記入してください。(番号はそれぞれ1つずつ)

第1位

第2位

第3位

【選択項目】

- 1 災害の危険がないこと
- 2 犯罪への不安がないこと
- 3 交通事故の危険がないこと
- 4 自動車、自転車、徒歩などにより、快適な移動ができる道路が整備されていること
- 5 生活サービス施設（医療・福祉、買物、文化、公共交通など）が充実していること
- 6 まちなみ（景観・緑など）が良いこと

IV 環境・エネルギーの分野についておたずねします

問7 次の(1)から(5)までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
(1) あなたの暮らしている地域では、ごみの減量やリサイクルなど環境に配慮した取組が進んでいると感じますか？	5	4	3	2	1	0
(2) あなたの暮らしている地域では、豊かな自然が守られ、自然と触れあう暮らしができていると感じますか？	5	4	3	2	1	0
(3) あなたの暮らしている地域の生活環境（大気、水、土壌など）には、大きな問題はないと感じますか？	5	4	3	2	1	0
(4) あなたの暮らしている地域で、地球温暖化防止のため、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取組が十分にされていると感じますか？	5	4	3	2	1	0
(5) あなたの暮らしている地域は、快適で良好な環境にあると感じますか？	5	4	3	2	1	0

問8 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第1位から第3位までの順に、項目の番号を記入してください。(番号はそれぞれ1つずつ)

第1位

第2位

第3位

【選択項目】

- 1 ごみの減量やリサイクルなど環境に配慮した取組が進んでいること
- 2 豊かな自然が守られ、自然と触れあう暮らしができること
- 3 生活環境（大気、水、土壌など）に大きな問題がないこと
- 4 地球温暖化防止のため、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの取組が十分にされていること

V 健康・福祉の分野についておたずねします

問9 次の(1)から(6)までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
(1) あなたの暮らしている地域は、高齢者が暮らしやすい環境だと感じますか？	5	4	3	2	1	0
(2) あなたの暮らしている地域は、障がい者が暮らしやすい環境だと感じますか？	5	4	3	2	1	0
(3) あなたの暮らしている地域では、生活習慣病対策など、健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていると感じますか？	5	4	3	2	1	0
(4) あなたの暮らしている地域では、ウォーキングや体操などの健康づくりの意欲が高いと感じますか？	5	4	3	2	1	0
(5) あなたの暮らしている地域では、安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していると感じますか？	5	4	3	2	1	0
(6) あなたの暮らしている地域で、福祉・医療の面において安心して生活ができていると感じますか？	5	4	3	2	1	0

問10 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第1位から第3位までの順に、項目の番号を記入してください。(番号はそれぞれ1つずつ)

第1位 第2位 第3位

【選択項目】

- 1 高齢者が暮らしやすい環境であること
- 2 障がい者が暮らしやすい環境であること
- 3 生活習慣病対策など、健康的な生活を送るための相談や指導を受けられる環境が整っていること
- 4 ウォーキングや体操などの健康づくりの意欲が高いこと
- 5 安心してかかることができる医療機関（病院や薬局など）が充実していること

VI 文化・生涯学習の分野についておたずねします

問 11 次の（１）から（５）までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの１つに○をつけてください。（○はそれぞれ１つずつ）

	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
（１） 浜松市では、スポーツを観戦する機会が充実していると感じますか？	5	4	3	2	1	0
（２） あなたの暮らしている地域では、生涯にわたって学習できる環境が充実していると感じますか？	5	4	3	2	1	0
（３） あなたの暮らしている地域の歴史文化に愛着や誇りを感じますか？	5	4	3	2	1	0
（４） あなたの暮らしている地域では、音楽や芸術を鑑賞できる場や文化活動に参加できる場が整っていると感じますか？	5	4	3	2	1	0
（５） あなたは、興味・関心のあることに取り組むことができていると感じますか？	5	4	3	2	1	0

問 12 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第１位から第３位までの順に、項目の番号を記入してください。（番号はそれぞれ１つずつ）

第 1 位

第 2 位

第 3 位

【選択項目】

- 1 スポーツを観戦する機会が充実していること
- 2 生涯にわたって学習できる環境が充実していること
- 3 暮らしている地域の歴史文化に愛着や誇りを感じることに
- 4 音楽や芸術を鑑賞できる場や文化活動に参加できる場が整っていること

Ⅶ 地方自治・都市経営の分野についておたずねします

問 13 次の(1)から(6)までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
(1) 浜松市は市民のことを真剣に考えていると思いますか？	5	4	3	2	1	0
(2) あなたの暮らしている地域には、文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があると感じますか？	5	4	3	2	1	0
(3) あなたの暮らしている地域では、自治会や地域行事などの地域活動への参加が盛んだと感じますか？	5	4	3	2	1	0
(4) あなたの暮らしている地域では、年齢や性別にかかわらず誰もが活躍出来ていると感じますか？	5	4	3	2	1	0
(5) あなたの暮らしている地域では、仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすいと感じますか？	5	4	3	2	1	0
(6) あなたは暮らしている地域に対する愛着を持っていますか？	5	4	3	2	1	0

問 14 あなたの幸せにとって特に重要だと思うものを下の選択項目から選び、第1位から第3位までの順に、項目の番号を記入してください。(番号はそれぞれ1つずつ)

第1位

第2位

第3位

【選択項目】

- 1 浜松市が市民のことを真剣に考えていること
- 2 文化や言語が自分と異なる人々を理解しようとする雰囲気があること
- 3 自治会や地域行事などの地域活動への参加が盛んであること
- 4 年齢や性別にかかわらず誰もが活躍出来ること
- 5 仕事や日常生活の場でデジタルサービスを利用しやすいこと

I～VIIすべての分野についておたずねします

問 15 次の(1)から(3)までの各質問について、0～10段階中、
あなたの実感に最も近い数字に○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> とても幸せ ←————→ とても不幸 </div>										
(1) 現在、あなたはどの程度幸せですか？	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
(2) 現在、あなたは浜松市での暮らしにどの程度満足していますか？	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
(3) あなたにとって、身近なまわりの人や大切な人は、大体、どれくらい幸せだと思いますか？ ※同居家族は除いて考えてください。	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

問 16 次の(1)から(5)までの各質問について、あなたの実感に最も近いもの1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

	感じる	やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない	感じない	わからない
(1) あなたは、これからも浜松市に住み続けたいと感じますか？	5	4	3	2	1	0
(2) あなたは、体を動かしたり運動したりすることができていると感じますか？	5	4	3	2	1	0
(3) あなたは、身体的に健康な状態だと感じますか？	5	4	3	2	1	0
(4) あなたは、精神的に健康な状態だと感じますか？	5	4	3	2	1	0
(5) あなたは、心が安らぐ時間を持つことができていると感じますか？	5	4	3	2	1	0

問 17 次の7つの分野（①～⑦）について、あなたの幸せにとって現在重要だと思う順に、記入欄に順位（1～7位）を記入してください。（番号はそれぞれ1つずつ）

分野	概要	記入欄
① 産業経済	収入やワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）、地域経済、中心市街地のにぎわいなどについて	位
② 子育て・教育	子育て・教育の環境やこどもの成長などについて	位
③ 安全・安心・快適	犯罪や事故、災害に対する安全・安心や生活サービス施設の充実などについて	位
④ 環境・エネルギー	環境に配慮した取組や快適で良好な環境などについて	位
⑤ 健康・福祉	高齢者や障がい者が暮らしやすい福祉サービスや健康づくりの取組、医療機関の充実などについて	位
⑥ 文化・生涯学習	スポーツ観戦の機会や生涯学習の環境、地域の歴史・芸術・文化などについて	位
⑦ 地方自治・都市経営	文化や言語が異なる人々の理解や自治会などの地域活動、日常生活におけるデジタル化などについて	位

問 18 問 17 の7つの分野（①～⑦）について、あなたの幸せにとって10年後に重要だと思うものを選び、第1位から第3位までの順に、分野の番号（①～⑦）を記入してください。（番号はそれぞれ1つずつ）

第1位 第2位 第3位

あなたご自身についてお答えください

以下についてお答えください。

- ・ 問 19～問 25：それぞれ1つずつ○を記入
- ・ 問 26：自宅の郵便番号を記入
- ・ 問 27：あてはまるものすべてに○を記入

※これまでお答えいただいた内容を統計的に分析するために、以下の情報が必要です。本アンケートは無記名回答であり、個人が特定されることは一切ありません。

質 問	回 答			
問 19 性別	1 女性	2 男性	3 その他	4 選べない
問 20 年齢	1 10 歳代 4 40 歳代 7 65～69 歳	2 20 歳代 5 50 歳代 8 70～74 歳	3 30 歳代 6 60～64 歳 9 75 歳以上	
問 21 国籍・地域	1 日本 4 ベトナム	2 ブラジル 5 その他 ()	3 フィリピン	
問 22 職業	1 勤め人 3 農林水産業(自営・家族従事者) 4 家事専業 6 無職	2 商工・サービス・自由業(自営・家族従事者) 5 学生 7 その他 ()		
問 23 居住年数 ※浜松市(合併前の旧市町村当時 も含む)に住んでいる年数	1 3 年未満 4 10年以上 20 年未満	2 3 年以上 5 年未満 5 20 年以上	3 5 年以上 10 年未満	
問 24 家族数 ※あなたを含む同居している人数	1 1 人 4 4 人	2 2 人 5 5 人	3 3 人 6 6 人以上	
問 25 居住形態 ※あなたのお住まい	1 持ち家(一戸建て) 4 賃貸アパート・賃貸マンション 7 その他	2 持ち家(集合住宅) 5 公営住宅	3 借家 6 社宅・寮	
問 26 お住まいのエリア ※自宅の郵便番号を記入			—	
問 27 子どもの年代 ※あてはまるものすべてに○を記 入	1 いない 4 中学生 5 高校生の年代(一般的に 15～18 歳) 6 大学生以上の年代(一般的に 18 歳以上)	2 未就学児	3 小学生	

人口減少の状況について

1 出身地に対する意識についてのインタビュー（資料3）

（1）概要

就職時、現在、将来の3時点において、出身地（浜松市を含む）に住みたいと思うかどうか、また、その理由を聞くことで、出身地に対する意識を確認した。

◇対象 東京圏在住者を含む本市に関わりのある方

（浜松サポーターズクラブや包括連携協定締結先など、出身地や居住地を問わない）

◇期間 2023年11月24日（金）～12月13日（水）

◇方法 フォーム送付によるオンライン回答（無記名）

（2）回答状況

対象者数：20,452人 回答者数：3,383人 回答割合：16.5%

種別	対象者数	回答者数	回答割合
浜松サポーターズクラブ等	851	152	17.9%
企業等	4,614	2,415	52.3%
大学	14,987	816	5.4%
計	20,452	3,383	16.5%

（3）インタビューの意見のポイント

■高校や大学等を卒業し、就職する際に【浜松/出身地】に住みたいと思いますか（思いましたか）。

【住みたいと思う（思った）】	【住みたいと思わない（思わなかった）】
<ul style="list-style-type: none"> ・温暖な気候など自然環境に関する意見や大都市圏へのアクセスの良さ ・家族や、友人の多さなどの交友関係 ・都会すぎない田舎すぎない都市の性格 ・首都圏在住者は東京都へのアクセス ・自然が多く住みやすい等の自然環境 	<ul style="list-style-type: none"> ・出身地以外での生活を経験希望 ・商業施設や娯楽施設の多さ等による都市へのあこがれ ・交通の便や商業施設・娯楽施設 ・仕事面で、希望の職種がない

■【浜松/出身地】に住みたいと思ったにもかかわらず、住まなかった理由

- ・就職先の配属・転勤や、希望の職種の有無

■現在【浜松/出身地】に戻って生活したいと思いませんか。

【戻って生活したいと思う】	【戻って生活したいと思わない】
<ul style="list-style-type: none"> ・家族・交友関係を重視 ・居住環境では、自然・気候に魅力 	<ul style="list-style-type: none"> ・現居住地での生活基盤の確立 ・現居住地の都市の利便性 ・現在の仕事を続けたい、希望の職種がない

■将来【浜松/出身地】に戻って生活したいと思いませんか。

【戻って生活したいと思う】	【戻って生活したいと思わない理由】
<ul style="list-style-type: none"> ・家族、友人が出身地にいる ・自然、気候やまちの雰囲気の魅力 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、友人が出身地にいない ・現居住地での生活基盤の確立 ・現居住地の都市の利便性の高さ ・希望の職種がない

2 本市の人口減少の現状（資料4）

■総人口や人口動態（P5）

自然減が社会減に比べて大きい。

- ・2011年から自然減に転じ、減少数は拡大傾向。（2022年：-4,254人）
- ・2017年以降、2021年を除き社会増。（2022年：1,183人）

■人口の男女比率（P11）

人口の女性比率が低い。特に0歳～9歳、15歳～29歳の女性比率が低い。

- ・総人口の女性比率は政令市で下から3番目。（2020年：50.3%）
- ・0歳～9歳、15歳～29歳の女性比率は政令市で最も低い。

■合計特殊出生率と出生率（P23）

合計特殊出生率が高く、出生率が低いことから、合計特殊出生率の算定に用いられる15歳～49歳の女性の割合が低いと推察。

- ・合計特殊出生率は政令市のうち2015年は最上位、2020年は3番目。（2020年：1.44）
- ・出生率は政令市のうち12番目。（2022年：6.3）

■婚姻（P33）

未婚の女性が少ない。婚姻件数は近年大きく減少している。

- ・25歳～44歳の女性の未婚率は、政令市の中で最も低い。（2020年：28.1%）
- ・婚姻件数の減少率が政令市の中で最も高い。（2015年：4,056件 2020年：3,193件）
- ・平均初婚年齢は男女とも低く、特に女性が低い。（2022年：29.1歳）

■転出超過（P43）

20-24歳の女性が、特に東京都へ多く転出し、浜松市へ戻ってきていない。

- ・男性は20～24歳で戻る（転入超過）傾向だが、女性は戻らない。
- ・県内は転入超過であるが、15歳～29歳の若年層を中心に東京圏への転出超過が多い。

■高校や大学について（P51）

大学進学率が低く、就職率が高い。大学生の数が少ない。

- ・政令市の中で、高校卒業後の大学進学率が最も低く、就職率が最も高い。
- ・大学生数は、政令市で最も少ない。人口1万人あたりの大学生数は、政令市で3番目に少ない。

■働く場について（P59）

女性の正規の職員・従業員の割合は低いが、女性の就業率は高い。

- ・雇業者に占める正規の職員・従業員の割合は、女性は政令市で14番目と低い。
- ・女性の就業率は、政令市の中で最も高い。

出身地に対する意識についてのインタビュー

2024年2月
浜松市企画調整部企画課

出身地に対する意識についてのインタビュー（報告）

目次

1	概要	2
2	設問毎の主な意見	11
3	まとめ	24

本インタビューは、主に浜松市出身者が浜松市に対してどのような意識や考え方を持っているか、個別具体的な意見を伺うために実施したものです。

実施にあたり、出身地に対する意識についてより多くの意見を得るため、出身地や居住地を問わず、本市と関わりのある方（浜松サポーターズクラブ、本市と包括連携協定を締結している企業及び大学等）へ回答を依頼しました。

そのため、〈職業〉〈出身地〉〈居住地〉など、回答者の属性に大きく偏りが生じています。

本報告書においては、属性の偏りがある事を前提として回答の傾向や比率の報告を行っていることから、浜松市及び他地域全体の傾向を示しているものではありません。

1 概要

◇目的

就職時、現在、将来の3時点において、出身地（浜松市を含む）に住みたいと思うか、また、その理由を聞くことで、出身地に対する意識を確認し、次期総合戦略の骨子や政策・施策体系策定にあたっての参考とする。

◇対象

東京圏在住者を含む本市に関わりのある方
(浜松サポーターズクラブや包括連携協定締結先など、出身地や居住地を問わない)

◇期間

2023年11月24日(金)～12月13日(水)

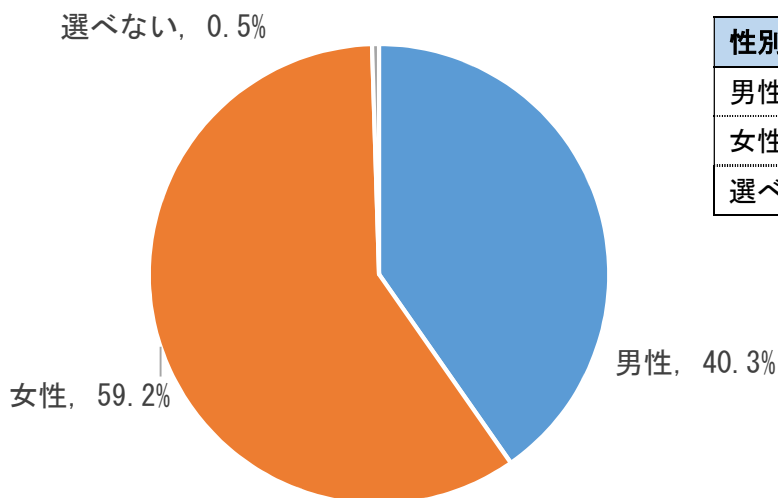
◇方法

フォーム送付によるオンライン回答(無記名)

◇回答状況 対象者数：20,452人 回答者数：3,383人 回答割合：16.5%

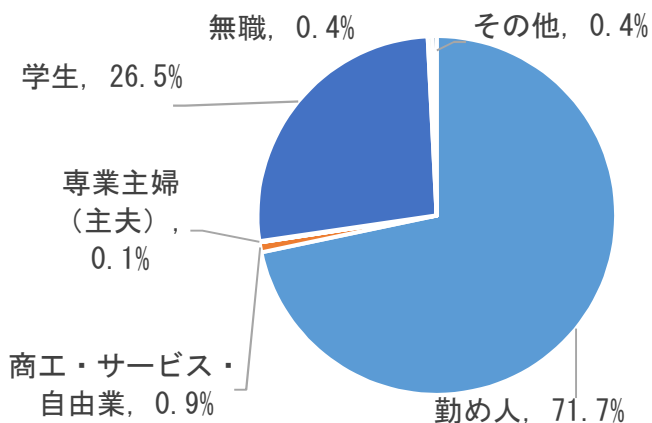
種別	対象者数	回答者数	回答割合
浜松サポーターズクラブ等	851	152	17.9%
企業等	4,614	2,415	52.3%
大学	14,987	816	5.4%
計	20,452	3,383	16.5%

<性別>



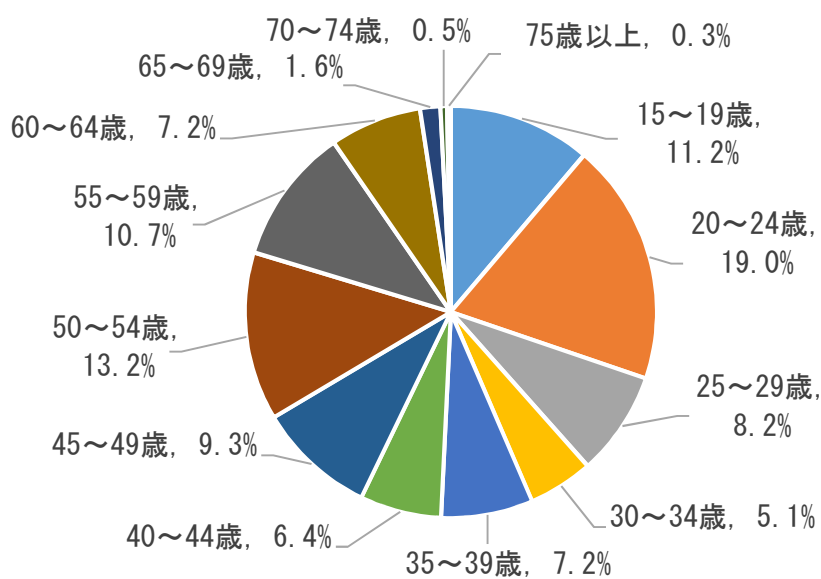
性別	回答者数	割合
男性	1,362	40.3%
女性	2,003	59.2%
選べない	18	0.5%

<職業>



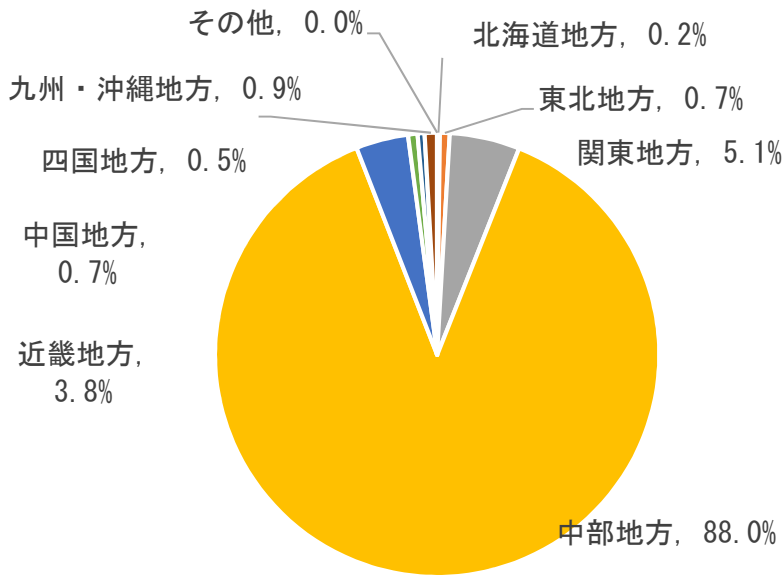
職業	回答者数	割合
勤め人	2,426	71.7%
商工・サービス・自由業	31	0.9%
農林水産業	0	0.0%
専業主婦 (主夫)	3	0.1%
学生	897	26.5%
無職	14	0.4%
その他	12	0.4%

<年齢>

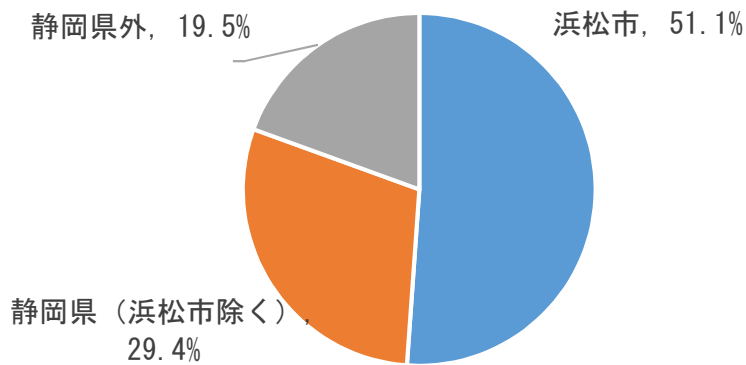


年齢	回答者数	回答割合
15~19歳	380	11.2%
20~24歳	644	19.0%
25~29歳	277	8.2%
30~34歳	173	5.1%
35~39歳	243	7.2%
40~44歳	218	6.4%
45~49歳	313	9.3%
50~54歳	448	13.2%
55~59歳	361	10.7%
60~64歳	243	7.2%
65~69歳	54	1.6%
70~74歳	18	0.5%
75歳以上	11	0.3%

<出身地>

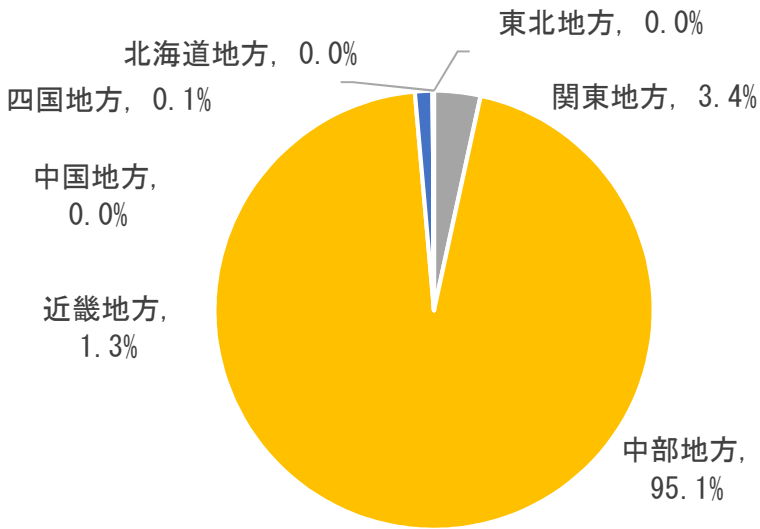


出身地	回答者数	割合
北海道地方	8	0.2%
東北地方	23	0.7%
関東地方	173	5.1%
中部地方	2,976	88.0%
近畿地方	130	3.8%
中国地方	24	0.7%
四国地方	18	0.5%
九州・沖縄地方	30	0.9%
その他	1	0.0%

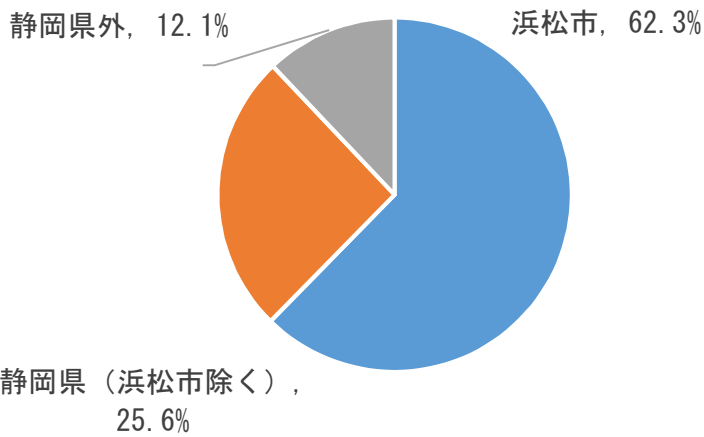


出身地	回答者数	割合
浜松市	1,729	51.1%
静岡県 （浜松市除く）	996	29.4%
静岡県外	658	19.5%

<居住地>



居住地	回答者数	割合
北海道地方	1	0.0%
東北地方	1	0.0%
関東地方	115	3.4%
中部地方	3,218	95.1%
近畿地方	45	1.3%
中国地方	1	0.0%
四国地方	2	0.1%



出身地	回答者数	割合
浜松市	2,109	62.3%
静岡県 (浜松市除く)	866	25.6%
静岡県外	408	12.1%

◇ 設問

【属性】

・性別……………男・女・選べない

・年齢…………… 1. 14歳未満 2. 15～19歳 3. 20～24歳 4. 25～29歳
5. 30～34歳 6. 35～39歳 7. 40～44歳 8. 45～49歳
9. 50～54歳 10. 55～59歳 11. 60～64歳 12. 65～69歳
13. 70～74歳 14. 75歳以上

・職業…………… 1. 勤め人 2. 商工・サービス・自由業（自営・家族従事者）
3. 農林水産業（自営・家族従事者） 4. 専業主婦（主夫）
5. 学生 6. 無職 7. その他

・出身地……………都道府県市町村

・居住地……………都道府県市町村

対象	選択式設問	記述式設問
学生	あなたは、高校や大学等を卒業し、就職する際に浜松/出身地に住みたいと思いますか。	住みたいと思う 浜松/出身地にどのような魅力を感じ、また、どのような理由で、住みたいと思いますか。
		住みたいと思わない 浜松/出身地に住みたいと思わない理由は何ですか。また、どのような魅力があれば住みたいと思いますか。
一般	あなたは、高校や大学等を卒業し、就職した際に浜松/出身地に住みたいと思いましたか。	住みたいと思った 浜松/出身地にどのような魅力を感じ、また、どのような理由で、住みたいと思いましたか。
		住みたいと思わなかった 浜松/出身地に住みたいと思わない理由は何ですか。また、どのような魅力があれば住みたいと思いましたか。
	あなたは、高校や大学等を卒業し、就職した際に浜松/出身地に住みましたか。	住んだ 住まなかった 浜松/出身地に住みたいと思ったにもかかわらず、住まなかった理由は何ですか。※前問で住みたいと思ったと回答した人に質問
	あなたは、 <u>現在</u> 、浜松/出身地に戻って生活したいと思えますか。	戻って生活したいと思う 浜松/出身地にどのような魅力を感じ、また、どのような理由で、戻って生活したいと思えますか。
		戻って生活したいと思わない 浜松/出身地に戻って生活したいと思わない理由は何ですか。また、どのような魅力があれば戻って生活したいと思えますか。
	あなたは、 <u>将来</u> 、浜松/出身地に戻って生活したいと思えますか。	戻って生活したいと思う 浜松/出身地にどのような魅力を感じ、また、どのような理由で、戻って生活したいと思えますか。
		戻って生活したいと思わない 浜松/出身地に戻って生活したいと思わない理由は何ですか。また、どのような魅力があれば戻って生活したいと思えますか。

◇記述式回答（住みたいと思う理由等）の分類

記述式回答からキーワードを抽出し、近い要素をまとめて分類コードを作成。

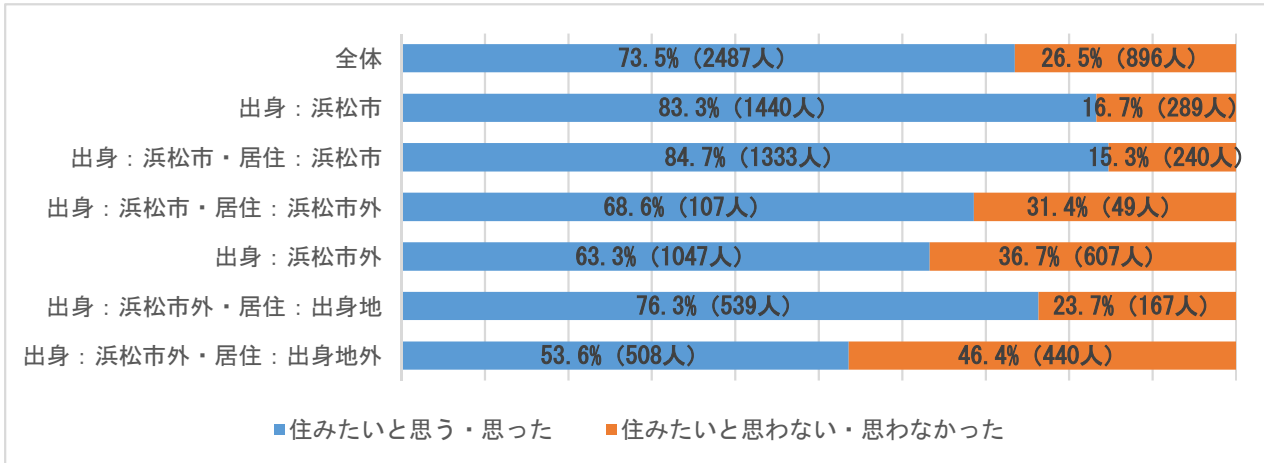
すべての回答に対して、該当する複数のコードをふることで記述式回答の分類を行った。

分類コード		キーワード
人間関係 重視	A	地元
		家族・親戚／交友関係
		気質／人柄
居住環境 重視	B	自然／気候／食事・特産品
		商業施設／娯楽・文化・スポーツ
		車／公共交通機関／主要都市へのアクセス
		子育て環境／教育環境
		医療施設／福祉施設
		都会・田舎すぎない／都会／田舎／活気・雰囲気
		物価
		災害／治安
		行政
仕事重視	C	業種／勤務条件
その他	Z	分類判断が不可能なもの

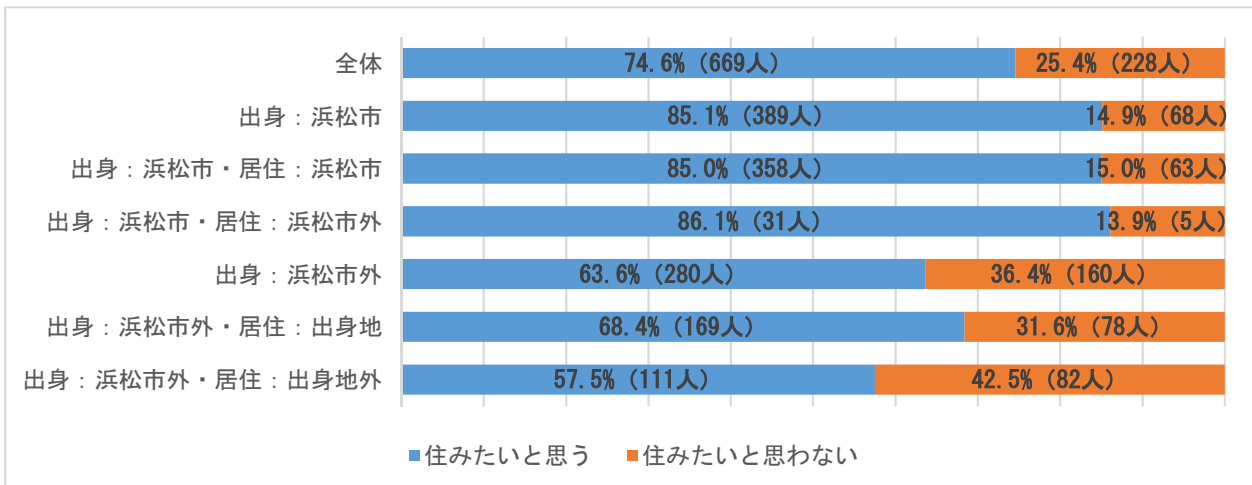
◇ 回答状況

あなたは、高校や大学等を卒業し、就職する際に【浜松/出身地】に住みたいと思いますか
(思いましたか)。

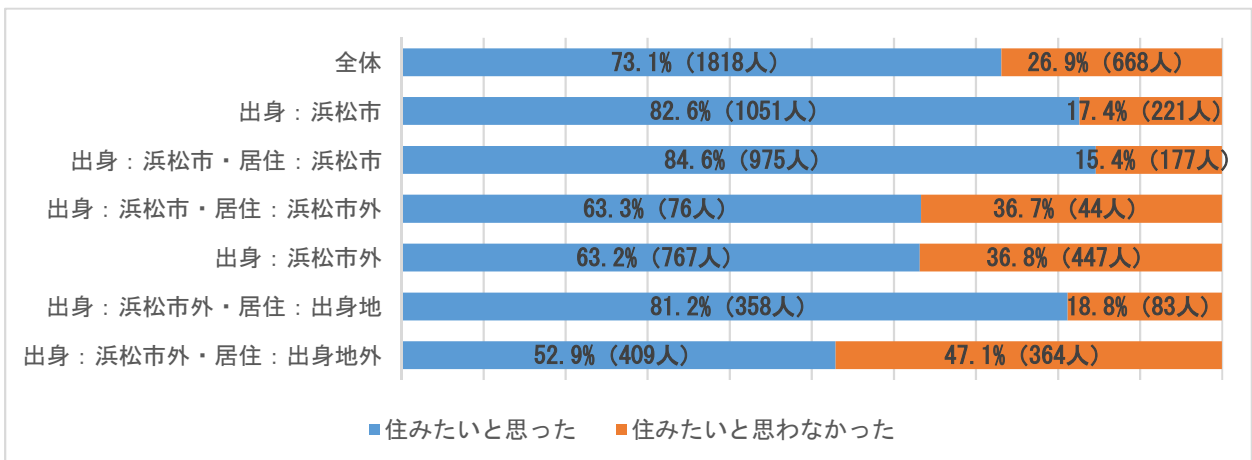
<学生・一般>



<学生>

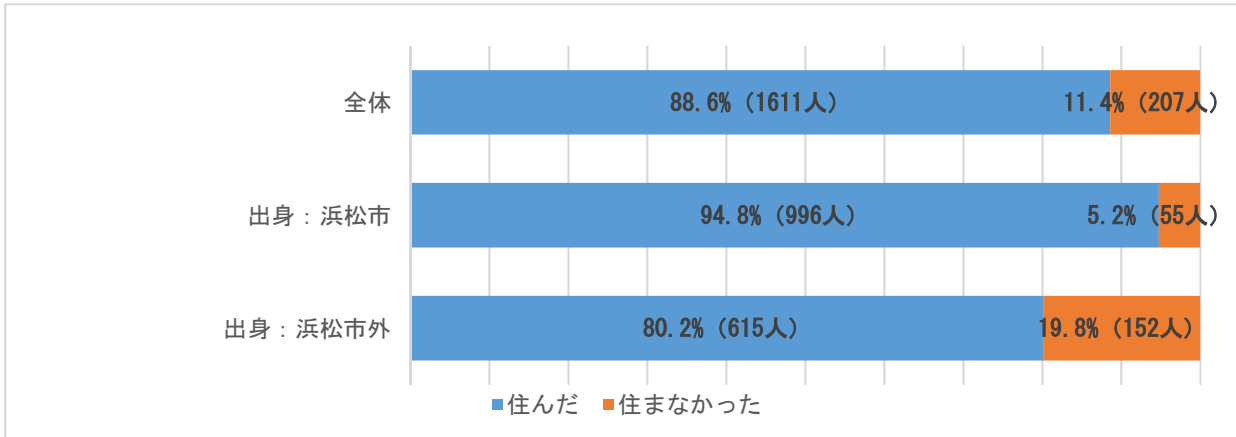


<一般>



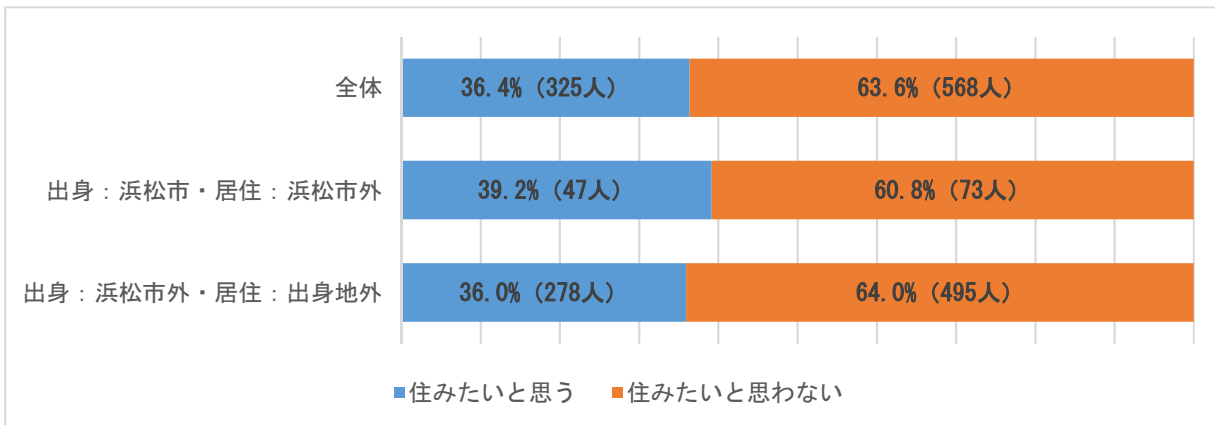
あなたは、高校や大学等を卒業し、就職した際に【浜松/出身地】に住みましたか。

<一般>



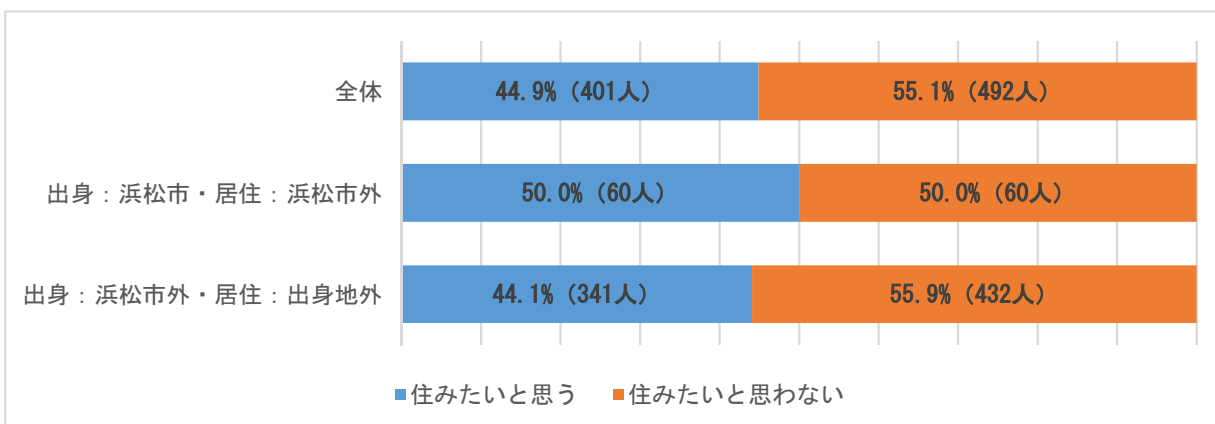
あなたは、現在【浜松/出身地】に戻って生活したいと思いますか。

<一般>



あなたは、将来【浜松/出身地】に戻って生活したいと思いますか。

<一般>



2 設問毎の主な意見

あなたは、高校や大学等を卒業し、就職する際に【浜松/出身地】に住みたいと思いますか
(思いましたか) <学生、一般>

(1) 住みたいと思う (思った)

浜松市出身

■学生の意見

A 人間関係重視 (回答割合 36.8%)

- ・浜松の豊かな自然や温暖な気候、地元の人々の温厚さなどに魅力を感じる。穏やかな気候のおかげで日々快適に暮らせるし、アットホームなコミュニティが形成されていて、非常に住み心地が良い。(女性、20代、出身：浜松市、居住：名古屋市)
- ・生まれも育ちも浜松なので、安心できる場所。(女性、10代、出身：浜松市、居住：浜松市)
- ・小さい頃から生まれ育った街で大人になっても生きていきたいと感じた。また、住民の方が優しく生活していて住みやすいと感じた。(男性、20代、出身：浜松市、居住：名古屋市)
- ・不便な事も少なく、実家が浜松市にある。(男性、10代、出身：浜松市、居住：浜松市)

B 居住環境重視 (回答割合 62.0%)

- ・浜松は住みやすい気候であることや、お店や施設などへのアクセスも悪くないことに魅力を感じる。生まれた時から浜松に住んでいるが、都会とも田舎ともいえない浜松では不便を感じることはなく住みやすいと実感しているため、ずっと住み続けたい。(女性、10代、出身：浜松市、居住：浜松市)
- ・雪が降らず、温暖で住みやすい所に魅力を感じ、今まで浜松に住んでいたので引き続き住みたいと思う。(女性、20代、出身：浜松市、居住：静岡市)
- ・比較的温暖な気候、都会と自然のバランスの良さ、東海道の中心という立地の良さ、徳川家康などの歴史的な魅力。(男性、20代、出身：浜松市、居住：浜松市)
- ・都市機能を有しながら海と山に囲まれ自然豊かであり、気候も穏やかであるため、非常に住み良い町であると感じる。また、特産品が豊富であったり、産業が盛んであることから、非常に自慢できる町である。(男性、20代、出身：浜松市、居住：草津市)

C 仕事重視 (回答割合 1.1%)

- ・就職を希望する企業がある。(女性、20代、出身：浜松市、居住：浜松市)

■一般の意見

A 人間関係重視（回答割合 40.6%）

- ・家族や友人のいる、子供の頃から過ごしてきた浜松が安心する。（女性、20代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・慣れ親しんだ地元になりたい。また東京や大阪などへの交通の便も良い。（女性、20代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・地元で昔から馴染みがあり住みやすい。（男性、20代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・生活に不自由がない。もともとの地元が浜松であり、長男だからUターン就職は必須と考えていた。（男性、40代、出身：浜松市、居住：浜松市）

B 居住環境重視（回答割合 58.4%）

- ・自然が豊かで気候も温暖。（男性、50代、出身：浜松市、居住：松戸市）
- ・大都市でなく、適度な都市空間と自然の調和が心地よい（男性、50代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・適度な「都会感」。大都市圏にアクセスしやすい。海、山、川、湖が生活圏にあること（女性、50代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・家族がいる、自然が豊か。都会へのアクセスが比較的しやすい。住宅を購入しやすい価格である。（女性、40代、出身：浜松市、居住：浜松市）

C 仕事重視（回答割合 1.1%）

- ・一度浜松を離れた時期があったが、会社の異動のたびに新たな環境に慣れていくのが大変で、浜松に住み続けたいと思った。（女性、20代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・ほどよく都会でほどよく田舎。勤務先の候補も多い。（男性、30代、出身：浜松市、居住：浜松市）

(2) 住みたいと思う（思った）

浜松市外出身

■学生の意見

A 人間関係重視（回答割合 45.9%）

- ・親や親戚、小さいころからの友人がいる街であり、生まれ育った地元に貢献したいと考え出身地に戻り住みたい。（女性、20代、出身：名古屋市、居住：浜松市）
- ・慣れ親しんだ場所で落ち着いて暮らすことができる。また、頼れる人が多く何かあった時に安心できると思う。（女性、20代、出身：田原市、居住：浜松市）
- ・友人がいることによる安心感。（男性、20代、出身：静岡市、居住：静岡市）
- ・知らない土地より知っている土地のほうが良いと思っている。（男性、20代、出身：富士市、居住：浜松市）

B 居住環境重視（回答割合 51.5%）

- ・出身ということで、住み慣れている点はもちろんの事、公共交通機関が充実している点に加え、三大都市の名古屋市にも行きやすく、全体的にバランスの良い、丁度良い街だと思っている。（女性、20代、出身：豊橋市、居住：豊橋市）
- ・都会で利便性があるから。（女性、20代、出身：横浜市、居住：浜松市）
- ・交通の便が良く、スーパーやドラッグストアなどが各所にあるので、生活するのに、困らないから。魅力としては、緑豊かで自然があり、都会すぎず、田舎すぎない所。（男性、20代、出身：幸田町、居住：幸田町）
- ・市内に福祉施設、商業施設、交通機関が発展しており便利だから。（男性、20代、出身：菊川市、居住：浜松市）

C 仕事重視（回答割合 2.6%）

- ・教職希望であり、できれば母校とその周辺の学校で働きたいと考えている。（女性、10代、出身：磐田市、居住：磐田市）
- ・魅力については何とも言えないが、就職先が出身市内にあるため住む。（男性、20代、出身：岡崎市、居住：岡崎市）

■一般の意見

A 人間関係重視（回答割合 50.2%）

- ・実家の近くにいたい。親戚や友人が近い。（女性、50代、出身：三重県多紀町、居住：浜松市）
- ・自分と同じ環境で子供にも育ててほしかった。親のそばにいたかった。（男性、40代、出身：名古屋市、居住：名古屋市）

B 居住環境重視（回答割合 46.7%）

- ・海産物が年中豊富。街中で自然を堪能できる。（女性、50代、出身：札幌市、居住：浜松市）
- ・交通の便も良く、店舗や施設も充実して住みやすい環境。（男性、50代、出身：横浜市、居住：浜松市）

C 仕事重視（回答割合 3.1%）

- ・両親が居住し、長男でもある為。企業も相応に存在し、働ける環境が良好。（男性、60代、出身：磐田市、居住：浜松市）
- ・住み慣れた地元の企業に就職したいと思った。（男性、40代、出身：静岡市、居住：富士市）

住みたいと思う（思った）意見の傾向

<浜松市出身者>

- ✓ 自然環境に関する意見（温暖な気候、海・山といった自然が豊か等）や大都市圏へのアクセスの良さに関する意見が多い。
- ✓ 家族や、友人が多くいるといった家族。交友関係に関する意見が多い。
- ✓ 都会すぎない田舎すぎない都市の性格に魅力を感じている意見が多い。

<浜松市外出身者>

- ✓ 首都圏（特に神奈川県、埼玉県、千葉県）に在住している場合は、東京都へのアクセスの良さを重視している傾向がある。
- ✓ 自然環境に関する意見（自然が多く住みやすい等）の意見が多い。

(3) 住みたいと思わない（思わなかった）

浜松市出身

■学生の意見

A 人間関係重視（回答割合 19.8%）

- ・生まれてからずっと浜松で暮らしてきたため、働けるようになったら違う場所で生活してみたい。（女性、20代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・一度家を離れて都会に住みたい。（女性、20代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・浜松以外の土地に住んでみたい。（男性、10代、出身：浜松市、居住：浜松市）

B 居住環境重視（回答割合 74.3%）

- ・駅周辺で洋服が買えない。かわいいお手頃な服屋がない。（女性、20代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・交通の便が悪く、車移動が必要。電車が通らない地域は移動が不便。（女性、10代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・都市部の方が様々な経験を積む上で機会に恵まれていると思う。浜松が栄え、都市部のように機会に恵まれ、様々な趣味を持つ人のニーズに合う店が増え、流行を感じ取ることができるようになったら住みたいと思う。（女性、10代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・田舎に住んでいるとどこに行くにも車が必要で、生活がしづらい。（男性、20代、出身：浜松市、居住：浜松市）

C 仕事重視（回答割合 5.9%）

- ・魅力がないわけではなくて、自分のつきたい職業、やりたい仕事が浜松にはない。（女性、10代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・浜松よりも東京に住みたい。給料が良い職場。（女性、10代、出身：浜松市、居住：浜松市）

■一般の意見

A 人間関係重視（回答割合 12.3%）

- ・ 県外で色々と経験したいと思った。（女性、40代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・ 浜松にリターンをする友人が少なかった。大半が名古屋や関東に残っている。（女性、30代、出身：浜松市、居住：浜松市）

B 居住環境重視（回答割合 70.8%）

- ・ 大学在学中当時の生活拠点が関東圏の他県にあり、就職先を探す選択肢も広がったため、そちらでの就職を考えていた。（女性、40代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・ 交通の便が悪く、車がないと生活できない点。電車やバスの公共交通機関がもう少し発達しているとより住みやすいと思う。（女性、20代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・ 商業施設や娯楽施設が充実していれば。（男性、20代、出身：浜松市、居住：浜松市）

C 仕事重視（回答割合 16.9%）

- ・ 都内の大学を卒業したので給与水準、仕事の選択肢を考えたときにそのまま首都圏近郊に住みたいと思った。（女性、30代、出身：浜松市、居住：浜松市）
- ・ 仕事の種類が偏っていると感じた。東京にしか無い職種が多い。逆にこれが浜松にあれば浜松に戻る選択肢が出てくる。ベンチャー企業が皆無。（男性、40代、出身：浜松市、居住：浜松市）

(4) 住みたいと思わない（思わなかった）

浜松市外出身

■学生の意見

A 人間関係重視（回答割合 9.4%）

- ・出身市は好きだし、愛着はあるけど、違うところに行って色々な経験をしたい。自分の幅を広げたい。（女性、20代、出身：磐田市、居住：磐田市）
- ・校区同士の付き合いがめんどくさい。顔馴染み同士で地域との協力を行いたくない。（男性、20代、出身：豊橋市、居住：豊橋市）

B 居住環境重視（回答割合 66.3%）

- ・スーパーや薬局病院なども少なく、娯楽などはほとんどない無い田舎である。（女性、20代、出身：愛知県、居住：愛知県）
- ・都会で暮らしてみたい。（男性、10代、出身：恵那市、居住：恵那市）

C 仕事重視（回答割合 24.3%）

- ・特に場所にこだわりがなく、就職先を選ぶ際の条件としては優先度が低いため、出身地に住んでも住まなくてもどちらでも良いと考えている。（女性、20代、出身：姫路市、居住：豊橋市）
- ・人口の多いところに就職し、多くのことを学んでいきたい。（女性、20代、出身：千葉県長尾郡、居住：浜松市）
- ・住みやすい環境だと思うが、就職先に魅力がないため県外に出ようと考えている。浜松市は浜松駅前の商業施設等が少なく、方々への移動の弁が悪いと感じる。（男性、20代、出身：静岡市、居住：静岡市）
- ・出身市区町村に希望する就職先がない。公共交通機関の発達、生活に不自由しない程度の飲食店、治安良好といった魅力があれば住みたいと思う。（男性、20代、出身：磐田市、居住：磐田市）

■一般の意見

A 人間関係重視（回答割合 7.8%）

- ・一人暮らしを経験して自立したいと思った。（女性、20代、出身：袋井市、居住：袋井市）
- ・交通に不便であることと、若いときは親と同居はしたくなかった。（男性、50代、出身：稲沢市、居住：日進市）

B 居住環境重視（回答割合 62.0%）

- ・交通網が発達しておらず不便であり、店数も少ない。公共交通機関の本数が増えれば住みたい。（女性、20代、出身：湖西市、居住：湖西市）
- ・大学が首都圏にあり、首都圏の利便性や充実した商業施設が多く、刺激的な日々は都心の方が得られると思った。（男性、30代、出身：藤枝市、居住：浜松市）

C 仕事重視（回答割合 30.1%）

- ・就職先が少なく、より大きな市町村で暮らしたいと思った。（女性、30代、出身：御殿場市、居住：浜松市）
- ・就職先が限定的かつ賃金が低い。（男性、20代、出身：河津町、居住：名古屋市）

住みたいと思わない（思わなかった）意見の傾向

<浜松市出身者><浜松市外出身者>

- ✓ 就職する際に[浜松/出身地]に住みたいと思わない人は、学生、一般共に出身地以外での生活を経験してみたいという意見が多い。
- ✓ 特に、商業施設や娯楽施設の多さ等により都市へのあこがれを持つ意見が多い。そのため、居住環境においても、交通の便や商業施設・娯楽施設を重視する傾向がある。
- ✓ 仕事では、希望の職種がないという意見が多い傾向がある。

あなたは、高校や大学等を卒業し、就職した際に【浜松/出身地】に住みましたか。
【浜松/出身地】に住みたいと思ったにもかかわらず、住まなかった理由は何ですか。 一般

(1) 住みたいと思ったが住まなかった 一般

浜松市出身

A 人間関係重視 (回答割合 22.4%)

- ・実家が浜松から引っ越していた。(女性、40代、出身：浜松市、居住：磐田市)
- ・一度は実家を出て都会の生活をしたかった。(女性、40代、出身：浜松市、居住：横浜市)
- ・浜松の企業に就職を決めたものの、両親の反対にあった。(男性、50代、出身：浜松市、居住：仙台市)

B 居住環境重視 (回答割合 14.9%)

- ・一度は実家を出て都会の生活をしたかった。(女性、40代、出身：浜松市、居住：横浜市)

C 仕事重視 (回答割合 37.3%)

- ・就職の配属。(女性、40代、出身：浜松市、居住：名古屋市)
- ・就職先の勤務地が東京だった。(男性、50代、出身：浜松市、居住：八王子市)

浜松市外出身

A 人間関係重視 (回答割合 4.7%)

- ・移住先で結婚し、居宅も購入した。(男性、40代、出身：横浜市、居住：焼津市)

B 居住環境重視 (回答割合 2.7%)

- ・別の市に土地があり、そちらの方が便利だった。(男性、60代、出身：掛川市、居住：浜松市)

C 仕事重視 (回答割合 87.3%)

- ・全国転勤のある仕事を選んだ。(女性、20代、出身：吹田市、居住：岐阜市)
- ・地元企業に就職したが配属先が東京だった。(男性、50代、出身：富士市、居住：浜松市)

<浜松市出身者> <浜松市外出身者>

- ✓ 就職先の配属・転勤や、希望の職種の有無により[浜松/出身地]に住みたいと思っても、住んでいないという意見が多い傾向にある。

あなたは、現在【浜松/出身地】に戻って生活したいと思いますか。 一般

(1) 戻って生活したいと思う 一般

浜松市出身

A 人間関係重視（回答割合 43.5%）

- ・実家が浜松にあること、今いる場所より生活がしやすい。（女性、20代、出身：浜松市、居住：富士見市）
- ・育った環境であり、気候や周りの人柄、気質等が自分に合っている。（男性、40代、出身：浜松市、居住：袋井市）

B 居住環境重視（回答割合 56.5%）

- ・自然の多さと人の良さ、住みやすさから、戻って生活してもよいと思う。（女性、40代、出身：浜松市、居住：杉並区）
- ・東海道沿線という好立地、都市の規模に加え、海山川の自然が近く食の宝庫でもある点。（男性、50代、出身：浜松市、居住：品川区）

浜松市外出身

A 人間関係重視（回答割合 58.6%）

- ・家族や友人がおり、今後の生活を過ごす上で頼れる存在が近くにいてほしい。（女性、20代、出身：尼崎市、居住：岐阜市）
- ・子どもが産まれたため、両親の居住地の近くに住む事が望ましいと考えている。（男性、30代、出身：練馬区、居住：浜松市）

B 居住環境重視（回答割合 39.9%）

- ・交通、買い物をするにも便利で不自由がない。（女性、30代、出身：墨田区、居住：浜松市）
- ・都会には住む気はないので、のんびり暮らせる環境がいいと思う。（女性、50代、出身：掛川市、居住：菊川市）
- ・景観の美しさや食事の美味しさに魅力を感じた。故郷に愛着があるので住みたいと思う。（男性、30代、出身：金沢市、居住：荒川区）
- ・交通アクセスがよく、賑やかすぎない中にも生活感がある街並みがとても好き。（男性、20代、出身：大田区、居住：羽島郡）

C 仕事重視（回答割合 1.5%）

- ・仕事とプライベートの充実を図るため。（女性、20代、出身：豊田市、居住：浜松市）
- ・現在狙っている会社の部署が自分の出身地域である。（男性、20代、出身：目黒区、居住：浜松市）

<浜松市出身者> <浜松市外出身者>

- ✓ 現在、【浜松/出身地】に戻って生活したいと思う人は、家族・交友関係を重視している傾向がある。居住環境では、自然・気候に魅力を感じている傾向がある。

浜松市出身

A 人間関係重視（回答割合 18.5%）

- ・結婚を機に違う市に住みマンションを購入した。配偶者の出身地と勤務先を優先した。（女性、40代、出身：浜松市、居住：磐田市）
- ・生活の基盤がすでにない。また子どもたちも、近くに暮らしている。（男性、60代、出身：浜松市、居住：町田市）

B 居住環境重視（回答割合 66.7%）

- ・車がないと生活できないのは厳しい。親世代を見ていても、免許返納後の暮らしが移動に事欠き、乏しくなるのは厳しい。（女性、40代、出身：浜松市、居住：世田谷区）
- ・今は東京の方が何かと便利。（男性、60代、出身：浜松市、居住：小平市）

C 仕事重視（回答割合 14.8%）

- ・自分が働きたい業種がない。（女性、20代、出身：浜松市、居住：東京都）
- ・現在の仕事を続けたい。（男性、20代、出身：浜松市、居住：和歌山市）

浜松市外出身

A 人間関係重視（回答割合 29.5%）

- ・結婚、出産をし現在の場所で生活基盤ができた。（女性、40代、出身：掛川市、居住：磐田市）
- ・家族の就業など居住地で生活が安定している。（男性、50代、出身：千葉市、居住：浜松市）

B 居住環境重視（回答割合 49.5%）

- ・生活するのに不便さを感じた。商業施設や交通面、文化的な水準がもっと向上すれば住みたいと思う。（男性、40代、出身：富士市、居住：静岡市）
- ・人やサービスが都市部に比べると寂しい。（女性、30代、出身：秋田市、居住：浜松市）
- ・交通の便が良くない。年齢を考えると車の運転が将来できなくなるので、歩きや電車等で生活できる方が助かる。（女性、50代、出身：焼津市、居住：御前崎市）
- ・温暖な土地が希望。（男性、50代、出身：山形市、居住：浜松市）

C 仕事重視（回答割合 21.0%）

- ・出身地は仕事の種類が少ない。親族が居ない。（女性、30代、出身：四日市市、居住：浜松市）
- ・田舎では仕事量も少なく、定年前に戻りたいとは思わない。（男性、40代、出身：輪島市、居住：静岡市）

＜浜松市出身者＞＜浜松市外出身者＞

- ✓ 現在【浜松/出身地】に戻って生活したいと思わない人は、現居住地に生活基盤があるとする回答が多かった。居住環境では、現居住地の都市の利便性に魅力を感じている傾向がある。仕事面では、現在の仕事を続けたい、希望の職種がないという意見が多い傾向にある。

あなたは、将来【浜松/出身地】に戻って生活したいと思いますか。 一般

(1) 戻って生活したいと思う 一般

浜松市出身

A 人間関係重視（回答割合 36.3%）

- ・将来家庭を持ちたいと考えた時、実家が近くにあった方が好都合と考えた。（女性、30代、出身：浜松市、居住：沼津市）
- ・親類知人が多い。（男性、40代、出身：浜松市、居住：名古屋市）

B 居住環境重視（回答割合 62.5%）

- ・子供を育てるようになったら東京や名古屋にも出やすく、自然もあって暮らしやすいと思う。（女性、20代、出身：浜松市、居住：東京都）
- ・生まれ育った街で愛着があり、気候も温暖、生活するのに困らないインフラもある。（男性、40代、出身：浜松市、居住：菊川市）

C 仕事重視（回答割合 1.3%）

- ・外資系の化学会社で、技術、事業活動で培ったバックグラウンドが活かされれば故郷で生活したい。（男性、70代、出身：浜松市、居住：大和市）

浜松市外出身

A 人間関係重視（回答割合 64.0%）

- ・生まれ育った街でまたいつかは生活したい。（女性、20代、出身：中央区、居住：岐阜市）
- ・家族や親戚、友達が出身市町村に多くいるので戻って生活がしたい。（女性、30代、出身：荒川区、居住：浜松市）
- ・定年退職後は仕事の都合がなくなるので実家のある地元に戻ることも検討。（男性、50代、出身：海老名市、居住：浜松市）
- ・就学時の学友が多い。また、親の介護が今後必要となった時のことを考えて。（男性、50代、出身：佐賀市、居住：津市）

B 居住環境重視（回答割合 37.9%）

- ・のどかで良い。親が心配。（女性、40代、出身：栃木市、居住：磐田市）
- ・老後の生活としては、のんびりと生活できそう。（男性、40代、出身：藤枝市、居住：浜松市）

C 仕事重視（回答割合 0.9%）

- ・働きやすさ。（女性、30代、出身：立川市、居住：磐田市）

<浜松市出身者><浜松市外出身者>

- ✓ 将来【浜松/出身地】に戻って生活したいと思う人は、家族・友人が出身地にいるかを重視している傾向がある。居住環境では、自然・気候やまちの雰囲気の魅力を感じている傾向がある。

浜松市出身

A 人間関係重視 (回答割合 26.1%)

- ・夫が東京出身のため、地元に戻るといことは考えていない。また車の免許は持っているがペーパードライバーなため車がないと生活できない土地での生活が難しい。(女性、40代、出身：浜松市、居住：中央区)
- ・生活のめど、友達が、首都圏の方が多くなった。(男性、70代、出身：浜松市、居住：横浜市)

B 居住環境重視 (回答割合 65.2%)

- ・車がないと生活できないのは厳しい。親世代を見ている、免許返納後の暮らしが移動に事欠き、辛そう。我々世代ならさらに厳しい。車以外の交通手段が豊富なら検討の余地あり。(女性、40代、出身：浜松市、居住：世田谷区)

C 仕事重視 (回答割合 8.7%)

- ・車の免許をとらなかったので、生活に不便であろうと思うこと。就職先は無いだろうと思うこと。(女性、50代、出身：浜松市、居住：港区)

浜松市外出身

A 人間関係重視 (回答割合 35.7%)

- ・結婚し、家を構えて長年住んでいて慣れているので敢えて戻らなくていいと思う。(女性、50代、出身：磐田市、居住：浜松市)
- ・まわりの友人・知人が出身市にほとんどおらず、市の高齢化が進んでおり自分が求める生活ができないと感じている。(男性、50代、出身：大阪狭山市、居住：浜松市)

B 居住環境重視 (回答割合 55.1%)

- ・年老いてからも今の場所が出身地より便利。(病院、スーパー、交通機関など)(女性、50代、出身：三重県多賀町、居住：浜松市)
- ・絶対に戻りたくない、というわけではないが、必ず出身地に戻りたい、という想いも特にない。出身地に限らず、老後は住みやすい条件(アクセス、生活に不便ない、自然も感じられる)に合う町をさがしてみたいと思う。(男性、40代、出身：徳島市、居住：中野区)

C 仕事重視 (回答割合 9.2%)

- ・女性の働き方や求める役割が前時代的で、一人の社会人として仕事をしづらい。また、文化に触れられる機会も少ない。(女性、30代、出身：静岡市、居住：杉並区)
- ・やりがいのある職業が見つからない。(女性、30代、出身：静岡市、居住：杉並区)

<浜松市出身者><浜松市外出身者>

- ✓ 将来【浜松/出身地】に戻って生活したいと思わない人は、家族・友人が出身地にいないことや現居住地に生活基盤あるとする回答が多かった。居住環境では、現居住地の都市の利便性に魅力を感じている傾向がある。仕事面では、希望の職種がないという意見があった。

3 まとめ

(1) 浜松市出身で浜松に住みたいと思う理由について

住みたいと思う理由として、温暖な気候などの自然環境に関する意見や、大都市圏へのアクセスのしやすさといった意見、家族や友人が多くいるといった家族・交友関係に関する意見が多くあった。自然環境については、浜松市出身者だけでなく、浜松市外出身者で現在浜松市に居住している人からも、自然が多く住みやすいといった意見もあり、自然が豊富であり温暖な気候は、一般的に見ても住みやすさに大きな影響を与えていると考えられる。

名古屋や東京といった大都市圏へのアクセスのしやすさについては、本市は東海道線の沿線上であり、通勤や娯楽で大都市圏へ行く場合にも、比較的時間がかからず移動ができることから、魅力の1つとして捉えられる。

(2) 浜松市出身者が浜松に住みたいと思わない理由について

浜松に住みたくない理由として、仕事の選択肢が少ない、やりたい仕事がないといった仕事に関する意見や都市部での生活を経験してみたいといった意見、交通の便が不便であるといった意見、商業施設や娯楽施設が少ないといった意見が多く挙げられた。仕事に関する意見については、就職時だけでなく、現在や将来に渡って本市に住みたいかの質問に対しても見られた。大都市圏と比較した際に仕事の選択肢は多くないが、意見の中には浜松は仕事の選択肢が多いといった意見もあり、他都市と比べ大きく仕事の選択肢が少ないとは考えにくい。

また、東京や名古屋といった都市部に住みたいといった意見については、就職時における意見として、学生、一般ともに多く挙げられた。内容としては、都市部での生活を経験してみたいといった意見や、進学先が都市部であり、就職先も都市部で選択したといった意見があった。

(3) インタビュー結果を踏まえて

今回のインタビュー結果から、浜松市出身者は、浜松市に住みたいと思っている人が多く、気候や都市部へのアクセスなど、居住する上での住みやすさが明らかになった一方で、仕事の選択肢や浜松市にはない都市部への魅力についての意見もあった。

浜松市の就職先について、他県の大学へ進学した学生や他県に居住している浜松市出身者に浸透していない可能性があることから、今一度本市の就職先について知ってもらうような取組が必要と考える。

政令指定都市比較による 人口減少の現状



2024年2月
企画調整部企画課

1.人口の状況に関するデータ

<浜松市の総人口や人口動態>・・・P5

- ・浜松市の総人口の推移
- ・浜松市の自然動態、社会動態の推移
- ・政令市の総人口の変化

<人口の男女比率>・・・P11

- ・総人口
- ・0～54歳の年齢階層別
- ・年齢階層別一覧

<年齢別の人口>・・・P17

- ・浜松市の15歳から29歳の各歳人口
- ・年齢別の人口構成比（0歳～14歳）
- ・年齢別の人口構成比（15歳～29歳）

2.出生・結婚に関するデータ

<合計特殊出生率と出生率>・・・P23

- ・合計特殊出生率
- ・出生数
- ・出生率
- ・有配偶出生率

<平均出産年齢>・・・P31

- ・平均出産年齢（母の年齢）

<婚姻>・・・P33

- ・未婚率
- ・生涯未婚率
- ・婚姻件数
- ・平均初婚年齢

3.社会移動に関するデータ

<転出超過>・・・P43

- ・5歳階級別の男女別人口移動の推移
- ・地域別・近隣の人口移動の状況
- ・東京圏との5歳階級別人口移動の状況

<若年層の転入転出状況>・・・P47

- ・三大都市圏の転入超過数
- ・男女別の転入転出状況

<高校や大学について>・・・P51

- ・浜松市内高校卒業生の進学場所
- ・高校卒業後の進路
- ・男女別大学等進学率と就職率
- ・大学生数

4.働く場に関するデータ

<働く場について>・・・P59

- ・浜松市の産業（大分類）別就業者数
- ・浜松市の産業別雇用者に占める正規職員・従業員の割合
- ・有効求人倍率
- ・地域企業と学生の職種ニーズ
- ・雇用者に占める正規の職員・従業員の割合
- ・15歳から64歳までの就業率

1.人口の状況に関するデータ

- ✓ 直近の推計人口（2023年10月1日）は、779,780人。→P.6
- ✓ 国勢調査による浜松市の総人口のピークは2005年の804,032人。→P.6
- ✓ 自然動態は2011年から減少に転じ、減少数は拡大傾向。→P.7
(2022年：4,254人の自然減)
- ✓ 社会動態は2009年から2016年までは減少、2021年を除き2017年から増加している。(2022年：1,183人の社会増) ※日本人：429人減 外国人1,612人増
→P.7

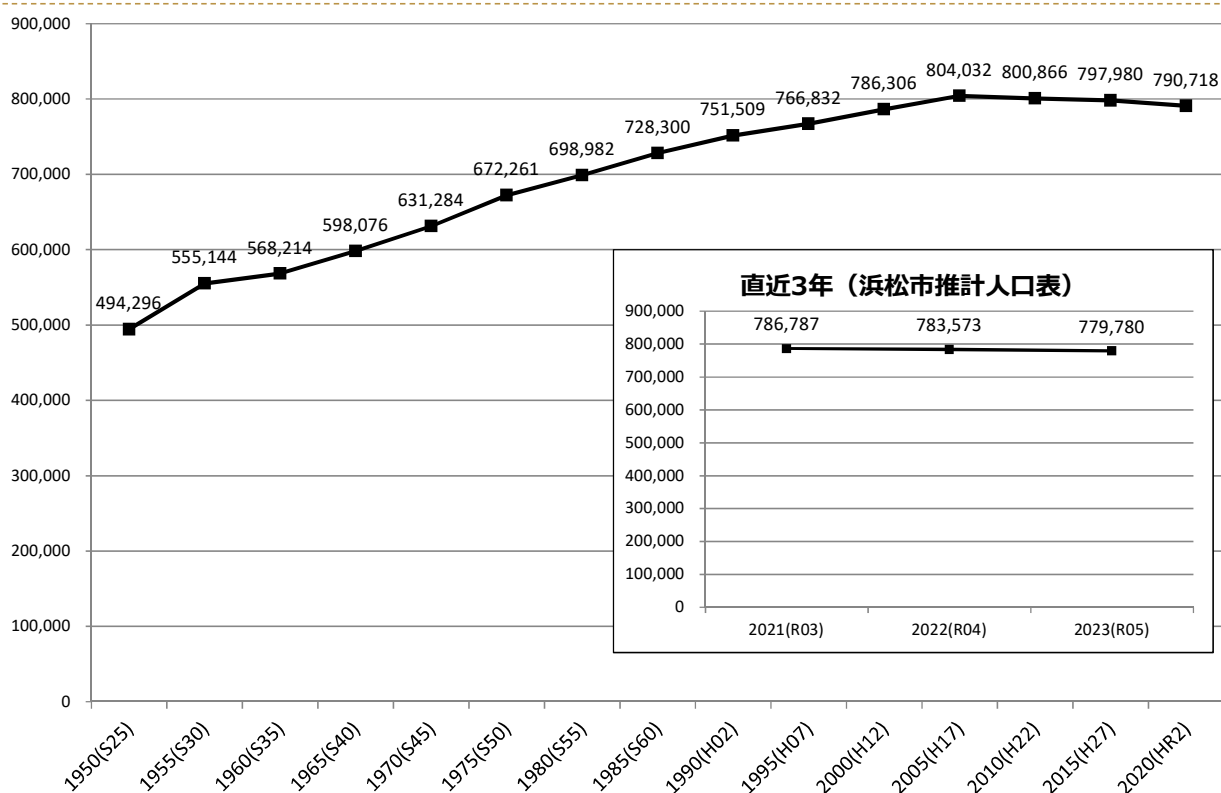
【政令市比較】

- ✓ 2010年と2020年の人口を比べると、北九州市、静岡市、新潟市、堺市、浜松市、神戸市、京都市が人口が減少している。浜松市の減少率は1.5%で、政令市の中で5番目に高い。増加率は10.4%で福岡市が最も高い。→P.8,9



- ・ 自然減が社会減に比べて大きい。
- ・ 社会増減は外国人によって左右される。

浜松市の総人口の推移（各年10月1日時点）



※外国人を含む

出典：総務省「国勢調査」

浜松市の自然動態、社会動態の推移

7

(人)

年次	総人口 (1月1日現在)	自然動態			社会動態		
		出生数	死亡数	自然増減	転入数	転出数	社会増減
2008 (H20)	824,057	7,818	6,761	1,057	27,367	26,313	1,054
2009 (H21)	826,168	7,445	6,754	691	23,653	27,796	-4,143
2010 (H22)	822,716	7,466	7,050	416	21,497	24,787	-3,290
2011 (H23)	819,842	7,277	7,367	-90	21,589	23,254	-1,665
2012 (H24)	818,089	7,380	7,599	-219	21,533	23,789	-2,256
2013 (H25)	815,614	7,169	7,565	-396	21,376	24,309	-2,933
2014 (H26)	812,286	6,859	7,615	-756	21,013	22,226	-1,213
2015 (H27)	810,317	6,970	8,012	-1,042	21,821	22,069	-248
2016 (H28)	809,027	6,783	7,914	-1,131	21,213	21,214	-1
2017 (H29)	807,893	6,433	8,150	-1,717	22,381	21,544	837
2018 (H30)	807,013	6,244	8,632	-2,388	23,663	23,508	155
2019 (R01)	804,780	5,791	8,447	-2,656	23,640	23,237	403
2020 (R02)	802,527	5,628	8,518	-2,890	21,589	21,260	329
2021 (R03)	799,966	5,355	8,859	-3,504	20,122	20,813	-691
2022 (R04)	795,771	5,143	9,397	-4,254	23,859	22,676	1,183

※外国人を含む

出典：総人口は浜松市「浜松市統計書」、自然動態及び社会動態は浜松市市民生活課「人口移動調査表」を基に作成

政令市の総人口の変化（各年10月1日時点）

8

2010・2015・2020年の人口

	2010年 (H22)			2015年 (H27)			2020年 (R2)		
	全体	男	女	全体	男	女	全体	男	女
札幌市	1,913,545	896,850	1,016,695	1,952,356	910,614	1,041,742	1,973,395	918,682	1,054,713
仙台市	1,045,986	507,833	538,153	1,082,159	527,170	554,989	1,096,704	531,617	565,087
さいたま市	1,222,434	611,236	611,198	1,263,979	627,238	636,741	1,324,025	652,920	671,105
千葉市	961,749	480,194	481,555	971,882	482,840	489,042	974,951	481,246	493,705
横浜市	3,688,773	1,849,767	1,839,006	3,724,844	1,855,985	1,868,859	3,777,491	1,867,305	1,910,186
川崎市	1,425,512	728,525	696,987	1,475,213	749,038	726,175	1,538,262	775,772	762,490
相模原市	717,544	361,394	356,150	720,780	361,060	359,720	725,493	362,193	363,300
新潟市	811,901	390,406	421,495	810,157	389,512	420,645	789,275	379,741	409,534
静岡市	716,197	348,609	367,588	704,989	343,338	361,651	693,389	337,812	355,577
浜松市	800,866	397,146	403,720	797,980	395,509	402,471	790,718	392,900	397,818
名古屋市	2,263,894	1,116,211	1,147,683	2,295,638	1,133,640	1,161,998	2,332,176	1,146,669	1,185,507
京都市	1,474,015	701,088	772,927	1,475,183	699,748	775,435	1,463,723	692,279	771,444
大阪市	2,665,314	1,293,798	1,371,516	2,691,185	1,302,562	1,388,623	2,752,412	1,326,875	1,425,537
堺市	841,966	404,756	437,210	839,310	402,379	436,931	826,161	393,961	432,200
神戸市	1,544,200	731,114	813,086	1,537,272	726,700	810,572	1,525,152	716,452	808,700
岡山市	709,584	341,158	368,426	719,474	345,913	373,561	724,691	348,630	376,061
広島市	1,173,843	565,482	608,361	1,194,034	576,850	617,184	1,200,754	579,415	621,339
北九州市	976,846	459,305	517,541	961,286	452,682	508,604	939,029	443,269	495,760
福岡市	1,463,743	692,648	771,095	1,538,681	726,666	812,015	1,612,392	761,148	851,244
熊本市				740,822	348,470	392,352	738,865	349,115	389,750

※外国人を含む

出典：総務省「国勢調査」

政令市の総人口の変化（各年10月1日時点）

2010・2015・2020年の人口増減数と変化率

	2010年→2015年増減数			2010年→2015年変化率				2015年→2020年増減数			2015年→2020年変化率				2010年→2020年増減数			2010→2020変化率			
	全体	男	女	全体	男	女	順	全体	男	女	全体	男	女	順	全体	男	女	全体	男	女	順
札幌市	38,811	13,764	25,047	2.0%	1.5%	2.5%	5	21,039	8,068	12,971	1.1%	0.9%	1.2%	8	59,850	21,832	38,018	3.1%	2.4%	3.7%	6
仙台市	36,173	19,337	16,836	3.5%	3.8%	3.1%	3	14,545	4,447	10,098	1.3%	0.8%	1.8%	7	50,718	23,784	26,934	4.8%	4.7%	5.0%	4
さいたま市	41,545	16,002	25,543	3.4%	2.6%	4.2%	4	60,046	25,682	34,364	4.8%	4.1%	5.4%	2	101,591	41,684	59,907	8.3%	6.8%	9.8%	2
千葉市	10,133	2,646	7,487	1.1%	0.6%	1.6%	9	3,069	-1,594	4,663	0.3%	-0.3%	1.0%	12	13,202	1,052	12,150	1.4%	0.2%	2.5%	11
横浜市	36,071	6,218	29,853	1.0%	0.3%	1.6%	10	52,647	11,320	41,327	1.4%	0.6%	2.2%	6	88,718	17,538	71,180	2.4%	0.9%	3.9%	8
川崎市	49,701	20,513	29,188	3.5%	2.8%	4.2%	2	63,049	26,734	36,315	4.3%	3.6%	5.0%	3	112,750	47,247	65,503	7.9%	6.5%	9.4%	3
相模原市	3,236	-334	3,570	0.5%	-0.1%	1.0%	12	4,713	1,133	3,580	0.7%	0.3%	1.0%	10	7,949	799	7,150	1.1%	0.2%	2.0%	12
新潟市	-1,744	-894	-850	-0.2%	-0.2%	-0.2%	14	-20,882	-9,771	-11,111	-2.6%	-2.5%	-2.6%	20	-22,626	-10,665	-11,961	-2.8%	-2.7%	-2.8%	17
静岡市	-11,208	-5,271	-5,937	-1.6%	-1.5%	-1.6%	18	-11,600	-5,526	-6,074	-1.6%	-1.6%	-1.7%	18	-22,808	-10,797	-12,011	-3.2%	-3.1%	-3.3%	18
浜松市	-2,886	-1,637	-1,249	-0.4%	-0.4%	-0.3%	16	-7,262	-2,609	-4,653	-0.9%	-0.7%	-1.2%	16	-10,148	-4,246	-5,902	-1.3%	-1.1%	-1.5%	15
名古屋市	31,744	17,429	14,315	1.4%	1.6%	1.2%	7	36,538	13,029	23,509	1.6%	1.1%	2.0%	5	68,282	30,458	37,824	3.0%	2.7%	3.3%	7
京都市	1,168	-1,340	2,508	0.1%	-0.2%	0.3%	13	-11,460	-7,469	-3,991	-0.8%	-1.1%	-0.5%	14	-10,292	-8,809	-1,483	-0.7%	-1.3%	-0.2%	13
大阪市	25,871	8,764	17,107	1.0%	0.7%	1.2%	11	61,227	24,313	36,914	2.3%	1.9%	2.7%	4	87,098	33,077	54,021	3.3%	2.6%	3.9%	5
堺市	-2,656	-2,377	-279	-0.3%	-0.6%	-0.1%	15	-13,149	-8,418	-4,731	-1.6%	-2.1%	-1.1%	17	-15,805	-10,795	-5,010	-1.9%	-2.7%	-1.1%	16
神戸市	-6,928	-4,414	-2,514	-0.4%	-0.6%	-0.3%	17	-12,120	-10,248	-1,872	-0.8%	-1.4%	-0.2%	15	-19,048	-14,662	-4,386	-1.2%	-2.0%	-0.5%	14
岡山市	9,890	4,755	5,135	1.4%	1.4%	1.4%	8	5,217	2,717	2,500	0.7%	0.8%	0.7%	9	15,107	7,472	7,635	2.1%	2.2%	2.1%	10
広島市	20,191	11,368	8,823	1.7%	2.0%	1.5%	6	6,720	2,565	4,155	0.6%	0.4%	0.7%	11	26,911	13,933	12,978	2.3%	2.5%	2.1%	9
北九州市	-15,560	-6,623	-8,937	-1.6%	-1.4%	-1.7%	19	-22,257	-9,413	-12,844	-2.3%	-2.1%	-2.5%	19	-37,817	-16,036	-21,781	-3.9%	-3.5%	-4.2%	19
福岡市	74,938	34,018	40,920	5.1%	4.9%	5.3%	1	73,711	34,482	39,229	4.8%	4.7%	4.8%	1	148,649	68,500	80,149	10.2%	9.9%	10.4%	1
熊本市								-1,957	645	-2,602	-0.3%	0.2%	-0.7%	13							
政令市平均	17,815	6,943	10,872	1.1%	0.9%	1.3%		15,092	5,004	10,087	0.6%	0.4%	0.9%		33,804	12,177	21,627	1.8%	1.3%	2.3%	

出典：総務省「国勢調査」

- ✓ 浜松市の2020年の総人口の男女比率ほぼ同率である。
(男性:49.7% 女性:50.3%) →P.12

【政令市比較】

- ✓ 浜松市の総人口の女性比率は低く、政令市で下から3番目である。(2020年:50.3%) →P.12
- ✓ 年齢階層別にみると0~9歳、15~29歳の女性比率が政令市で最も低い。(2020年 0~9歳:15~29歳:47.5%) →P.14

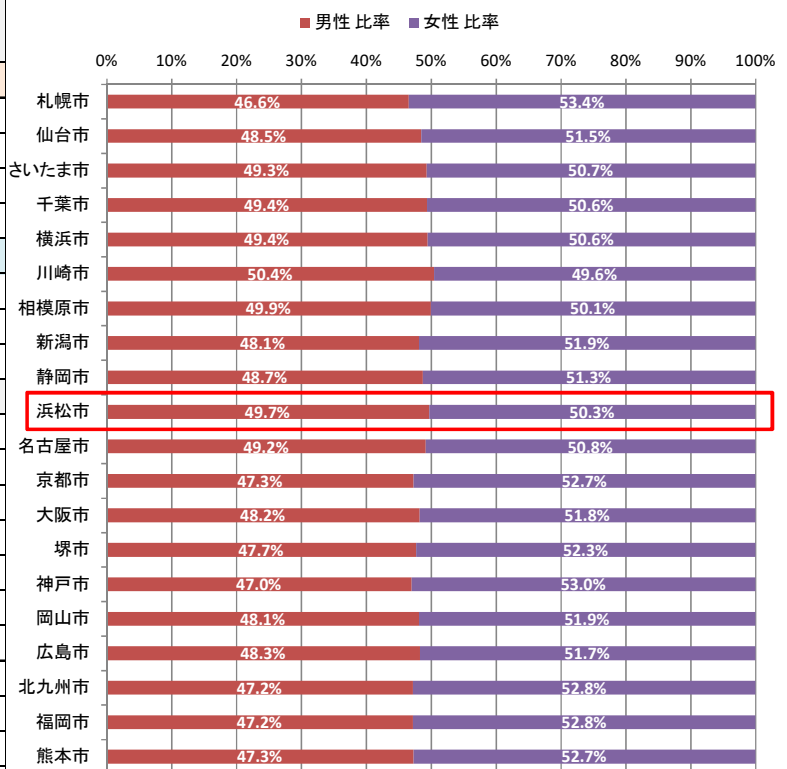


・若い世代の女性比率が低い。=若い世代の女性が少ない。

人口の男女比率（総人口）

(2020年)

都市名	男性		女性		女性比率順
	人口	比率	人口	比率	
札幌市	918,682	46.6%	1,054,713	53.4%	1
仙台市	531,617	48.5%	565,087	51.5%	12
さいたま市	652,920	49.3%	671,105	50.7%	15
千葉市	481,246	49.4%	493,705	50.6%	16
横浜市	1,867,305	49.4%	1,910,186	50.6%	17
川崎市	775,772	50.4%	762,490	49.6%	20
相模原市	362,193	49.9%	363,300	50.1%	19
新潟市	379,741	48.1%	409,534	51.9%	9
静岡市	337,812	48.7%	355,577	51.3%	13
浜松市	392,900	49.7%	397,818	50.3%	18
名古屋市	1,146,669	49.2%	1,185,507	50.8%	14
京都市	692,279	47.3%	771,444	52.7%	6
大阪市	1,326,875	48.2%	1,425,537	51.8%	10
堺市	393,961	47.7%	432,200	52.3%	7
神戸市	716,452	47.0%	808,700	53.0%	2
岡山市	348,630	48.1%	376,061	51.9%	8
広島市	579,415	48.3%	621,339	51.7%	11
北九州市	443,269	47.2%	495,760	52.8%	3
福岡市	761,148	47.2%	851,244	52.8%	4
熊本市	349,115	47.3%	389,750	52.7%	5
政令市平均		48.4%		51.6%	



※外国人を含む

出典：総務省「国勢調査」

人口の男女比率（0歳～54歳の年齢階層別）

13

男性比率（2020年）

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
札幌市	51.33%	51.12%	51.08%	50.32%	49.17%	47.23%	48.19%	48.02%	48.07%	47.73%	46.94%
仙台市	51.76%	51.36%	51.09%	51.02%	51.00%	49.05%	49.12%	48.79%	49.48%	49.86%	50.47%
さいたま市	51.23%	51.52%	50.83%	51.34%	50.42%	49.81%	50.52%	50.93%	50.96%	50.80%	50.67%
千葉市	51.26%	51.40%	51.14%	50.63%	50.63%	50.48%	51.38%	51.08%	50.38%	50.49%	50.99%
横浜市	51.17%	51.30%	51.38%	51.06%	50.77%	50.93%	50.95%	50.91%	50.79%	50.34%	51.12%
川崎市	51.20%	51.36%	51.42%	50.93%	50.58%	51.88%	51.73%	52.33%	51.90%	51.86%	52.51%
相模原市	50.97%	51.54%	51.21%	50.40%	49.92%	51.12%	52.39%	51.86%	52.17%	52.04%	52.10%
新潟市	51.61%	51.17%	50.86%	51.15%	50.66%	49.49%	49.84%	49.90%	50.41%	50.01%	49.88%
静岡市	51.63%	51.34%	51.58%	51.73%	51.44%	52.14%	51.48%	50.73%	50.82%	50.70%	50.20%
浜松市	51.90%	51.69%	51.44%	52.31%	52.42%	52.80%	52.11%	51.21%	51.05%	51.02%	51.32%
名古屋市	51.01%	51.42%	51.07%	50.98%	49.97%	50.54%	50.98%	51.29%	50.99%	50.85%	51.08%
京都市	51.30%	51.35%	51.25%	50.41%	50.29%	48.50%	48.77%	48.20%	48.58%	48.32%	48.27%
大阪市	51.02%	51.10%	51.33%	50.22%	48.01%	48.57%	49.16%	49.67%	49.59%	50.06%	50.12%
堺市	51.10%	51.16%	51.18%	50.86%	50.41%	49.72%	49.98%	48.87%	48.56%	49.35%	49.17%
神戸市	51.46%	51.10%	51.37%	50.23%	47.39%	47.21%	48.54%	48.10%	47.61%	47.79%	47.74%
岡山市	50.78%	51.46%	51.43%	51.08%	50.74%	50.00%	49.20%	49.50%	49.75%	49.58%	48.77%
広島市	50.83%	51.13%	51.17%	50.57%	48.81%	49.66%	49.68%	49.57%	49.25%	49.44%	49.63%
北九州市	50.54%	51.55%	50.78%	51.58%	51.58%	50.06%	50.23%	49.07%	49.24%	48.63%	47.61%
福岡市	51.21%	51.30%	50.93%	49.97%	48.15%	46.26%	47.38%	47.84%	48.07%	48.37%	48.05%
熊本市	50.98%	51.51%	50.61%	51.37%	50.26%	48.13%	48.62%	48.28%	48.48%	48.02%	46.86%
政令市平均	51.22%	51.34%	51.16%	50.91%	50.13%	49.68%	50.01%	49.81%	49.81%	49.76%	49.68%

※外国人を含む

出典：総務省「国勢調査」

人口の男女比率（0歳～54歳の年齢階層別）

14

女性比率（2020年）

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳
札幌市	48.67%	48.88%	48.92%	49.68%	50.83%	52.77%	51.81%	51.98%	51.93%	52.27%	53.06%
仙台市	48.24%	48.64%	48.91%	48.98%	49.00%	50.95%	50.88%	51.21%	50.52%	50.14%	49.53%
さいたま市	48.77%	48.48%	49.17%	48.66%	49.58%	50.19%	49.48%	49.07%	49.04%	49.20%	49.33%
千葉市	48.74%	48.60%	48.86%	49.37%	49.37%	49.52%	48.62%	48.92%	49.62%	49.51%	49.01%
横浜市	48.83%	48.70%	48.62%	48.94%	49.23%	49.07%	49.05%	49.09%	49.21%	49.66%	48.88%
川崎市	48.80%	48.64%	48.58%	49.07%	49.42%	48.12%	48.27%	47.67%	48.10%	48.14%	47.49%
相模原市	49.03%	48.46%	48.79%	49.60%	50.08%	48.88%	47.61%	48.14%	47.83%	47.96%	47.90%
新潟市	48.39%	48.83%	49.14%	48.85%	49.34%	50.51%	50.16%	50.10%	49.59%	49.99%	50.12%
静岡市	48.37%	48.66%	48.42%	48.27%	48.56%	47.86%	48.52%	49.27%	49.18%	49.30%	49.80%
浜松市	48.10%	48.31%	48.56%	47.69%	47.58%	47.20%	47.89%	48.79%	48.95%	48.98%	48.68%
名古屋市	48.99%	48.58%	48.93%	49.02%	50.03%	49.46%	49.02%	48.71%	49.01%	49.15%	48.92%
京都市	48.70%	48.65%	48.75%	49.59%	49.71%	51.50%	51.23%	51.80%	51.42%	51.68%	51.73%
大阪市	48.98%	48.90%	48.67%	49.78%	51.99%	51.43%	50.84%	50.33%	50.41%	49.94%	49.88%
堺市	48.90%	48.84%	48.82%	49.14%	49.59%	50.28%	50.02%	51.13%	51.44%	50.65%	50.83%
神戸市	48.54%	48.90%	48.63%	49.77%	52.61%	52.79%	51.46%	51.90%	52.39%	52.21%	52.26%
岡山市	49.22%	48.54%	48.57%	48.92%	49.26%	50.00%	50.80%	50.50%	50.25%	50.42%	51.23%
広島市	49.17%	48.87%	48.83%	49.43%	51.19%	50.34%	50.32%	50.43%	50.75%	50.56%	50.37%
北九州市	49.46%	48.45%	49.22%	48.42%	48.42%	49.94%	49.77%	50.93%	50.76%	51.37%	52.39%
福岡市	48.79%	48.70%	49.07%	50.03%	51.85%	53.74%	52.62%	52.16%	51.93%	51.63%	51.95%
熊本市	49.02%	48.49%	49.39%	48.63%	49.74%	51.87%	51.38%	51.72%	51.52%	51.98%	53.14%
政令市平均	48.78%	48.66%	48.84%	49.09%	49.87%	50.32%	49.99%	50.19%	50.19%	50.24%	50.32%

※外国人を含む

出典：総務省「国勢調査」

人口の男女比率（年齢階層別一覧）

■ ……男性比率が高い □ ……女性比率が高い

(2020年)

男女比率	0～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
札幌市	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
仙台市	■	■	■	□	□	□	□	□	■	□	□	□
さいたま市	■	■	■	□	■	■	■	■	■	■	■	□
千葉市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□
横浜市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□
川崎市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□
相模原市	■	■	□	■	■	■	■	■	■	■	■	□
新潟市	■	■	■	□	□	□	■	■	□	□	□	□
静岡市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□	□
浜松市	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	□
名古屋市	■	■	□	■	■	■	■	■	■	■	■	□
京都市	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□
大阪市	■	■	□	□	□	□	□	■	■	□	□	□
堺市	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□
神戸市	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
岡山市	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□
広島市	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
北九州市	■	■	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□
福岡市	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
熊本市	■	■	■	□	□	□	□	□	□	□	□	□
特別区	■	■	□	□	■	■	■	■	■	■	■	□

※外国人を含む

出典：総務省「国勢調査」

- ✓ 浜松市の15歳から29歳の各歳人口を見ると、男性の減少年齢は、18歳～19歳で主であるが、女性は18歳～23歳まで減少が続く。 →P.18

【政令市比較】

- ✓ 浜松市は、人口に占める0歳～14歳の割合は政令市で3番目であり高いが、15歳～29歳の割合は政令市で下から4番目と低い。(0歳～14歳:12.8% 15歳～29歳:13.4%) →P.19,20



- ・ 人口に占める0歳～14歳の割合が高い。 = 子どもの数は多い。
- ・ 人口に占める15歳～29歳の割合が低い。 = 若年層の数が少ない。

浜松市の15歳から29歳の各歳人口（各年4月1日時点）

【男性】

【女性】

区分	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
15	4,153	4,018	4,025	4,033	4,098	3,930	3,965	3,731	3,823	3,937
16	3,879	4,146 -7	4,035 17	4,042 17	4,051 18	4,092 -6	3,929 -1	3,969 4	3,727 -4	3,836 13
17	4,064	3,881	4,149	4,055	4,051	4,060	4,098	3,940	3,979	3,734
18	3,828	3,893 -171	3,743 -138	4,009 -140	3,876 -179	3,902 -149	3,892 -168	3,885 -213	3,744 -196	3,824 -155
19	3,893	3,814 -14	3,868 -25	3,740 -3	4,016 7	3,863 -13	3,969 67	3,892 0	3,795 -90	3,747 3
20	3,788	3,889 -4	3,809 -5	3,885 17	3,763 23	4,015 -1	3,894 31	3,920 -49	3,818 -74	3,822 27
21	3,645	3,836	3,882	3,804	3,931	3,796	4,062	3,895	3,932	3,967
22	4,024	3,701	3,857	3,856	3,838	3,951	3,815	4,034	3,864	3,969
23	3,932	4,124	3,840	3,929	4,034	3,927	4,072	3,938	4,126	4,143
24	4,076	3,942	4,144	3,917	3,993	4,066	3,970	4,124	3,950	4,244
25	4,418	4,187	3,983	4,184	3,996	4,081	4,174	3,983	4,137	4,082
26	4,698	4,453	4,187	4,022	4,259	4,067	4,158	4,264	3,929	4,147
27	4,669	4,646 -52	4,457 4	4,187 0	4,064 42	4,306 47	4,058 -9	4,158 -28	4,246 -18	4,029 100
28	5,070	4,631 -38	4,624 -22	4,492 35	4,221 34	4,035 -29	4,271 -35	4,062 4	4,111 -47	4,323 77
29	5,070	5,038 -32	4,622 -9	4,590 -34	4,479 -13	4,260 39	4,041 6	4,234 -37	3,981 -81	4,134 23
合計	63,207	62,199	61,225	60,745	60,670	60,351	60,396	60,029	59,162	59,938

区分	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)
15	3,866	3,782	3,728	3,783	3,719	3,712	3,561	3,524	3,735	3,701
16	3,806	3,876 10	3,787 5	3,747 19	3,808 25	3,720 1	3,721 9	3,561 0	3,540 16	3,747 12
17	3,774	3,807	3,883	3,799	3,752	3,826	3,722	3,714	3,569	3,551
18	3,667	3,664 -110	3,728 -79	3,769 -114	3,668 -131	3,630 -122	3,722 -104	3,590 -132	3,567 -147	3,465 -104
19	3,696	3,646 -21	3,665 1	3,727 -1	3,666 -2	3,688 58	3,693 -29	3,536 -54	3,506 -61	
20	3,755	3,658 -38	3,624 -22	3,650 -15	3,688 -39	3,710 -47	3,675 9	3,660 -28	3,582 -111	3,565 29
21	3,556	3,734	3,645	3,610	3,606	3,694	3,718	3,659	3,579	3,606
22	3,655	3,576	3,800	3,529	3,544	3,563	3,545	3,665	3,619	3,641
23	3,577	3,691	3,554	3,593	3,562	3,521	3,550	3,522	3,680	3,688
24	3,815	3,552 -25	3,745 54	3,522 -32	3,613 20	3,549 -13	3,560 39	3,539 -11	3,540 18	3,685 5
25	4,023	3,806	3,569	3,704	3,549	3,622	3,584	3,575	3,531	3,594
26	4,235	3,989	3,832	3,550	3,691	3,598	3,644	3,589	3,577	3,570
27	4,180	4,217 -18	4,006 17	3,878 46	3,611 61	3,674 -17	3,560 -38	3,656 12	3,612 23	3,576 -1
28	4,538	4,176 -4	4,198 -19	4,000 -6	3,896 18	3,619 8	3,641 -33	3,565 5	3,651 -5	3,604 -8
29	4,680	4,483 -55	4,159 -17	4,182 -16	3,973 -27	3,882 -14	3,591 -28	3,635 -6	3,559 -6	3,680 29
合計	58,823	57,657	56,723	56,043	55,437	54,986	54,482	54,147	53,877	54,179

※下段：該当年の人口から、1年前の1歳下の人口を引いた数

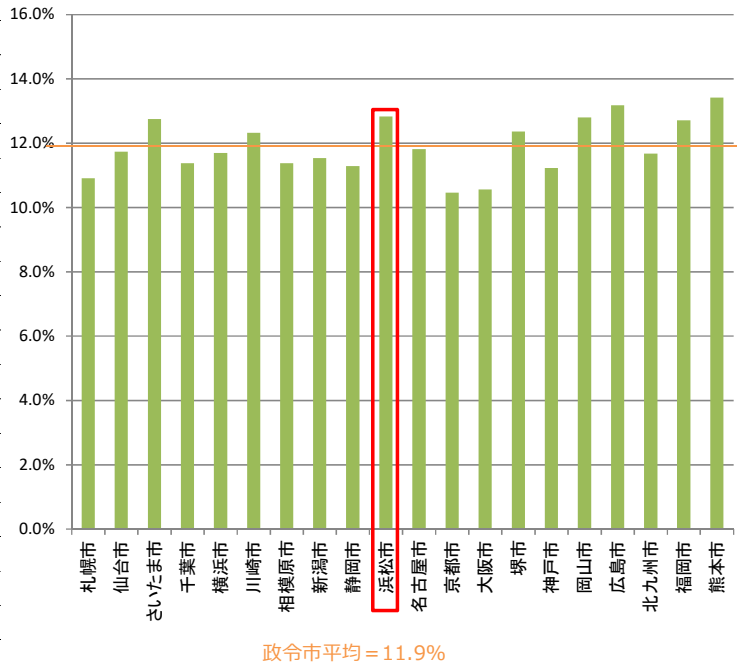
※外国人を含む

出典：浜松市「町字別・年齢別人口表」

年齢別の人口構成比（0歳～14歳）

(2020年 (R2)国勢調査)

都市名	男性	女性	合計	割合	順
札幌市	110,196	105,170	215,366	10.9%	18
仙台市	66,123	62,542	128,665	11.7%	10
さいたま市	86,414	82,391	168,805	12.7%	5
千葉市	56,863	54,066	110,929	11.4%	14
横浜市	226,591	215,219	441,810	11.7%	11
川崎市	97,260	92,230	189,490	12.3%	8
相模原市	42,298	40,234	82,532	11.4%	15
新潟市	46,594	44,429	91,023	11.5%	13
静岡市	40,321	37,953	78,274	11.3%	16
浜松市	52,415	49,046	101,461	12.8%	3
名古屋市	140,965	134,519	275,484	11.8%	9
京都市	78,495	74,510	153,005	10.5%	20
大阪市	148,667	141,982	290,649	10.6%	19
堺市	52,220	49,871	102,091	12.4%	7
神戸市	87,893	83,422	171,315	11.2%	17
岡山市	47,526	45,230	92,756	12.8%	4
広島市	80,812	77,478	158,290	13.2%	2
北九州市	55,857	53,733	109,590	11.7%	12
福岡市	104,834	100,139	204,973	12.7%	6
熊本市	50,625	48,574	99,199	13.4%	1
政令市平均				11.9%	



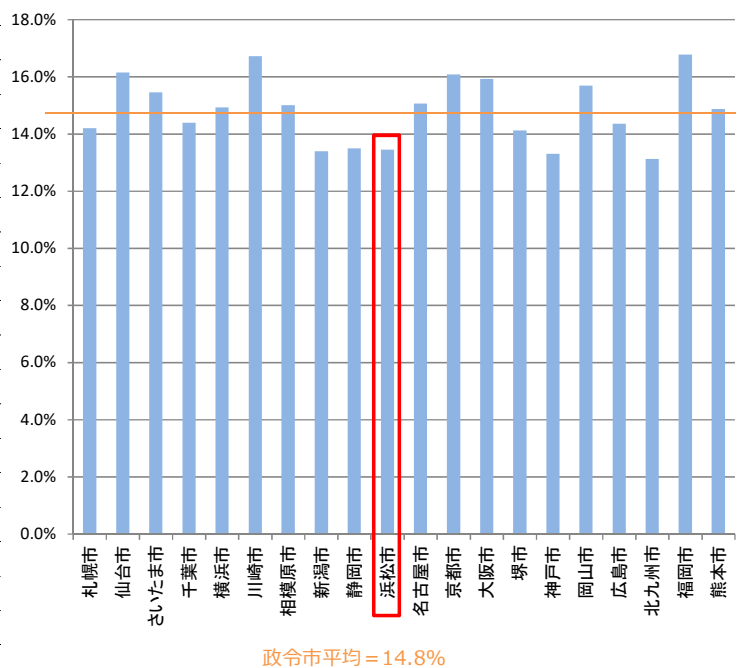
※外国人を含む

出典：総務省「国勢調査」

年齢別の人口構成比（15歳～29歳）

(2020年 (R2)国勢調査)

都市名	男性	女性	合計	割合	順
札幌市	136,850	143,376	280,226	14.2%	14
仙台市	89,176	87,910	177,086	16.1%	3
さいたま市	103,291	101,371	204,662	15.5%	7
千葉市	70,967	69,336	140,303	14.4%	12
横浜市	287,115	276,833	563,948	14.9%	10
川崎市	131,662	125,542	257,204	16.7%	2
相模原市	54,971	53,948	108,919	15.0%	9
新潟市	53,339	52,385	105,724	13.4%	18
静岡市	48,448	45,140	93,588	13.5%	16
浜松市	55,845	50,499	106,344	13.4%	17
名古屋市	177,327	174,098	351,425	15.1%	8
京都市	117,103	118,235	235,338	16.1%	4
大阪市	213,839	224,644	438,483	15.9%	5
堺市	58,721	57,928	116,649	14.1%	15
神戸市	97,911	104,975	202,886	13.3%	19
岡山市	57,551	56,173	113,724	15.7%	6
広島市	85,686	86,781	172,467	14.4%	13
北九州市	62,978	60,294	123,272	13.1%	20
福岡市	129,731	140,756	270,487	16.8%	1
熊本市	54,889	54,999	109,888	14.9%	11
政令市平均				14.8%	



※外国人を含む

出典：総務省「国勢調査」

2.出生・結婚に関するデータ

- ✓ 近年の浜松市の合計特殊出生率は、2015年をピークに下降傾向にある。(2015年:1.57 2022年: 1.35) →P.24
- ✓ 浜松市の出生数のピークは、1973年の9,751人。→P.26
- ✓ 2022年の出生数を10年前と比べると、30%の減。(2012年:7,137人 2022年:4,945人) →P.26
- ✓ 有配偶出生率は他政令市同様低下しており、また、結婚したら子どもは持つべきだと考える人の割合も低下している。→P.28,29

【政令市比較】

- ✓ 浜松市は、政令市の中で合計特殊出生率が高い。2015年は最も高く、2020年は3番目である。(2020年:1.44) →P.25
- ✓ 浜松市の出生率は、政令市の中で12番目である。(2022年:6.3) →P.27

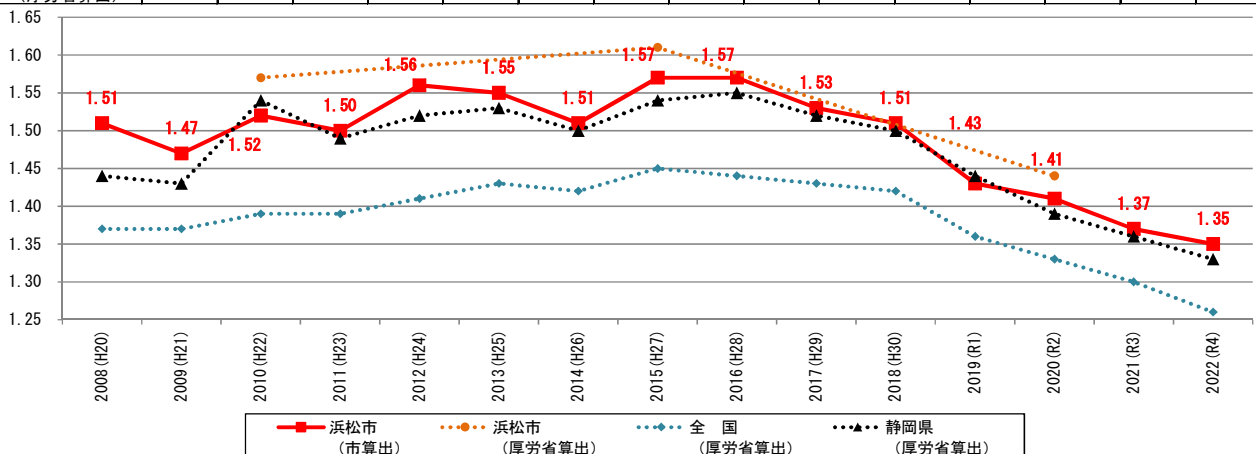


- ・ 合計特殊出生率は、下降傾向にあるが、政令市の中では高い。
- ・ 出生数は減少しており、近年減少のペースが上がっている。
- ・ 合計特殊出生率は高く、出生率が低いことから総人口のうち、15歳～49歳の女性の割合が低いことが考えられる。

合計特殊出生率

浜松市、全国、静岡県の比較

区分	2008 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
浜松市 (市算出)	1.51	1.47	1.52	1.50	1.56	1.55	1.51	1.57	1.57	1.53	1.51	1.43	1.41	1.37	1.35
浜松市 (厚労省算出)			1.57					1.61					1.44		
全国 (厚労省算出)	1.37	1.37	1.39	1.39	1.41	1.43	1.42	1.45	1.44	1.43	1.42	1.36	1.33	1.30	1.26
静岡県 (厚労省算出)	1.44	1.43	1.54	1.49	1.52	1.53	1.50	1.54	1.55	1.52	1.50	1.44	1.39	1.36	1.33



$$\text{合計特殊出生率} = \left[\frac{\text{母の年齢別出生数(日本人)}}{\text{年齢別女性人口}} \right] \times \text{15歳から49歳までの合計}$$

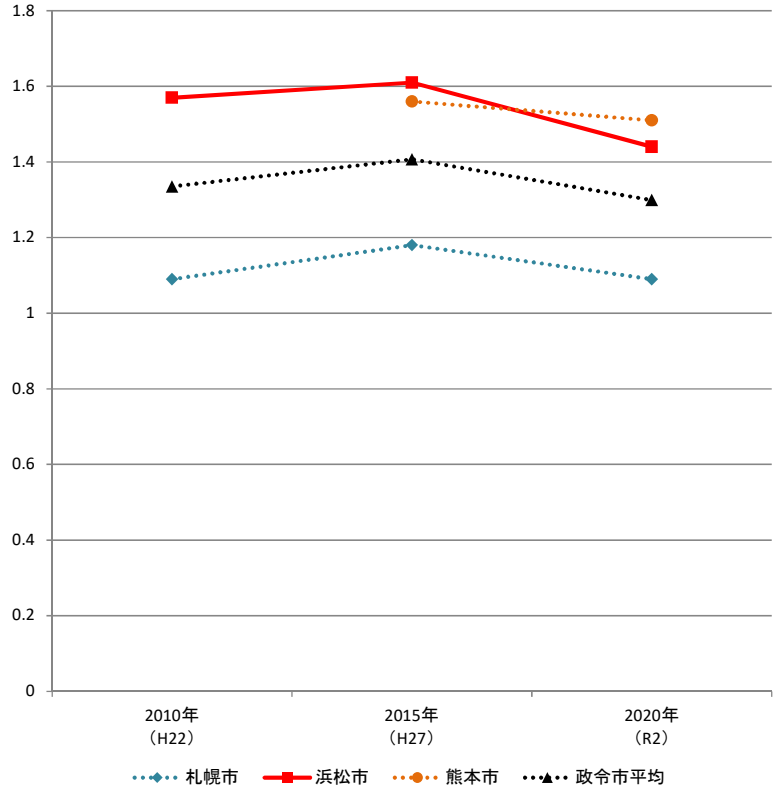
※厚労省算出は、厚生労働省人口動態統計(確定数)による日本人の年齢別女性人口を用いて算出
 ※浜松市算出は、住民基本台帳による日本人の年齢別女性人口を用いて算出

※日本人のみ

出典：浜松市「保健衛生年報」

合計特殊出生率（2010年、2015年、2020年）

	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2020年 順
札幌市	1.09	1.18	1.09	20
仙台市	1.20	1.30	1.17	17
さいたま市	1.38	1.42	1.30	9
千葉市	1.35	1.37	1.24	14
横浜市	1.31	1.38	1.25	13
川崎市	1.30	1.43	1.26	12
相模原市	1.28	1.33	1.23	15
新潟市	1.31	1.37	1.30	9
静岡市	1.42	1.43	1.32	8
浜松市	1.57	1.61	1.44	3
名古屋市	1.36	1.42	1.34	7
京都市	1.17	1.24	1.15	19
大阪市	1.26	1.26	1.17	17
堺市	1.43	1.54	1.44	3
神戸市	1.29	1.37	1.27	11
岡山市	1.45	1.49	1.41	6
広島市	1.47	1.52	1.42	5
北九州市	1.48	1.59	1.47	2
福岡市	1.25	1.33	1.20	16
熊本市		1.56	1.51	1
政令市平均	1.34	1.41	1.30	



※日本人のみ

出典：厚生労働省「人口動態統計」

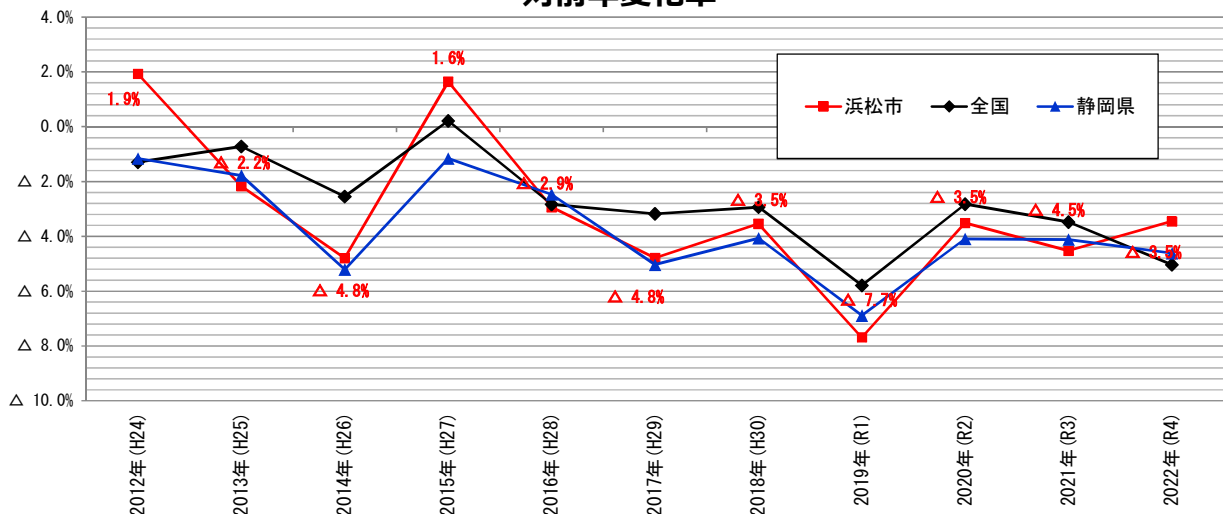
出生数

年間出生数

区分	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	
浜松市	出生数(人)	7,137	6,982	6,647	6,756	6,558	6,244	6,023	5,560	5,365	5,122	4,945
	減少率	1.9%	△ 2.2%	△ 4.8%	1.6%	△ 2.9%	△ 4.8%	△ 3.5%	△ 7.7%	△ 3.5%	△ 4.5%	△ 3.5%
全国	出生数(人)	1,037,232	1,029,817	1,003,609	1,005,721	977,242	946,146	918,400	865,239	840,835	811,604	770,747
	減少率	△ 1.3%	△ 0.7%	△ 2.5%	0.2%	△ 2.8%	△ 3.2%	△ 2.9%	△ 5.8%	△ 2.8%	△ 3.5%	△ 5.0%
静岡県	出生数(人)	30,810	30,260	28,684	28,352	27,652	26,261	25,192	23,457	22,497	21,571	20,575
	減少率	△ 1.2%	△ 1.8%	△ 5.2%	△ 1.2%	△ 2.5%	△ 5.0%	△ 4.1%	△ 6.9%	△ 4.1%	△ 4.1%	△ 4.6%

※浜松市の出生数のピーク：9,751人（1973年）

対前年変化率



※日本人のみ

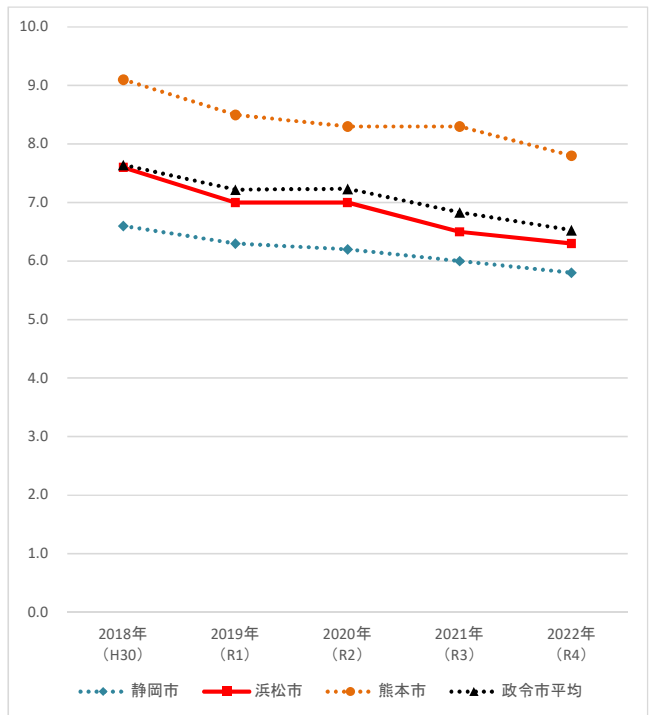
出典：厚生労働省「人口動態統計」

出生率

出生率は、人口千人に対する出生数の割合

出生数：年間出生数
人口：各年10月1日現在日本人人口（総務省統計局人口推計）

	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2022年 順
札幌市	6.7	6.5	6.3	6.1	5.7	19
仙台市	7.7	7.1	7.2	6.7	6.4	10
さいたま市	7.9	7.7	7.7	7.3	7.2	4
千葉市	6.5	6.3	6.3	6.1	5.9	15
横浜市	7.3	6.8	6.8	6.4	6.1	13
川崎市	8.9	8.5	8.4	7.8	7.3	3
相模原市	6.9	6.4	6.5	6.1	5.7	19
新潟市	7.1	6.7	6.6	6.5	6.1	13
静岡市	6.6	6.3	6.2	6.0	5.8	17
浜松市	7.6	7.0	7.0	6.5	6.3	12
名古屋市	8.1	7.6	7.8	7.4	7.0	6
京都市	6.8	6.5	6.5	6.0	5.8	17
大阪市	7.7	7.4	7.7	7.0	6.7	8
堺市	7.6	7.1	7.2	6.7	6.5	9
神戸市	6.8	6.7	6.6	6.1	5.9	15
岡山市	8.4	7.8	7.9	7.4	7.2	4
広島市	8.3	7.7	7.8	7.4	7.0	6
北九州市	7.6	7.0	7.0	6.8	6.4	10
福岡市	8.8	8.4	8.3	7.7	7.5	2
熊本市	9.1	8.5	8.3	8.3	7.8	1
政令市平均	7.6	7.2	7.2	6.8	6.5	



※日本人のみ

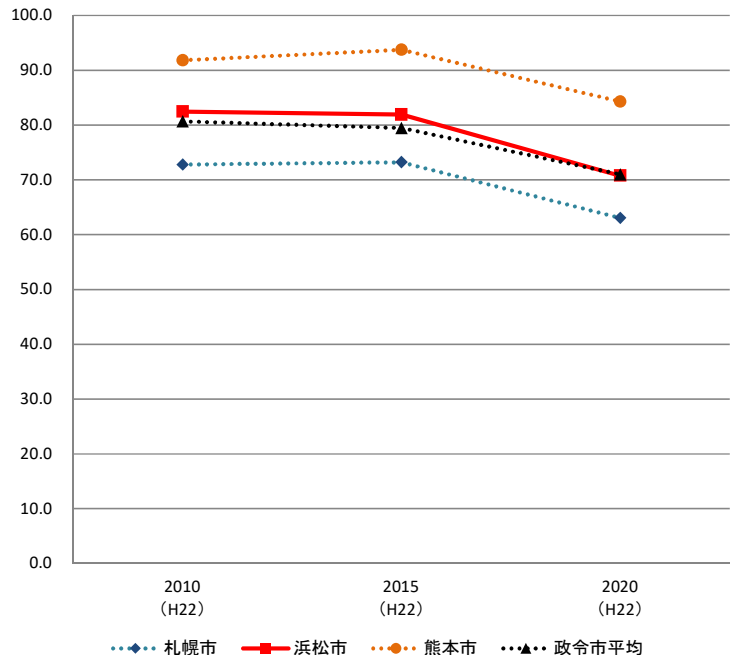
出典：厚生労働省「人口動態統計」

有配偶出生率

2010年、2015年、2020年の有配偶出生率（人口千対）

・有配偶出生率
15歳～49歳の結婚している女性1,000人に対する出生した子供の数の割合

	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2020 順
札幌市	72.8	73.2	63.0	20
仙台市	76.9	79.3	67.7	16
さいたま市	74.9	73.4	68.9	13
千葉市	74.2	69.1	63.2	19
横浜市	73.6	72.2	65.2	17
川崎市	78.5	80.9	69.9	11
相模原市	74.0	71.5	65.2	18
新潟市	76.4	76.8	69.1	12
静岡市	79.2	75.4	68.6	14
浜松市	82.5	81.9	70.8	9
名古屋市	80.7	80.8	74.8	6
京都市	81.0	80.1	70.7	10
大阪市	86.9	80.3	75.0	5
堺市	81.1	78.8	71.7	8
神戸市	78.8	79.3	68.5	15
岡山市	87.8	85.4	76.8	3
広島市	84.0	81.1	72.3	7
北九州市	87.9	88.8	78.1	2
福岡市	90.5	87.3	76.0	4
熊本市	91.8	93.7	84.3	1
政令市平均	80.7	79.5	71.0	



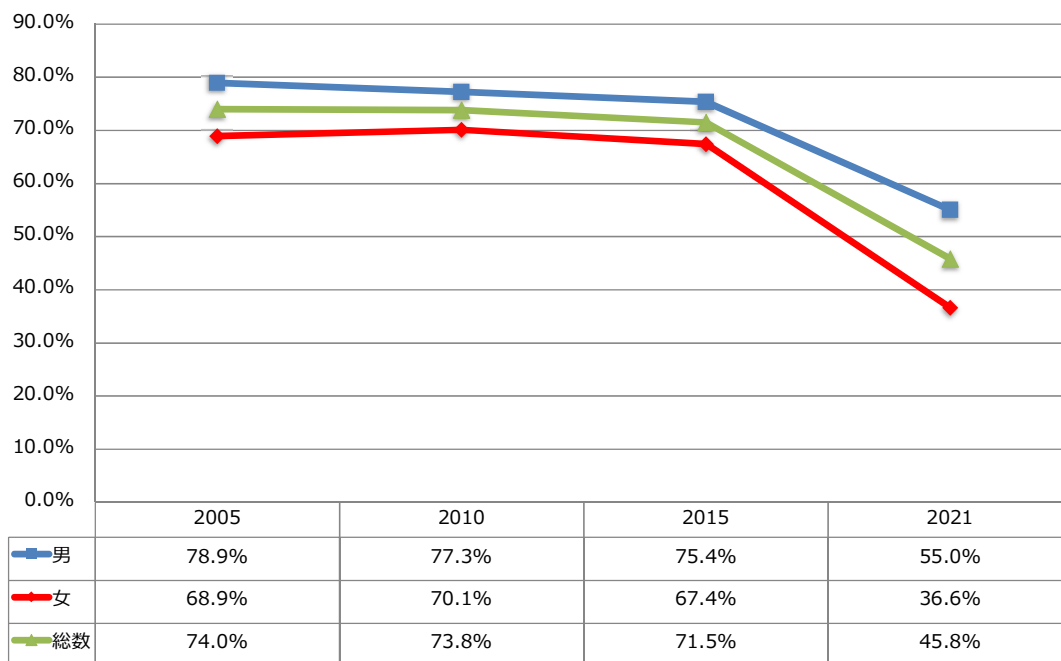
※日本人のみ

出典：内閣官房「地域少子化・働き方指標」

「結婚したら、子どもは持つべきだ」の考えに肯定的な未婚者の割合

29

※肯定的 = 「結婚したら、子どもは持つべきだ」の考えに「まったく賛成」又は「どちらかといえば賛成」に回答した人の割合。



※外国人を含む

出典：国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」

- ✓ 浜松市の第1子出産年齢は、2010年から2014年までは上昇傾向だったが、2015年以降はほぼ横ばい。→P.32

【政令市比較】

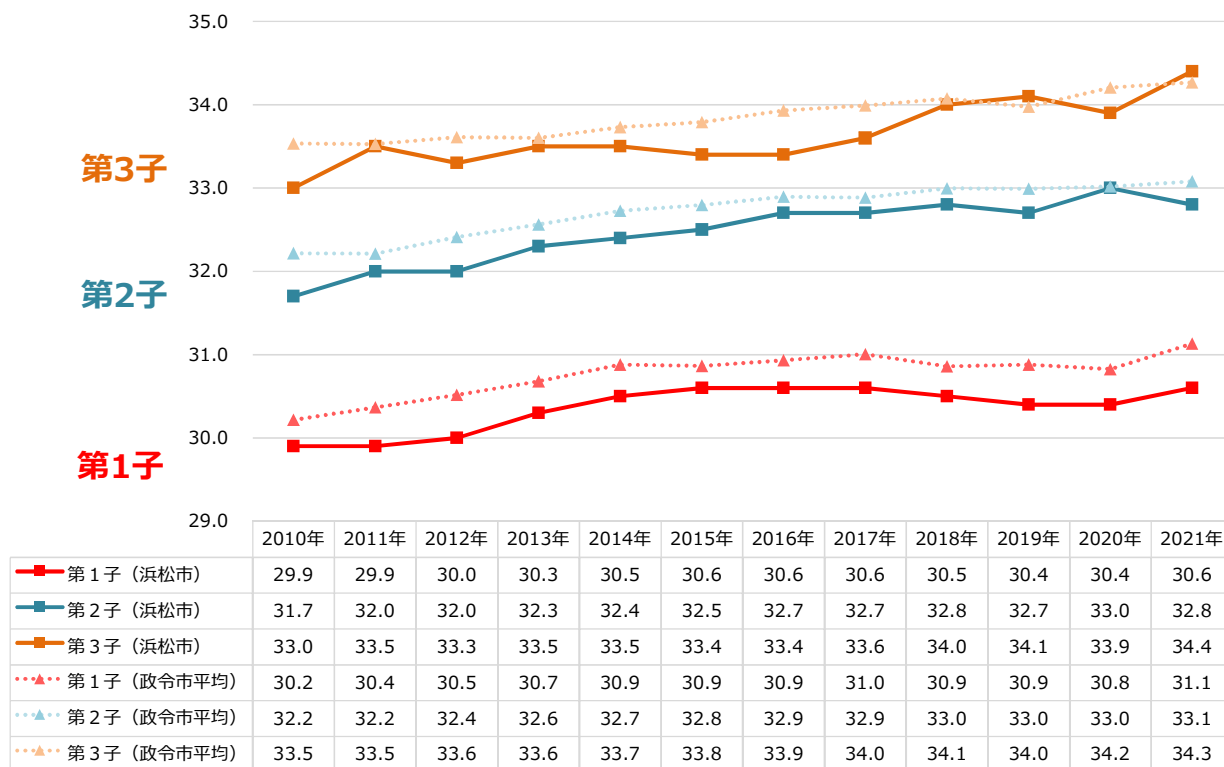
- ✓ 浜松市の第1子平均出産年齢は、政令市平均と比べて低い。→P.32
(2021年 浜松市:30.6歳 政令市平均:31.1歳)
- ✓ 浜松市の第3子平均出産年齢が、近年、政令市平均と比べて高くなってきている。→P.32
(2021年 浜松市:34.4歳 政令市平均:34.3歳)



- ・ 晩産化の傾向であるが、第1子のお産年齢は低い。
- ・ 第2子及び第3子の出産年齢が高くなっている。
- ・ 第1子と第2子、第2子と第3子のお産年齢の差が大きい。

平均出産年齢（母の年齢）

第1子～第3子平均出産年齢の推移（母の年齢）



※日本人のみ

出典：厚生労働省「人口動態統計」

- ✓ 浜松市の25歳～44歳の女性の未婚率は上昇傾向にある。 →P.35
(2020年：28.1%)

【政令市比較】

- ✓ 25歳～44歳の女性の未婚率は、政令市の中で最も低い。 →P.35
- ✓ 2015から2020年の婚姻件数の減少率は、政令市の中で最も高い。 →P.38
(2015年:4,056件 2020年:3,193件)
- ✓ 2020年の1,000人あたりの婚姻件数は、政令市の中で17番目である。 →P.38
(2020年:4.2)
- ✓ 男性の平均初婚年齢は政令市平均と比べやや低い。 →P.39
(2022年:30.8歳)
- ✓ 浜松市の女性の平均初婚年齢は、政令市の中で最も低い。 →P.40
(2022年:29.1歳)



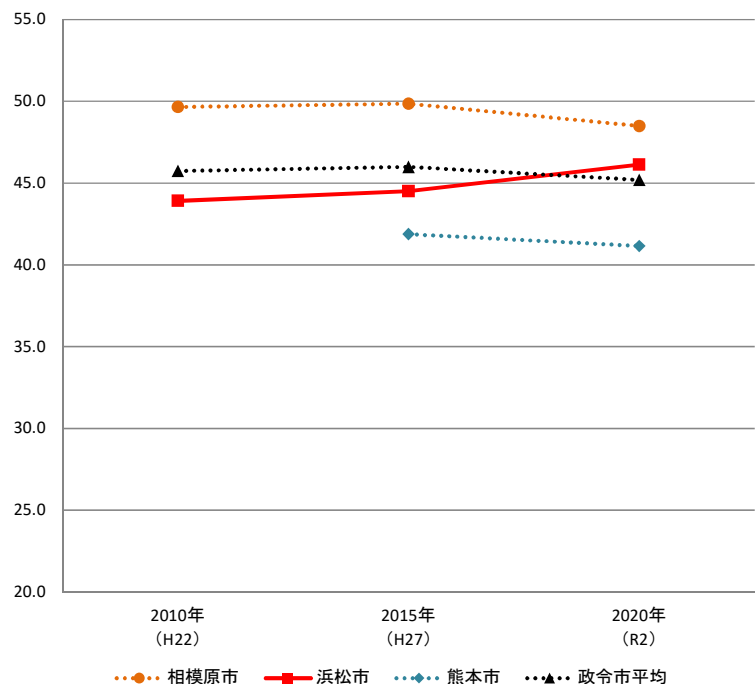
- ・ 未婚率は男女ともに上昇傾向で未婚者の中で男性の占める割合が高い。
- ・ 女性の未婚率が低い。
- ・ 婚姻件数は大きく減少している。
- ・ 平均初婚年齢は男女とも低く、特に女性が低い。
=若い年齢で結婚している。

未婚率

【男性】

25歳～44歳の未婚率

	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2020年 順
札幌市	47.6	47.1	45.1	10
仙台市	42.1	44.7	43.8	14
さいたま市	45.9	46.0	44.7	12
千葉市	45.9	47.5	47.6	3
横浜市	48.3	48.5	47.5	4
川崎市	48.0	48.3	44.9	11
相模原市	49.7	49.9	48.5	2
新潟市	44.6	45.6	46.1	7
静岡市	46.5	46.9	47.4	5
浜松市	43.9	44.5	46.1	6
名古屋市	46.8	47.5	45.8	9
京都市	49.5	49.5	48.6	1
大阪市	48.9	46.2	46.0	8
堺市	43.4	43.1	42.5	17
神戸市	44.6	45.7	44.1	13
岡山市	42.6	42.9	42.3	18
広島市	41.5	42.2	41.6	19
北九州市	43.2	43.4	43.0	15
福岡市	45.9	44.3	42.9	16
熊本市		41.9	41.1	20
政令市平均	45.7	46.0	45.2	



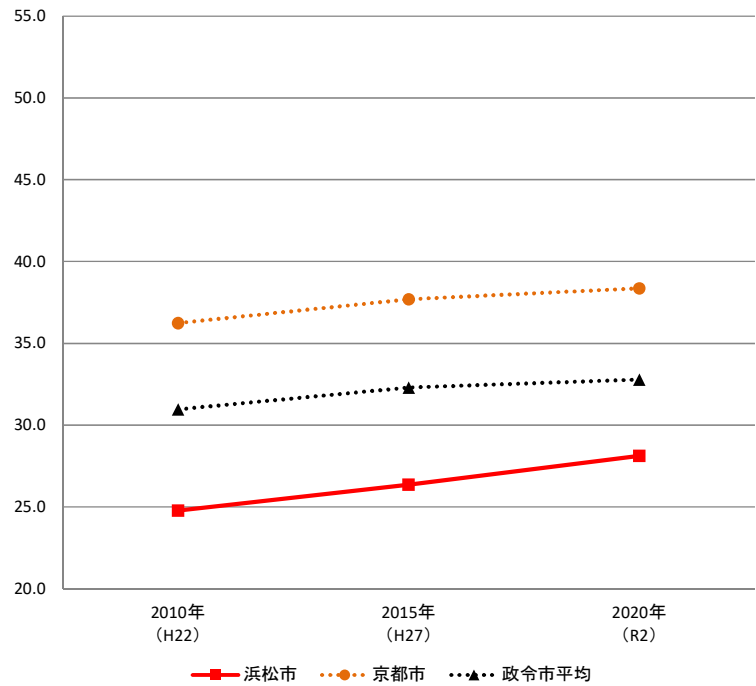
※外国人を含む

出典：総務省「国勢調査」

【女性】

25歳～44歳の未婚率

	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2020年 順
札幌市	35.9	36.3	36.1	4
仙台市	30.7	33.5	33.7	6
さいたま市	28.5	30.1	30.6	18
千葉市	29.4	30.9	32.3	9
横浜市	29.9	31.6	32.7	8
川崎市	30.1	31.8	31.2	16
相模原市	29.7	31.3	32.3	10
新潟市	29.7	31.5	32.8	7
静岡市	29.8	31.0	32.0	11
浜松市	24.8	26.4	28.1	20
名古屋市	30.0	32.2	31.6	14
京都市	36.2	37.7	38.4	1
大阪市	36.7	36.3	37.3	2
堺市	29.5	30.5	31.2	15
神戸市	32.8	34.8	34.3	5
岡山市	28.3	30.3	30.7	17
広島市	28.9	29.9	30.3	19
北九州市	30.5	31.5	31.7	13
福岡市	36.9	36.8	36.6	3
熊本市		31.9	31.9	12
政令市平均	31.0	32.3	32.8	



※外国人を含む

出典：総務省「国勢調査」

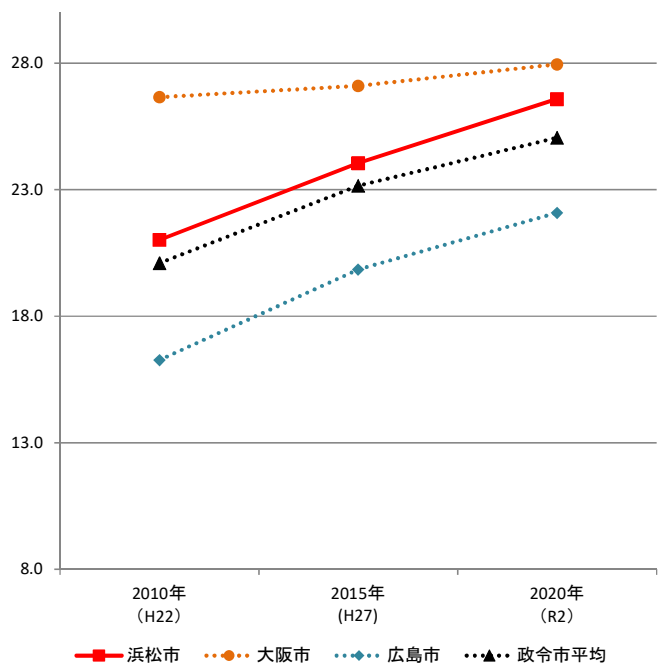
生涯未婚率

【男性】

※生涯未婚率

45-49歳の未婚率と50-54歳未婚率の平均値

	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2020年 順
札幌市	20.5	23.4	24.5	13
仙台市	17.7	21.6	23.7	14
さいたま市	18.6	21.9	24.8	11
千葉市	19.3	23.5	26.4	7
横浜市	21.9	24.2	25.7	9
川崎市	23.4	25.6	24.6	12
相模原市	20.8	26.1	28.8	1
新潟市	19.5	23.8	26.6	5
静岡市	21.0	25.1	27.3	3
浜松市	21.0	24.1	26.6	4
名古屋市	20.5	23.9	26.1	8
京都市	21.1	24.7	26.5	6
大阪市	26.7	27.1	28.0	2
堺市	18.1	21.5	23.7	15
神戸市	18.8	21.8	22.8	17
岡山市	17.4	20.6	22.9	16
広島市	16.3	19.9	22.1	19
北九州市	20.5	23.4	25.4	10
福岡市	18.9	21.5	22.8	18
熊本市		19.9	21.7	20
政令市平均	20.1	23.2	25.1	



※外国人を含む

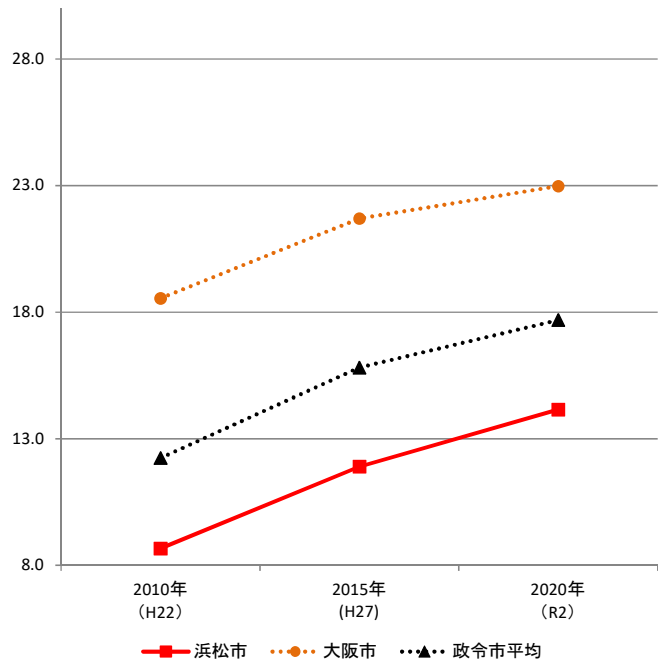
出典：総務省「国勢調査」

【女性】

	2010年 (H22)	2015年 (H27)	2020年 (R2)	2020年 順
札幌市	15.9	17.4	20.8	3
仙台市	11.8	15.7	18.0	8
さいたま市	9.5	12.7	14.9	19
千葉市	10.7	14.0	16.1	15
横浜市	11.1	14.0	15.9	16
川崎市	12.7	15.1	15.6	18
相模原市	9.2	12.8	15.8	17
新潟市	10.6	14.7	17.5	10
静岡市	11.6	15.5	17.7	9
浜松市	8.7	11.9	13.9	20
名古屋市	12.0	19.1	16.9	12
京都市	14.9	19.1	21.6	2
大阪市	18.5	21.7	23.0	1
堺市	11.7	15.3	17.3	11
神戸市	13.1	16.9	18.5	6
岡山市	10.2	14.1	16.2	14
広島市	10.6	14.5	16.5	13
北九州市	13.5	17.0	19.0	5
福岡市	16.1	19.3	20.4	4
熊本市		16.0	18.1	7
政令市平均	12.2	15.8	17.7	

※生涯未婚率

45-49歳の未婚率と50-54歳未婚率の平均値



※外国人を含む

出典：総務省「国勢調査」

婚姻件数

婚姻件数と人口1,000人あたりの婚姻件数

	2010年 (H22)		2015年 (H27)		2020年 (R2)		2020年 順
	婚姻件数	人口1,000人あたり	婚姻件数	人口1,000人あたり	婚姻件数	人口1,000人あたり	
札幌市	11,522	6.0	10,800	5.6	9,131	4.7	7
仙台市	6,323	6.1	6,019	5.6	5,025	4.6	8
さいたま市	7,286	6.0	6,692	5.4	5,999	4.6	9
千葉市	5,459	5.8	4,626	4.8	3,959	4.2	16
横浜市	22,305	6.1	19,634	5.4	16,100	4.4	14
川崎市	10,828	7.7	10,324	7.1	8,761	5.9	2
相模原市	4,129	5.8	3,434	4.8	2,880	4.1	18
新潟市	4,173	5.2	3,670	4.6	3,100	4.0	20
静岡市	3,891	5.5	3,369	4.8	2,735	4.0	19
浜松市	4,532	5.8	4,056	5.2	3,193	4.2	17
名古屋市	14,523	6.6	13,731	6.1	12,431	5.5	3
京都市	8,141	5.7	7,702	5.3	6,270	4.4	11
大阪市	18,762	7.3	17,717	6.8	16,262	6.2	1
堺市	4,784	5.7	4,225	5.1	3,568	4.4	13
神戸市	8,395	5.6	7,542	5.0	6,251	4.2	15
岡山市	4,071	5.8	3,866	5.4	3,413	4.8	5
広島市	6,953	6.0	6,366	5.4	5,581	4.7	6
北九州市	5,429	5.6	4,989	5.2	4,069	4.4	12
福岡市	10,198	7.1	9,903	6.5	8,678	5.5	4
熊本市			3,954	5.4	3,386	4.6	10
政令市平均	8,511	6.1	7,824	5.5	6,706	4.7	

婚姻件数の増減

2010年→2015年		2015年→2020年	
増減数	変化率	増減数	変化率
-722	-6.3%	-1,669	-15.5%
-304	-4.8%	-994	-16.5%
-594	-8.2%	-693	-10.4%
-833	-15.3%	-667	-14.4%
-2,671	-12.0%	-3,534	-18.0%
-504	-4.7%	-1,563	-15.1%
-695	-16.8%	-554	-16.1%
-503	-12.1%	-570	-15.5%
-522	-13.4%	-634	-18.8%
-476	-10.5%	-863	-21.3%
-792	-5.5%	-1,300	-9.5%
-439	-5.4%	-1,432	-18.6%
-1,045	-5.6%	-1,455	-8.2%
-559	-11.7%	-657	-15.6%
-853	-10.2%	-1,291	-17.1%
-205	-5.0%	-453	-11.7%
-587	-8.4%	-785	-12.3%
-440	-8.1%	-920	-18.4%
-295	-2.9%	-1,225	-12.4%
3,954		-568	-14.4%
-686	-8.1%	-1,119	-14.3%

※婚姻件数は、人口動態統計

※人口千対の人口分母は令和2年国勢調査の日本人人口による

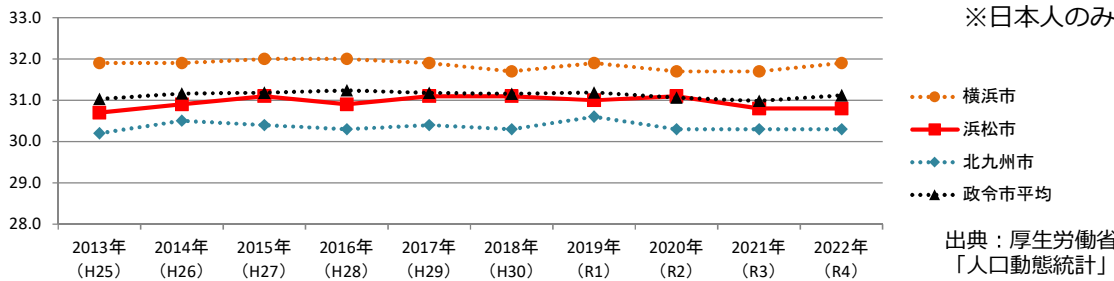
※日本人のみ

出典：厚生労働省「人口動態統計」

平均初婚年齢

【男性】

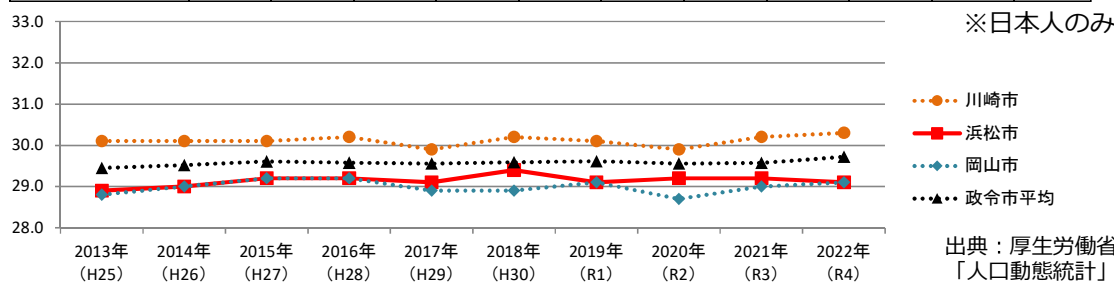
	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2022年 順
札幌市	31.0	31.3	31.2	31.2	31.2	31.4	31.4	31.2	30.9	31.2	10
仙台市	31.0	31.1	31.2	31.4	31.1	31.0	31.1	31.1	31.0	30.9	14
さいたま市	31.6	31.6	31.5	31.8	31.5	31.4	31.7	31.4	31.3	31.3	8
千葉市	31.4	31.5	31.5	31.6	31.5	31.4	31.8	31.6	31.4	31.5	4
横浜市	31.9	31.9	32.0	32.0	31.9	31.7	31.9	31.7	31.7	31.9	1
川崎市	31.6	31.7	31.9	31.9	31.8	31.9	31.8	31.6	31.6	31.6	3
相模原市	31.6	31.7	31.6	31.9	31.7	31.6	31.7	31.4	31.7	31.7	2
新潟市	30.6	30.8	30.9	30.9	31.0	31.2	30.9	31.1	30.8	31.0	13
静岡市	31.1	31.2	31.4	31.6	31.0	31.0	31.3	31.0	31.1	31.2	10
浜松市	30.7	30.9	31.1	30.9	31.1	31.1	31.0	31.1	30.8	30.8	15
名古屋市	31.2	31.2	31.3	31.4	31.3	31.4	31.4	31.3	31.1	31.1	12
京都市	31.5	31.5	31.5	31.6	31.6	31.7	31.4	31.5	31.3	31.4	5
大阪市	31.0	31.2	31.4	31.3	31.3	31.5	31.5	31.2	31.2	31.3	8
堺市	30.5	30.7	30.8	30.7	30.9	30.7	30.5	30.6	30.5	30.8	15
神戸市	31.1	31.2	31.1	31.3	31.3	31.2	31.1	31.2	31.1	31.4	5
岡山市	30.3	30.8	30.6	30.7	30.4	30.3	30.4	30.3	30.3	30.3	19
広島市	30.7	30.7	30.6	30.6	30.7	30.5	30.4	30.5	30.2	30.6	18
北九州市	30.2	30.5	30.4	30.3	30.4	30.3	30.6	30.3	30.3	30.3	19
福岡市	31.1	31.3	31.3	31.3	31.3	31.4	31.4	31.1	31.1	31.4	5
熊本市	30.5	30.5	30.4	30.4	30.6	30.5	30.5	30.1	30.3	30.7	17
政令市平均	31.0	31.2	31.2	31.2	31.2	31.2	31.2	31.1	31.0	31.1	



平均初婚年齢

【女性】

	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)	2022年 順
札幌市	29.6	29.7	29.8	29.9	29.8	30.1	30.0	29.8	29.9	30.1	4
仙台市	29.5	29.5	29.8	29.8	29.8	29.6	29.7	29.9	29.8	29.8	8
さいたま市	29.7	29.7	29.7	29.8	29.7	29.8	29.8	29.8	29.7	29.7	11
千葉市	29.6	29.6	29.8	29.7	29.6	29.5	29.6	29.8	29.7	29.8	8
横浜市	30.0	30.0	30.2	30.1	30.1	30.0	30.2	29.9	30.1	30.2	2
川崎市	30.1	30.1	30.1	30.2	29.9	30.2	30.1	29.9	30.2	30.3	1
相模原市	29.6	29.7	29.6	29.6	29.5	29.6	29.5	29.6	29.8	29.8	8
新潟市	29.2	29.3	29.6	29.5	29.4	29.5	29.4	29.4	29.6	29.7	11
静岡市	29.3	29.5	29.6	29.5	29.3	29.2	29.6	29.4	29.5	29.6	13
浜松市	28.9	29.0	29.2	29.2	29.1	29.4	29.1	29.2	29.2	29.1	19
名古屋市	29.3	29.4	29.5	29.4	29.3	29.3	29.4	29.5	29.4	29.5	14
京都市	29.8	29.9	29.9	29.9	30.1	30.2	29.9	29.9	29.9	30.1	4
大阪市	29.6	29.7	29.9	29.8	29.7	29.9	29.9	29.8	29.8	29.9	7
堺市	29.0	29.3	29.1	29.2	29.3	29.4	29.4	29.2	29.2	29.4	16
神戸市	29.5	29.7	29.6	29.8	29.9	29.8	29.7	29.8	29.8	30.0	6
岡山市	28.8	29.0	29.2	29.2	28.9	28.9	29.1	28.7	29.0	29.1	19
広島市	29.4	29.3	29.1	29.1	29.2	29.2	29.2	29.3	29.0	29.3	17
北九州市	29.0	28.9	29.1	28.9	29.2	29.0	29.3	29.2	28.9	29.3	17
福岡市	29.8	29.9	30.0	29.9	29.9	29.9	30.1	29.9	29.8	30.2	2
熊本市	29.3	29.2	29.4	29.1	29.6	29.2	29.3	29.1	29.2	29.5	14
政令市平均	29.5	29.5	29.6	29.6	29.6	29.6	29.6	29.6	29.6	29.7	



3.社会移動に関するデータ

- ✓ 転出超過数は、男女ともに15歳～19歳が最も多い。 →P.44
- ✓ 20歳～24歳では、男性は転入超過に対し、女性は転出超過。 →P.44
- ✓ 東京圏への転出超過が継続、県内は転入超過が継続している。 →P.45
(2022年：東京圏△979人 県内652人)
- ✓ 東京圏との社会移動においても、転出超過数は男女とも15歳～29歳の若年層が最も多い。 →P.46
(2022年 男性：445人 女性：632人)



※首都圏：東京、神奈川、埼玉、千葉

- ・ 15歳～19歳の若年層が浜松市から出て行ってしまっている。
- ・ 男性は20～24歳で戻る（転入超過）傾向だが、女性は戻らない。
- ・ 県内は転入超過であるが、15歳～29歳の若年層を中心に東京圏への転出超過が多い。

5歳階級別の男女別人口移動の推移

男性

転入超過数

年次	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総数
2010 (H22)	△ 66	△ 35	△ 10	△ 195	125	△ 64	13	△ 39	△ 38	△ 53	△ 35	30	31	△ 2	△ 6	17	△ 14	△ 4	△ 1	△ 346
2011 (H23)	△ 3	△ 45	△ 30	△ 222	49	190	63	△ 19	37	△ 38	15	6	10	15	27	19	7	△ 8	2	75
2012 (H24)	△ 88	△ 33	△ 30	△ 173	138	142	41	△ 2	4	17	△ 12	△ 4	11	5	19	△ 11	10	6	△ 3	97
2013 (H25)	△ 47	1	△ 25	△ 193	21	77	△ 23	10	13	△ 14	△ 52	△ 23	26	0	2	18	3	6	4	196
2014 (H26)	△ 24	△ 17	△ 18	△ 164	210	108	23	△ 76	△ 81	△ 102	△ 8	1	△ 1	33	8	5	3	15	△ 1	△ 86
2015 (H27)	△ 27	△ 68	15	△ 216	110	76	△ 39	13	12	0	33	△ 9	7	22	8	2	13	4	1	△ 43
2016 (H28)	△ 5	10	1	△ 203	5	△ 20	△ 50	△ 23	△ 41	25	7	22	34	22	12	7	△ 1	15	6	△ 177
2017 (H29)	14	15	38	△ 195	64	54	△ 52	15	33	△ 41	△ 33	1	1	17	0	7	△ 5	0	6	△ 61
2018 (H30)	△ 183	△ 22	△ 15	△ 292	20	50	△ 16	△ 61	△ 60	△ 44	△ 13	26	△ 4	18	1	0	2	4	0	△ 589
2019 (R01)	△ 8	△ 46	9	△ 229	20	△ 86	△ 38	△ 39	△ 6	△ 21	2	17	27	△ 5	△ 6	6	13	8	6	△ 376
2020 (R02)	△ 23	△ 29	△ 26	△ 216	110	67	49	20	△ 11	10	40	△ 60	37	6	25	13	18	△ 1	3	32
2021 (R03)	△ 35	30	4	△ 358	118	△ 14	7	50	△ 32	△ 6	△ 7	7	39	38	10	20	12	13	5	△ 99
2022 (R04)	△ 15	△ 50	△ 7	△ 248	199	△ 1	7	△ 4	△ 47	29	35	5	8	18	41	20	18	16	4	28

女性

年次	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	総数
2010 (H22)	△ 34	△ 55	△ 12	△ 214	△ 42	42	21	△ 58	△ 26	△ 9	△ 1	14	9	15	11	14	6	△ 2	△ 4	△ 325
2011 (H23)	11	△ 23	△ 31	△ 154	△ 55	107	21	30	1	△ 15	△ 15	6	37	28	30	6	34	△ 6	△ 4	8
2012 (H24)	△ 75	△ 4	△ 8	△ 113	△ 70	21	21	△ 11	△ 5	△ 16	△ 9	6	38	16	△ 8	8	25	15	11	△ 159
2013 (H25)	△ 5	△ 82	△ 13	△ 139	△ 97	193	△ 19	△ 28	△ 15	△ 21	3	16	△ 8	3	△ 1	14	△ 18	△ 4	6	△ 215
2014 (H26)	△ 75	△ 58	4	△ 131	△ 73	△ 57	46	△ 38	△ 10	△ 24	△ 26	5	8	21	16	11	35	25	17	△ 304
2015 (H27)	△ 94	△ 40	△ 10	△ 131	△ 89	△ 21	62	△ 36	18	△ 59	13	34	32	△ 4	7	3	45	3	6	△ 261
2016 (H28)	△ 81	△ 33	19	△ 124	△ 280	△ 103	28	13	16	△ 11	△ 2	△ 3	32	35	20	7	6	23	9	△ 429
2017 (H29)	△ 42	△ 25	△ 3	△ 178	△ 205	69	△ 17	56	9	22	17	1	11	△ 11	20	△ 3	16	16	3	△ 244
2018 (H30)	△ 42	△ 61	△ 5	△ 205	△ 242	△ 70	△ 40	△ 39	△ 28	△ 63	0	11	19	13	5	4	21	19	1	△ 702
2019 (R01)	△ 16	△ 18	△ 19	△ 233	△ 166	△ 48	△ 12	△ 5	△ 24	△ 13	2	△ 8	17	1	19	15	△ 2	31	1	△ 478
2020 (R02)	△ 25	34	△ 9	△ 184	△ 269	△ 104	41	73	6	21	10	20	2	31	8	31	21	16	12	△ 265
2021 (R03)	△ 18	19	13	△ 206	△ 153	81	△ 58	16	11	1	14	14	31	31	31	7	33	9	31	△ 93
2022 (R04)	△ 20	△ 19	△ 13	△ 265	△ 193	△ 17	73	36	31	11	△ 13	2	14	30	△ 4	6	20	△ 8	2	△ 327

※日本人のみ

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

地域別の転入超過数

年次	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)
総数	△ 671	83	△ 62	△ 411	△ 390	△ 304	△ 606	△ 305	△ 1,291	△ 854	△ 233	△ 192	△ 299
北海道	29	△ 14	△ 17	△ 73	△ 14	△ 12	△ 8	△ 5	15	12	△ 33	△ 51	△ 30
東北	△ 44	131	△ 185	△ 25	△ 7	18	△ 55	38	△ 37	△ 34	20	△ 15	△ 16
北関東	△ 138	1	1	97	△ 67	51	△ 46	21	△ 52	46	△ 1	△ 9	57
東京圏	△ 776	△ 545	△ 391	△ 817	△ 950	△ 1,063	△ 1,114	△ 1,226	△ 1,282	△ 1,444	△ 934	△ 885	△ 979
中部	152	576	471	238	483	605	472	615	331	537	818	458	623
関西	△ 62	△ 165	△ 28	48	△ 77	△ 20	△ 121	3	△ 250	△ 43	△ 222	△ 56	△ 171
中国	248	182	188	281	203	197	194	211	116	191	217	350	206
四国	38	57	△ 40	29	29	13	56	14	12	17	0	33	13
九州・沖縄	△ 118	△ 140	△ 61	△ 189	10	△ 93	16	24	△ 144	△ 136	△ 98	△ 17	△ 2

近隣県における転入超過数

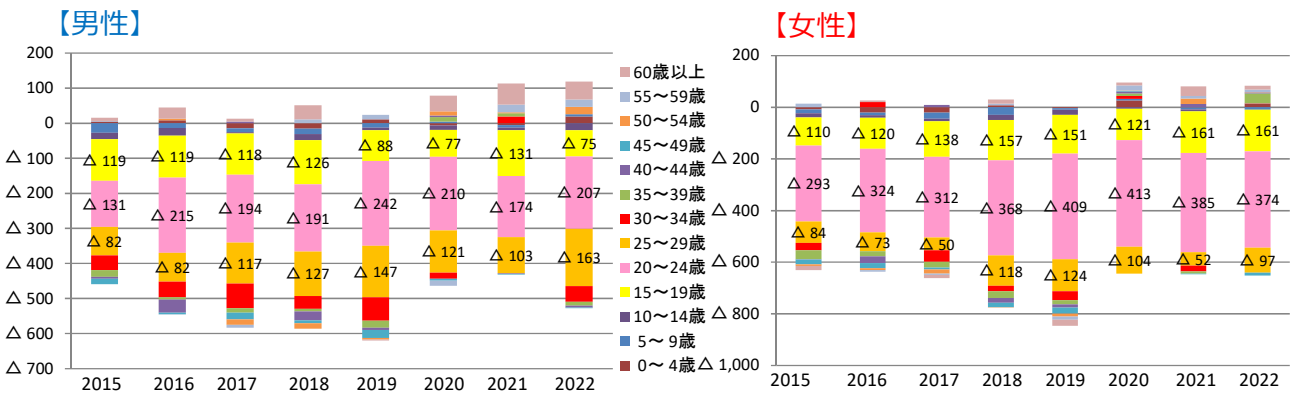
区分	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)	2020 (R02)	2021 (R03)	2022 (R04)
総数	33	512	413	153	431	589	400	562	325	540	808	499	687
岐阜県	△ 5	12	△ 6	18	38	△ 41	26	18	39	16	△ 6	47	114
静岡県	305	562	662	588	703	724	735	748	640	668	950	477	652
愛知県	△ 180	△ 75	△ 232	△ 433	△ 319	△ 191	△ 374	△ 247	△ 379	△ 192	△ 141	△ 63	△ 101
三重県	△ 87	13	△ 11	△ 20	9	97	13	43	25	48	5	38	22

※日本人のみ

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

東京圏との5歳階級別人口移動の状況

東京圏への転入超過数



男性	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
総数	△ 445	△ 502	△ 572	△ 535	△ 597	△ 386	△ 319	△ 409
0~4歳	5	8	△ 15	△ 16	11	△ 7	△ 6	19
5~9歳	△ 28	△ 14	△ 11	△ 15	△ 13	4	△ 7	6
10~14歳	△ 18	△ 22	△ 3	△ 18	△ 7	△ 12	△ 7	△ 20
15~19歳	△ 119	△ 119	△ 118	△ 126	△ 88	△ 77	△ 131	△ 75
20~24歳	△ 131	△ 215	△ 194	△ 191	△ 242	△ 210	△ 174	△ 207
25~29歳	△ 82	△ 82	△ 117	△ 127	△ 147	△ 121	△ 103	△ 163
30~34歳	△ 41	△ 45	△ 70	△ 37	△ 67	△ 17	19	△ 45
35~39歳	△ 19	△ 6	△ 13	△ 7	△ 20	13	9	△ 10
40~44歳	△ 6	△ 38	4	△ 26	△ 6	5	△ 2	△ 6
45~49歳	△ 16	△ 4	△ 19	△ 8	△ 23	△ 5	△ 2	△ 2
50~54歳	0	4	△ 15	△ 15	△ 4	11	3	22
55~59歳	1	△ 1	△ 9	11	12	△ 15	21	20
60歳以上	9	32	8	40	△ 3	45	61	52

女性	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
総数	△ 618	△ 612	△ 654	△ 747	△ 847	△ 548	△ 566	△ 570
0~4歳	△ 8	△ 21	△ 21	8	△ 3	26	△ 1	13
5~9歳	△ 15	△ 10	△ 23	△ 30	△ 7	6	△ 8	△ 10
10~14歳	△ 16	△ 10	△ 10	△ 19	△ 19	△ 6	△ 7	1
15~19歳	△ 110	△ 120	△ 138	△ 157	△ 151	△ 121	△ 161	△ 161
20~24歳	△ 293	△ 324	△ 312	△ 368	△ 409	△ 413	△ 385	△ 374
25~29歳	△ 84	△ 73	△ 50	△ 118	△ 124	△ 104	△ 52	△ 97
30~34歳	△ 29	20	△ 45	△ 21	△ 35	11	△ 23	1
35~39歳	△ 34	△ 20	△ 22	△ 26	△ 16	10	△ 8	38
40~44歳	△ 1	△ 26	9	△ 19	△ 12	8	12	4
45~49歳	△ 19	△ 20	△ 8	△ 17	△ 24	3	△ 2	△ 11
50~54歳	△ 6	△ 7	△ 16	△ 2	△ 11	1	22	2
55~59歳	14	△ 7	△ 4	6	△ 13	20	10	10
60歳以上	△ 17	6	△ 14	16	△ 23	11	37	14

※日本人のみ

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

※若年層…15歳～29歳

- ✓ 三大都市圏の転出超過数は、名古屋圏、大阪圏は15～19歳が多いが、東京圏は、20-24歳が多い。→P.48
- ✓ 転入出先は、静岡県内、愛知県、東京圏が主である。→P.49,50
- ✓ 東京都（23区）へは5歳階級のいずれの性別・年齢でも転出超過であり、特に20-24歳が多い。→P.48
- ✓ 愛知県や名古屋圏へは、転出数も多いが、転入数も多い。25歳～29歳では、男性は転入超過であり、女性が転出超過である。→P.48



・20-24歳の女性が、特に東京都へ多く転出し、浜松市へ戻ってきていない。

若年層の転入転出状況

転入超過数（2022年・三大都市圏）

	15～19歳		20～24歳		25～29歳	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
静岡県内	-4	42	75	133	165	70
東京圏	-75	-161	-207	-374	-163	-97
東京都	-76	-84	-193	-240	-111	-42
神奈川県	-45	-46	-42	-90	-32	-25
埼玉県	54	-12	52	-13	-11	-18
千葉県	-8	-19	-24	-31	-9	-12
名古屋圏	-48	-79	5	-51	2	-6
愛知県	-54	-80	2	-63	-15	-5
岐阜県	8	0	-7	-2	13	0
三重県	-2	1	10	14	4	-1
大阪圏	-38	-57	51	-36	-20	7
大阪府	-18	-18	14	-27	-27	4
京都府	-18	-24	-5	-16	-5	1
兵庫県	-1	-11	28	7	6	0
奈良県	-1	-4	14	0	6	2

東京圏 …東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県
 名古屋圏…愛知県、岐阜県、三重県
 大阪圏 …大阪府、京都府、兵庫県、奈良県

※静岡県の数値は浜松市内移動を除く

※日本人のみ

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

若年層の転入転出状況（2022年・男性）

○転入者数・転出者数（男性）

順位	15歳～19歳			
	転入者数		転出者数	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	埼玉県熊谷市	79	愛知県名古屋市	38
2	山口県防府市	36	静岡県静岡市	27
3	静岡県静岡市	18	神奈川県横浜市	22
4	静岡県磐田市	15	静岡県藤枝市	22
5	愛知県豊橋市	15	静岡県磐田市	17
6	静岡県藤枝市	14	静岡県御殿場市	16
7	静岡県湖西市	12	東京都世田谷区	14
8	静岡県沼津市	11	京都府京都市	14
9	静岡県袋井市	8	静岡県湖西市	13
10	愛知県名古屋市	7	愛知県豊田市	12
参考	東京都23区合計	15	東京都23区合計	62

順位	20歳～24歳			
	転入者数		転出者数	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	静岡県静岡市	116	愛知県名古屋市	150
2	愛知県名古屋市	101	静岡県湖西市	104
3	静岡県磐田市	84	静岡県静岡市	81
4	静岡県湖西市	80	静岡県磐田市	78
5	静岡県牧之原市	72	静岡県牧之原市	73
6	埼玉県熊谷市	62	神奈川県横浜市	71
7	福岡県芦屋町	57	神奈川県川崎市	56
8	愛知県豊橋市	52	愛知県豊橋市	38
9	神奈川県横浜市	48	大阪府大阪市	37
10	静岡県藤枝市	45	東京都大田区	36
参考	東京都23区合計	97	東京都23区合計	276

順位	25歳～29歳			
	転入者数		転出者数	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	静岡県磐田市	151	静岡県磐田市	113
2	静岡県静岡市	113	静岡県静岡市	110
3	愛知県名古屋市	97	愛知県名古屋市	107
4	静岡県湖西市	86	神奈川県横浜市	75
5	静岡県袋井市	77	静岡県湖西市	52
6	静岡県牧之原市	57	静岡県袋井市	41
7	神奈川県横浜市	52	静岡県牧之原市	39
8	愛知県豊橋市	42	愛知県豊橋市	36
9	静岡県掛川市	36	神奈川県川崎市	35
10	神奈川県川崎市	28	大阪府大阪市	35
参考	東京都23区合計	114	東京都23区合計	214

○転入超過者数・転出超過者数（男性）

順位	15歳～19歳			
	転入超過数		転出超過数	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	埼玉県熊谷市	69	愛知県名古屋市	-31
2	山口県防府市	31	神奈川県横浜市	-18
3	愛知県豊橋市	8	東京都世田谷区	-12
4	静岡県沼津市	7	静岡県御殿場市	-12
5	岐阜県各務原市	4	北海道千歳市	-11
6	静岡県島田市	4	石川県小松市	-11
7	静岡県富士市	4	愛知県刈谷市	-11
8	静岡県牧之原市	4	京都府京都市	-11
9	東京都江東区	3	沖縄県那覇市	-11
10	岐阜県可児市	3	児湯郡新富町	-10

順位	20歳～24歳			
	転入超過数		転出超過数	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	埼玉県熊谷市	59	愛知県名古屋市	-49
2	福岡県遠賀郡	56	神奈川県川崎市	-34
3	福岡県芦屋町	56	東京都大田区	-32
4	静岡県静岡市	35	静岡県湖西市	-24
5	山口県防府市	32	神奈川県横浜市	-23
6	静岡県藤枝市	26	東京都中野区	-17
7	静岡県袋井市	15	大阪府大阪市	-17
8	愛知県豊橋市	14	宮城県児湯郡	-14
9	愛知県豊川市	13	千葉県市川市	-13
10	石川県金沢市	11	東京都杉並区	-13

順位	25歳～29歳			
	転入超過数		転出超過数	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	静岡県磐田市	38	神奈川県横浜市	-23
2	静岡県袋井市	36	愛知県小牧市	-20
3	静岡県湖西市	34	大阪府大阪市	-20
4	静岡県牧之原市	18	宮城県児湯郡	-18
5	福岡県遠賀郡	17	児湯郡新富町	-18
6	福岡県芦屋町	16	東京都世田谷区	-12
7	静岡県焼津市	14	東京都品川区	-11
8	静岡県富士市	12	宮城県東松島市	-10
9	岐阜県岐阜市	10	愛知県名古屋市	-10
10	静岡県掛川市	7	東京都中野区	-9

※埼玉県熊谷市、山口県防府市、福岡県芦屋町は自衛隊職員の異動によるものと推察される。

※日本人のみ

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

若年層の転入転出状況（2022年・女性）

○転入者数・転出者数（女性）

順位	15歳～19歳			
	転入者数		転出者数	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	山口県防府市	43	愛知県名古屋市	77
2	静岡県磐田市	22	神奈川県横浜市	24
3	静岡県静岡市	17	静岡県静岡市	21
4	静岡県湖西市	14	京都府京都市	21
5	愛知県豊橋市	12	静岡県磐田市	14
6	愛知県名古屋市	10	東京都八王子市	11
7	静岡県掛川市	7	神奈川県川崎市	10
8	静岡県島田市	6	千葉県千葉市	8
9	静岡県藤枝市	6	大阪府枚方市	7
10	神奈川県横浜市	5	東京都世田谷区	6
参考	東京都23区合計	4	東京都23区合計	52

順位	20歳～24歳			
	転入者数		転出者数	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	静岡県静岡市	117	愛知県名古屋市	168
2	静岡県磐田市	112	静岡県静岡市	112
3	愛知県名古屋市	92	静岡県磐田市	95
4	静岡県湖西市	49	神奈川県横浜市	74
5	山口県防府市	47	神奈川県川崎市	49
6	静岡県掛川市	46	大阪府大阪市	39
7	静岡県袋井市	44	東京都世田谷区	37
8	愛知県豊橋市	38	愛知県豊橋市	36
9	神奈川県横浜市	35	東京都大田区	28
10	静岡県焼津市	23	東京都杉並区	26
参考	東京都23区合計	87	東京都23区合計	315

順位	25歳～29歳			
	転入者数		転出者数	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	静岡県磐田市	130	静岡県静岡市	122
2	静岡県静岡市	116	静岡県磐田市	116
3	愛知県名古屋市	92	愛知県名古屋市	104
4	愛知県豊橋市	55	神奈川県横浜市	53
5	静岡県袋井市	52	静岡県掛川市	47
6	静岡県湖西市	50	愛知県豊橋市	39
7	神奈川県横浜市	44	静岡県掛川市	33
8	静岡県掛川市	40	静岡県湖西市	32
9	神奈川県川崎市	21	神奈川県川崎市	26
10	静岡県焼津市	19	静岡県藤枝市	21
参考	東京都23区合計	127	東京都23区合計	167

○転入超過者数・転出超過者数（女性）

順位	15歳～19歳			
	転入超過数		転出超過数	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	山口県防府市	38	愛知県名古屋市	-67
2	静岡県湖西市	10	京都府京都市	-20
3	静岡県磐田市	8	神奈川県横浜市	-19
4	愛知県豊橋市	7	東京都八王子市	-10
5	静岡県掛川市	6	神奈川県川崎市	-8
6	静岡県御殿場市	4	千葉県千葉市	-7
7	栃木県宇都宮市	3	大阪府枚方市	-7
8	岐阜県高山市	3	東京都中野区	-6
9	静岡県牧之原市	3	東京都豊島区	-6
10	三重県四日市市	3	青森県三沢市	-5

順位	20歳～24歳			
	転入超過数		転出超過数	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	山口県防府市	44	愛知県名古屋市	-76
2	静岡県掛川市	24	神奈川県横浜市	-39
3	静岡県湖西市	24	東京都世田谷区	-28
4	静岡県袋井市	20	神奈川県川崎市	-28
5	静岡県磐田市	17	大阪府大阪市	-27
6	静岡県焼津市	12	東京都杉並区	-20
7	静岡県藤枝市	10	東京都大田区	-17
8	静岡県富士市	8	東京都豊島区	-16
9	福岡県遠賀郡	8	東京都練馬区	-16
10	福岡県芦屋町	8	東京都新宿区	-15

順位	25歳～29歳			
	転入超過数		転出超過数	
	都道府県	人数	都道府県	人数
1	静岡県湖西市	18	愛知県名古屋市	-12
2	愛知県豊橋市	16	東京都大田区	-10
3	静岡県磐田市	14	東京都品川区	-9
4	東京都練馬区	10	神奈川県横浜市	-9
5	静岡県掛川市	8	千葉県市川市	-8
6	静岡県掛川市	7	埼玉県所沢市	-7
7	山口県防府市	7	東京都港区	-7
8	千葉県松戸市	6	東京都渋谷区	-7
9	静岡県御殿場市	6	愛知県春日井市	-7
10	静岡県牧之原市	6	東京都中野区	-6

※埼玉県熊谷市、山口県防府市、福岡県芦屋町は自衛隊職員の異動によるものと推察される。

※日本人のみ

出典：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

- ✓ 2021年度に浜松市内の高校から大学へ進学した学生のうち、約4分の3が静岡県外の大学に進学した。そのうち約33%は首都圏、約35%は中京圏に進学している。→P.52

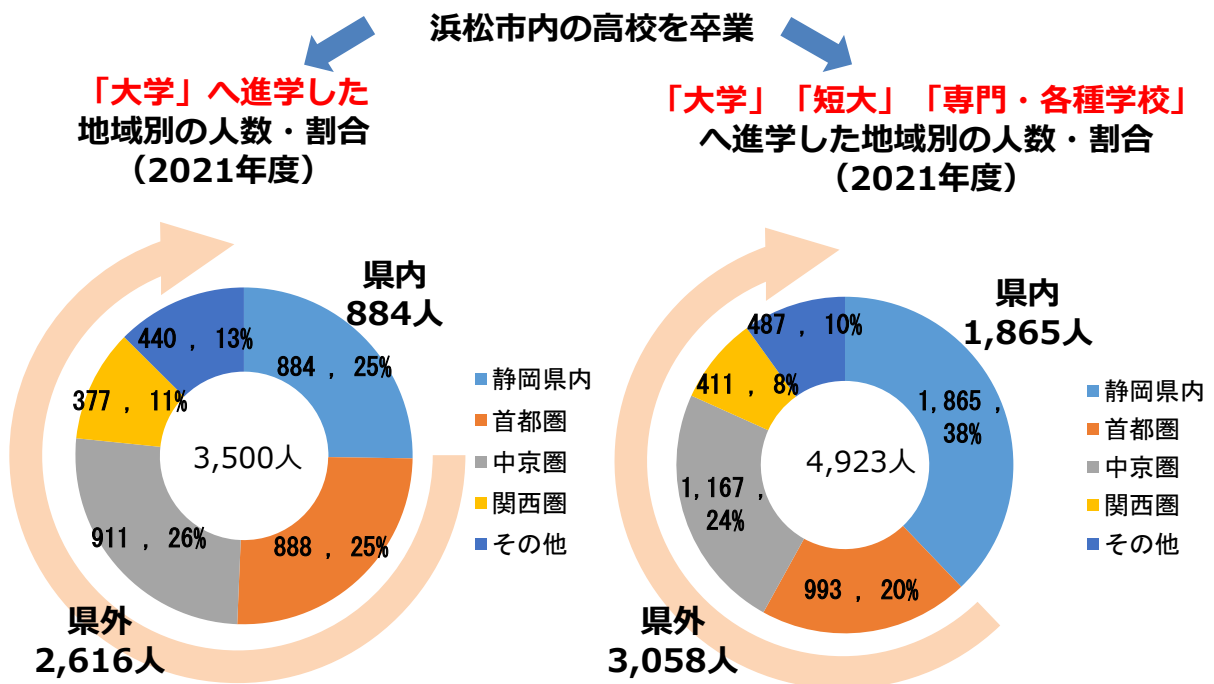
【政令市比較】

- ✓ 浜松市は政令市の中で、高校卒業後の大学進学率が最も低く、就職率が最も高い。(大学進学率:54.6% 就職率:19.6%) →P.53,54
- ✓ 浜松市内の大学生数は、政令市で最も少ない。また、人口1万人あたりの大学生数は、政令市で3番目に少ない。→P.55
(大学生数:10,884人 人口1万人あたり:137.3人)



- ・ 市内高校卒業者で、大学進学者のうち、約4分の3が県外に進学し、首都圏と中京圏が多い。
- ・ 大学進学率が低く、高校卒業時に働く人が多い。
- ・ 大学生の数が少ない。

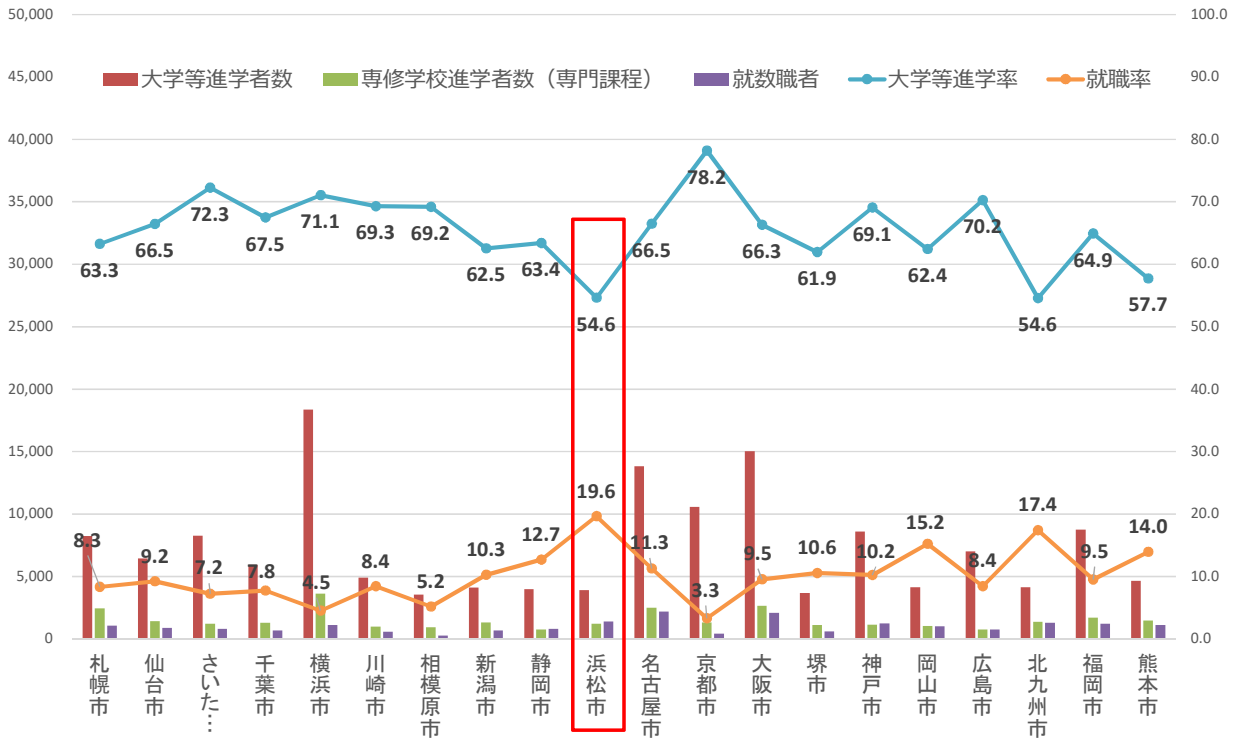
高校や大学について (浜松市内高校卒業生の進学場所)



出典：浜松市「令和4年度「UI」ターン就職促進に係る企業、高校、大学等実態調査業務」業務報告書

高校や大学について（高校卒業後の進路）

高校卒業後の進路

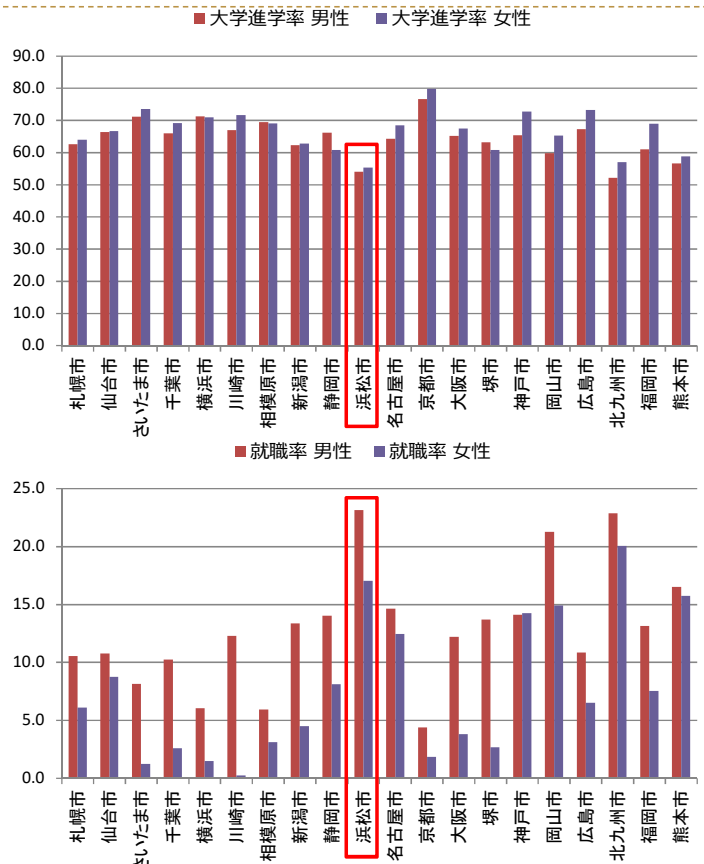


出典：文部科学省「学校基本調査」

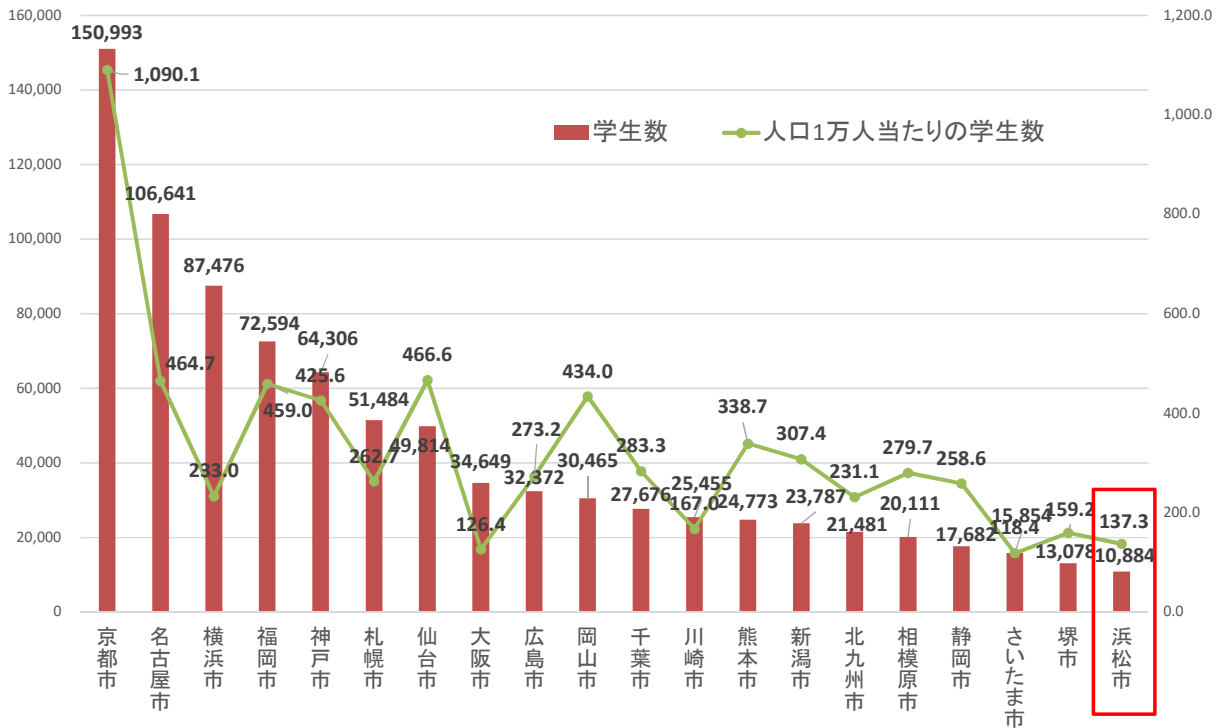
高校や大学について（男女別大学等進学率と就職率）

	大学進学率				就職率			
	男性	順	女性	順	男性	順	女性	順
札幌市	62.6	14	63.9	14	10.6	15	6.1	11
仙台市	66.3	7	66.6	12	10.8	14	8.8	7
さいたま市	71.1	3	73.5	2	8.1	17	1.2	19
千葉市	65.9	9	69.2	7	10.2	16	2.6	16
横浜市	71.2	2	70.9	6	6.1	18	1.5	18
川崎市	66.9	6	71.6	5	12.3	11	0.3	20
相模原市	69.4	4	69.0	8	5.9	19	3.1	14
新潟市	62.3	15	62.8	15	13.4	9	4.5	12
静岡市	66.1	8	60.8	17	14.0	7	8.1	8
浜松市	54.0	19	55.3	20	23.1	1	17.0	2
名古屋市	64.3	12	68.4	10	14.6	5	12.5	6
京都市	76.6	1	79.7	1	4.4	20	1.9	17
大阪市	65.2	11	67.4	11	12.2	12	3.8	13
堺市	63.2	13	60.8	16	13.7	8	2.7	15
神戸市	65.3	10	72.7	4	14.1	6	14.2	5
岡山市	59.8	17	65.3	13	21.3	3	14.9	4
広島市	67.3	5	73.3	3	10.8	13	6.5	10
北九州市	52.2	20	57.0	19	22.9	2	20.0	1
福岡市	60.9	16	68.9	9	13.2	10	7.6	9
熊本市	56.6	18	58.8	18	16.5	4	15.7	3
政令市平均	64.4		66.8		12.9		7.7	

出典：文部科学省「学校基本調査」



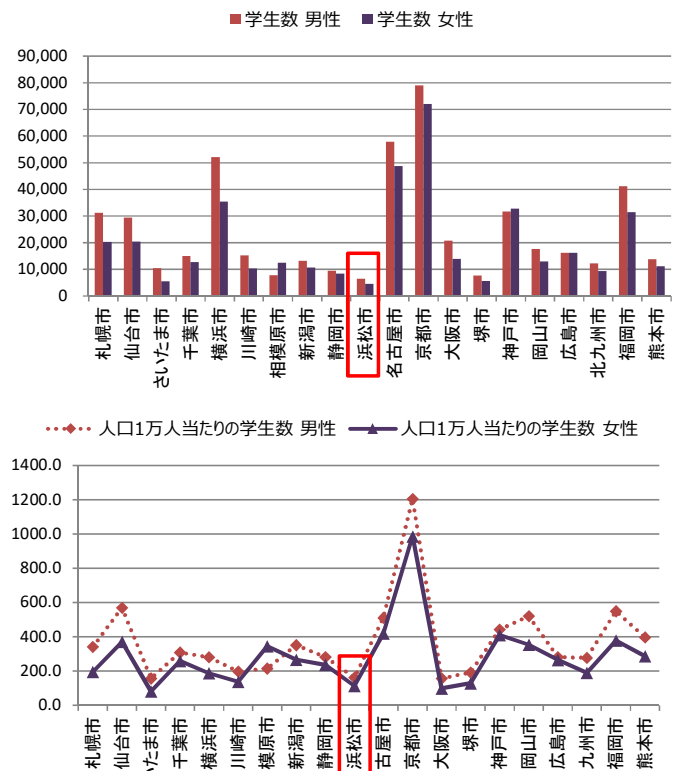
大学生数及び人口1万人あたりの大学生数



出典：文部科学省「令和5年度学校基本調査」総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

高校や大学について（男女別大学生数）

	学生数				人口1万人あたりの学生数			
	男性	順	女性	順	男性	順	女性	順
札幌市	31,207	6	20,277	7	340.7	9	194.3	13
仙台市	29,438	7	20,376	6	570.1	2	369.7	5
さいたま市	10,414	16	5,440	19	156.8	19	80.6	20
千葉市	14,964	12	12,712	11	308.2	10	258.6	11
横浜市	52,095	3	35,381	3	280.2	13	186.8	15
川崎市	15,197	11	10,258	15	197.3	16	136.1	16
相模原市	7,751	18	12,360	12	215.1	15	344.5	7
新潟市	13,092	14	10,695	14	351.4	8	266.5	9
静岡市	9,372	17	8,310	17	281.4	12	236.9	12
浜松市	6,380	20	4,504	20	161.5	18	113.3	18
名古屋市	57,864	2	48,777	2	510.8	5	419.7	2
京都市	79,003	1	71,990	1	1205.2	1	986.6	1
大阪市	20,731	8	13,918	9	156.2	20	98.4	19
堺市	7,545	19	5,533	18	191.8	17	129.3	17
神戸市	31,661	5	32,645	4	442.6	6	410.3	3
岡山市	17,580	9	12,885	10	520.2	4	353.9	6
広島市	16,180	10	16,192	8	282.2	11	264.8	10
北九州市	12,197	15	9,284	16	276.7	14	190.0	14
福岡市	41,137	4	31,457	5	549.2	3	377.9	4
熊本市	13,727	13	11,046	13	397.0	7	286.4	8
政令市平均	24,773		11,046		369.7		285.2	



出典：文部科学省「令和5年度学校基本調査」総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」

4.働く場に関するデータ

- ✓ 浜松市の製造業に従事する人が最も多い。女性はすべての産業で正規職員・従業員の割合が低い。→P.60,61
- ✓ 浜松市内の有効求人倍率は、2014年度以降、2020年度を除き1を超えている。→P.62
- ✓ 浜松市内企業が新卒者採用で最も補充したい職種は「技能（建築・土木）」次いで「技能工・製造工・運輸・設備関連」だが、学生の希望する職種は、「事務・企画」「総合職」が上位で学生の希望とは一致していない。→P.63

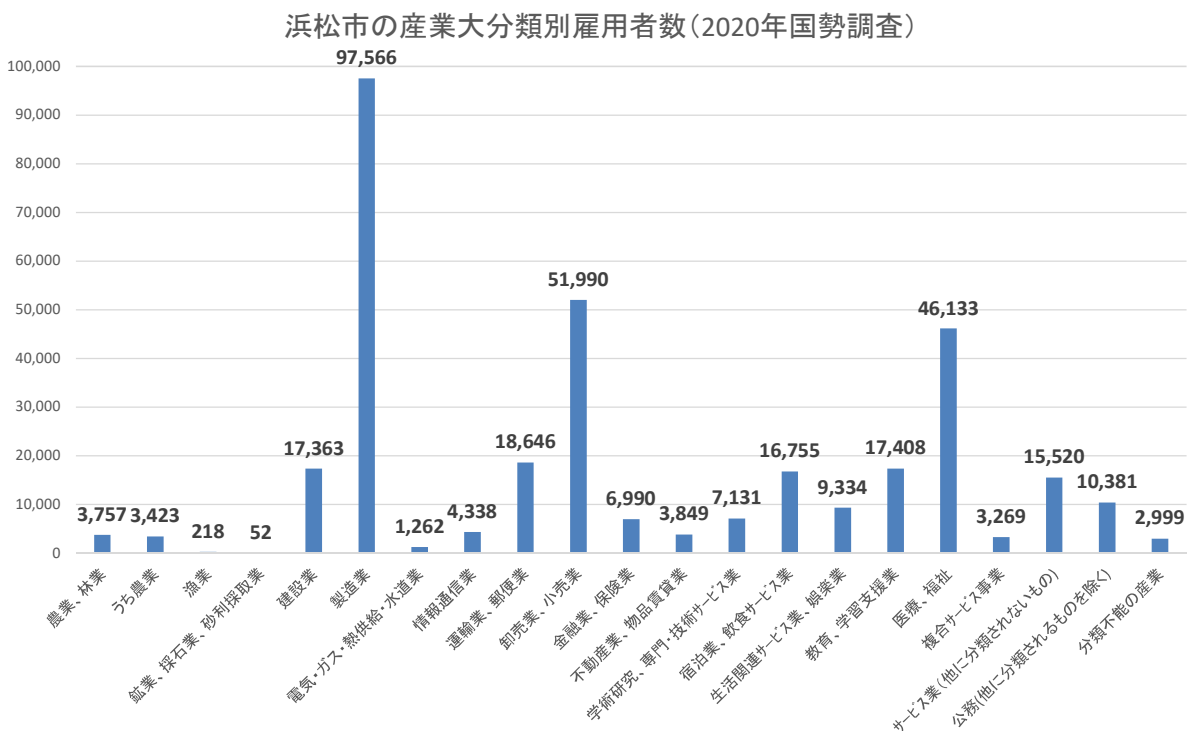
【政令市比較】

- ✓ 雇用者に占める正規の職員・従業員の割合は、男性は政令市で8番目だが、女性は14番目と低い。→P.64
- ✓ 女性の就業率は、政令市の中で最も高い。（2020年:69.8%）→P.65



- ・ 製造業を中心に、働く場所はある。
- ・ 新卒者に対して企業と学生の希望職種にずれがある。
- ・ 女性の正規の職員・従業員の割合は低いが、女性の就業率は高い。

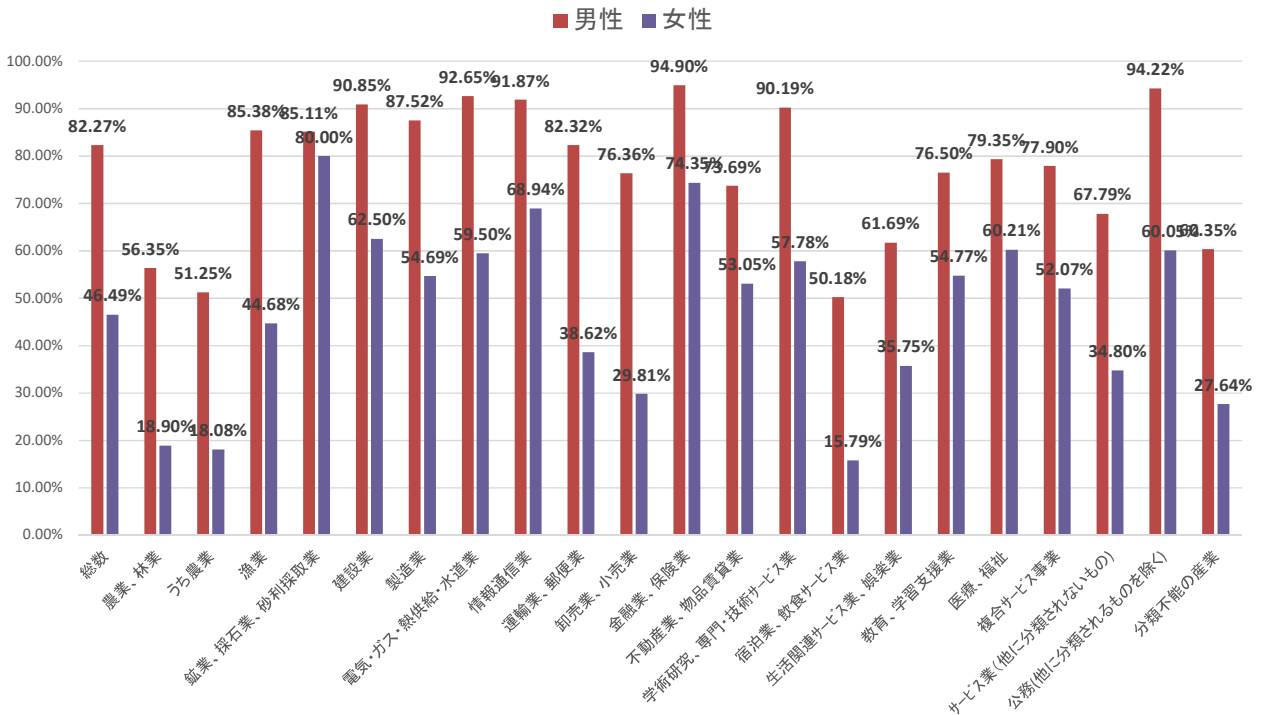
浜松市の産業（大分類）別就業者数（2020年）



※外国人を含む

出典:総務省「国勢調査」

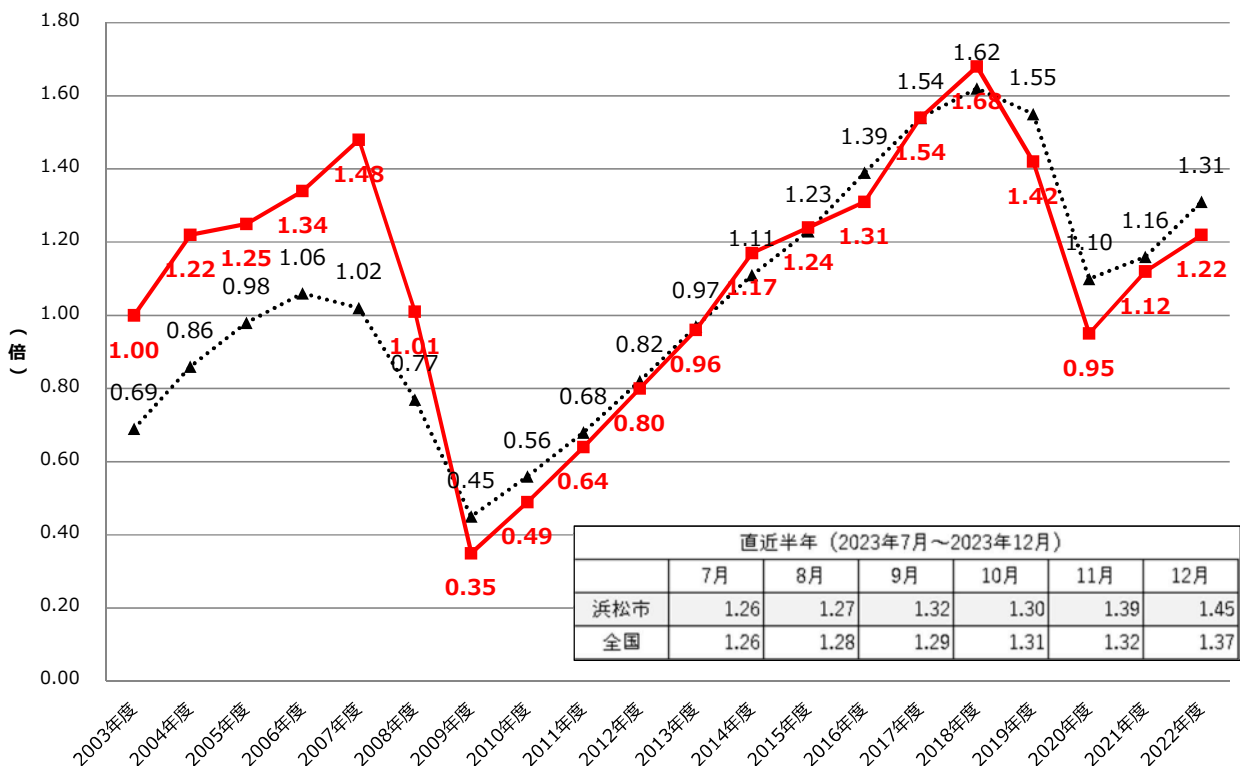
性別ごとに比較した雇用者に占める正規職員・従業員の割合



※外国人を含む

出典：総務省「国勢調査」

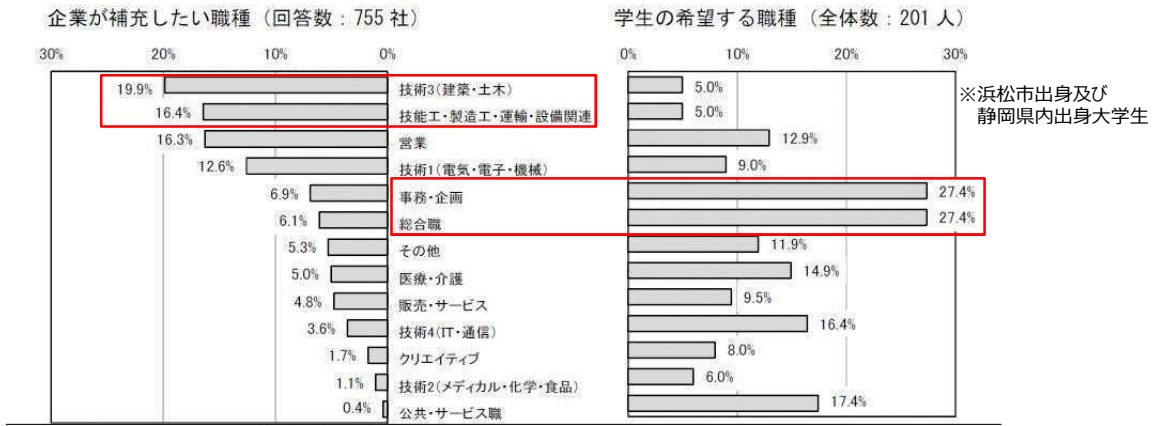
有効求人倍率（全国と浜松市）



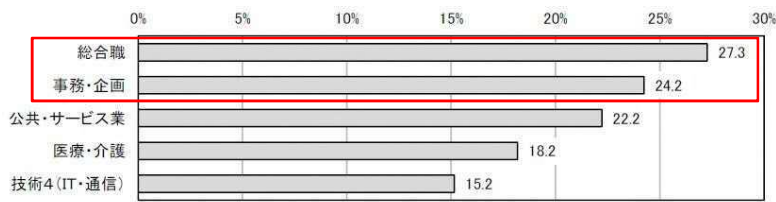
※数値は、実数値。パートタイム労働者を含み、新規学卒者を除く。

出典：厚生労働省「一般職業紹介状況（職業安定業務統計）」
ハローワーク浜松「業務概要はままつ」

図表 9-2 浜松市内企業が新卒採用で補充したい職種と学生の希望する職種の対比



図表 4-4 浜松市出身者の希望職種 (上位 5 職種)

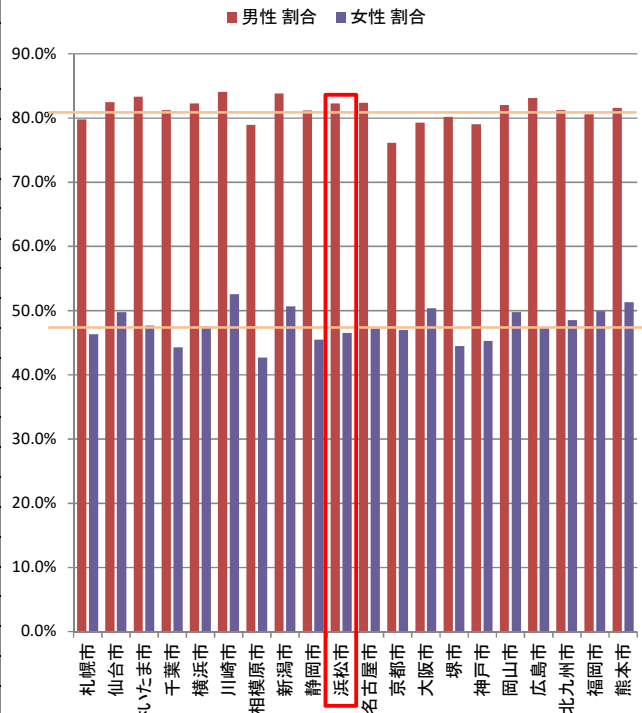


(浜松市 99 人)

出典: 浜松市「令和4年度「UJ」ターン就職促進に係る企業、高校、大学等実態調査業務」業務報告書

雇用者に占める正規の職員・従業員の割合 (男女別・2020年)

	男性				女性			
	正規の職員・従業員	雇用者数	割合	割合順	正規の職員・従業員	雇用者数	割合	割合順
札幌市	286,059	358,541	79.8%	16	165,177	356,540	46.3%	15
仙台市	185,129	224,553	82.4%	5	101,058	203,132	49.7%	7
さいたま市	227,356	272,918	83.3%	3	111,261	233,472	47.7%	9
千葉市	158,484	195,172	81.2%	12	75,313	170,036	44.3%	19
横浜市	636,173	773,177	82.3%	7	316,241	665,708	47.5%	10
川崎市	278,385	331,226	84.0%	1	148,589	282,917	52.5%	1
相模原市	116,321	147,336	78.9%	19	54,093	126,727	42.7%	20
新潟市	133,391	159,201	83.8%	2	76,989	152,011	50.6%	3
静岡市	117,036	144,212	81.2%	13	60,700	133,496	45.5%	16
浜松市	148,149	180,070	82.3%	8	72,015	154,891	46.5%	14
名古屋市	379,892	461,359	82.3%	6	193,262	409,317	47.2%	12
京都市	171,981	225,945	76.1%	20	109,401	233,017	46.9%	13
大阪市	337,084	425,192	79.3%	17	218,382	433,474	50.4%	4
堺市	118,152	147,314	80.2%	15	61,489	138,295	44.5%	18
神戸市	210,907	266,782	79.1%	18	116,932	258,157	45.3%	17
岡山市	114,417	139,495	82.0%	9	66,154	132,950	49.8%	6
広島市	203,945	245,352	83.1%	4	106,506	225,488	47.2%	11
北九州市	138,559	170,617	81.2%	11	78,428	161,639	48.5%	8
福岡市	232,281	288,377	80.5%	14	150,504	301,552	49.9%	5
熊本市	110,224	135,149	81.6%	10	71,714	139,739	51.3%	2
政令市平均			81.2%				47.7%	



政令市平均 (男性) = 81.2%
政令市平均 (女性) = 47.7%

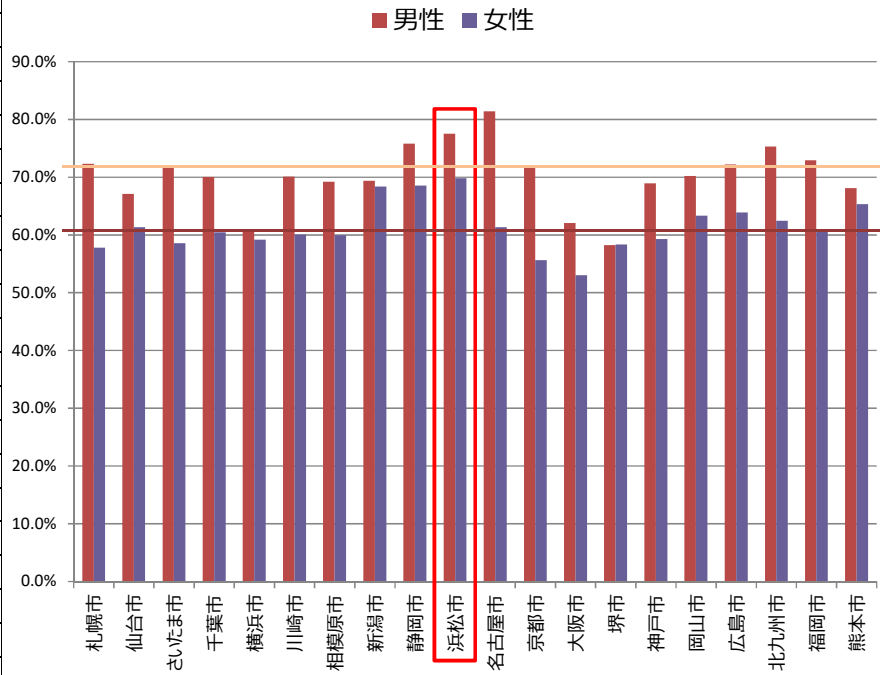
出典: 総務省「国勢調査」

※外国人を含む

15歳から64歳までの就業率（2020年）

就業率：15歳以上人口に占める就業者の割合

	男性	順 (男性)	女性	順 (女性)
札幌市	72.3%	6	57.7%	18
仙台市	67.1%	17	61.3%	8
さいたま市	71.7%	9	58.6%	16
千葉市	70.0%	12	60.5%	11
横浜市	61.0%	19	59.2%	15
川崎市	70.1%	11	60.0%	12
相模原市	69.2%	14	59.9%	13
新潟市	69.3%	13	68.4%	3
静岡市	75.8%	3	68.5%	2
浜松市	77.5%	2	69.8%	1
名古屋市	81.4%	1	61.3%	9
京都市	71.8%	8	55.6%	19
大阪市	62.1%	18	53.0%	20
堺市	58.2%	20	58.4%	17
神戸市	68.9%	15	59.3%	14
岡山市	70.2%	10	63.3%	6
広島市	72.1%	7	63.9%	5
北九州市	75.3%	4	62.4%	7
福岡市	72.9%	5	60.6%	10
熊本市	68.1%	16	65.3%	4
政令市平均	72.7%		61.1%	

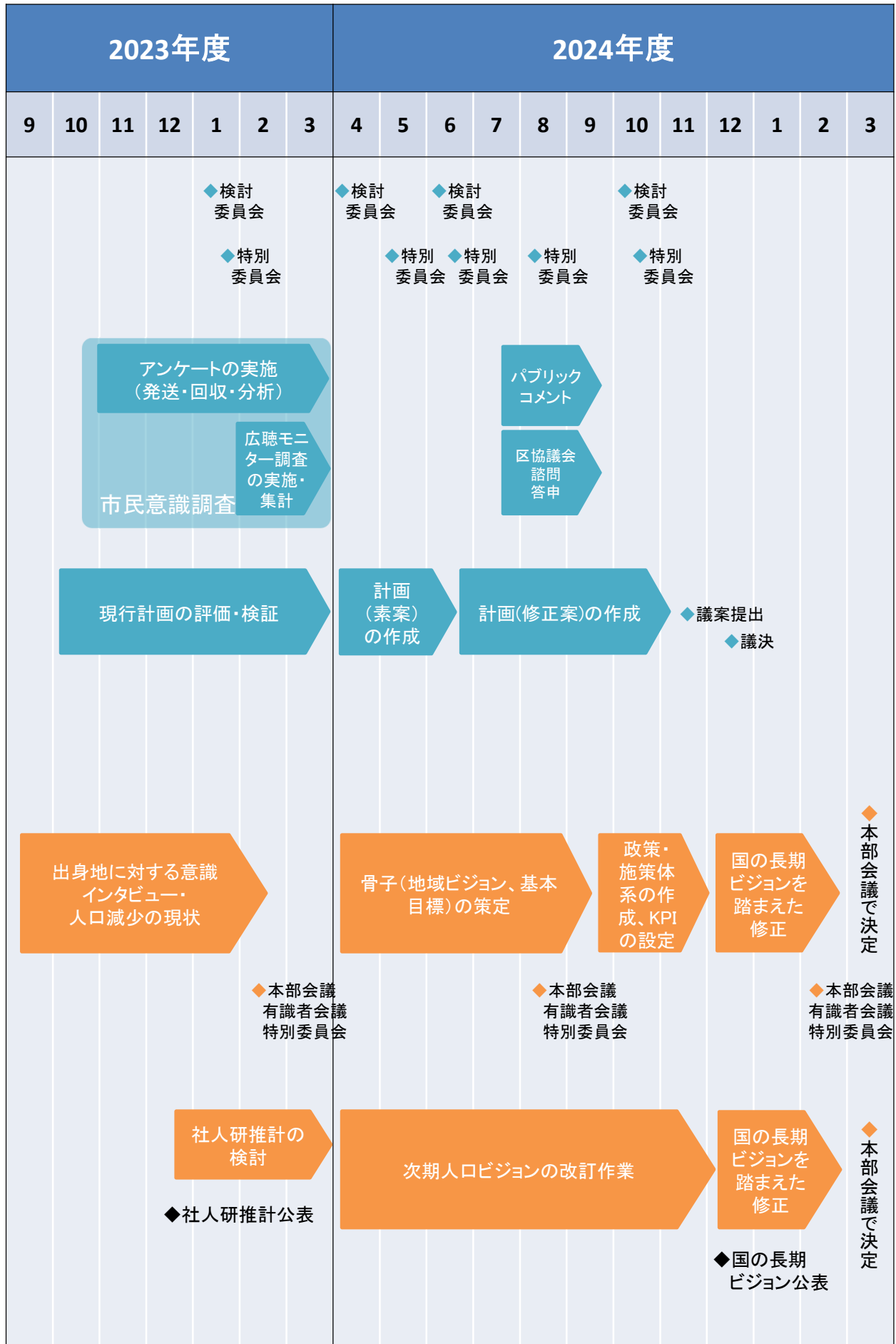


政令市平均（男性） = 72.7%
政令市平均（女性） = 61.1%

※外国人を含む

出典：総務省「国勢調査」

今後のスケジュールについて



基本計画の動き

総合戦略の動き

次期基本計画、次期総合戦略 計画期間開始(2025.4)

2023年度第2回浜松市“やらまいか”総合戦略推進会議について

1 日時

2024年2月16日（金）午後1時30分から午後3時30分（浜松市役所本館5階 庁議室）

2 次第

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| (1) 開会 | (5) 意見交換 |
| (2) 市民意識調査（アンケート）の
中間報告について | <テーマ>
・少子化
・若い世代の流出 |
| (3) 人口減少の状況について | |
| (4) 今後のスケジュールについて | (6) 閉会 |

3 委員

分野	No.	所属	役職	氏名	備考
産	1	浜松商工会議所	副会頭	石川 雅洋	
	2	浜松パワーフード学会	会長	秋元 健一	
	3	浜松市スタートアップ戦略推進協議会	委員	吹野 豪	欠席
官	4	浜松市	浜松市長	中野 祐介	座長
学	5	国立大学法人 静岡大学	情報学部長	笹原 恵	
	6	公立大学法人静岡文化芸術大学	文化政策学部 文化政策学科 准教授	小林 淑恵	オン ライン
金	7	株式会社静岡銀行	地域共創戦略担当部長	名倉 秀樹	
	8	浜松いわた信用金庫	営業店統括部 営業店支援室推進役	鈴木 真由美	
労	9	浜松市労働教育協議会	委員長	藤崎 淳	
言	10	株式会社中日新聞社 東海本社	取締役東海本社代表	大場 司	
	11	株式会社静岡新聞社・ 静岡放送株式会社	執行役員 浜松総局長	伊藤 充宏	
民	12	浜松市自治会連合会	総務部会委員	鈴木 芳次	欠席
士	13	静岡県社会保険労務士会 浜松支部	支部長	山村 隆浩	
他	14	社会福祉法人聖隷福祉事業団	理事／常務執行役員／ 人事企画部長	鎌田 裕子	

4 委員からの主な意見

◆市民意識調査（アンケート）について

- 分野に関する現在と10年後の重要度の比較について、先に来る方に回答が多くなるなどといった傾向があるのではないかと思うので検討してほしい。
- 有効回収率52.8%は高い方であり、データの信頼性もあると思う。「あなたは」「あなたの地域は」「浜松市は」など、設問によって聞き方が異なっており、今後の分析では、聞き方によって分けてクロス集計等を実施する必要があるのではないか。

◆人口減少の状況について

- インタビューと人口減少の現状と比べると、浜松で就職すると考えた時に、自分のやりたいものがないという意見がある。ものづくりのまちのため、今の大学生の感覚があっていないのではないか。若い世代がものづくりの面白さを実感できる取組を行っている中で、短期的、長期的な対策の双方が必要である。
- 浜松市は製造業の誘致には熱心に取り組んでいるが、女性の受け皿となるような職業、職種の誘致も必要である。他自治体の成功事例も参考にしながら深堀をする必要がある。
- 大学生が少ないことが、流出を含めて人口分析に影響していると思う。学生数が少ないのか学校数が少ないのかや、他地域から通っているのか住んでいる人が少ないのかなどの分析は今後のヒントとなる。
- 大学内でも出身地分析を行っている。県外出身学生に聞くと、浜松市は気候が良く住みやすい、適度に田舎・都会であり非常に気に入っているという意見を聞く。大学を増やすということもあるが、大学の魅力を高め全国から来ていただく必要がある。
- 大学では、毎年入学する学生が減っていると聞く。学生が在学期間中に楽しむことができるまちなかかどうか、卒業後に就職したい企業があるか、人口減少社会で人を集めるために何をすべきかという論点は煮詰めていくべきである。
- 浜松は、家族で住むには住みやすい街である一方で、住まないに住みやすいかどうか分からないため、魅力の発信が必要である。また、女性が戻らない理由は何か。製造業で求められている人材は男性が多いが、男性も減ってきているため、男女関係なく人手は必要となっている。製造業と限定せずに引き続き深堀をしてもらいたい。
- 浜松市では外国人に対する独自の支援があり、細部に目を向けて細かな事業を行っているが、制度があるのに知られず使われていない。女性や未婚に限らず、多文化共生やグローバルなことにも目を向けて、取り組んでいく必要がある。
- 教育移住にニーズがある。インターナショナルスクールのような都市部でしか受けることができないような教育を地方で手頃に受けることができれば、子どもの教育は浜松で、親はリモートで、週1回新幹線で出社するような手段も取れるのでは。
- 浜松は外国人を受け入れる素地がある。単純労働者でなく高度人材を招き、浜松版シリコンバレーとなれば、産業が魅力のある所になる。例えば、インターナショナルスクールの誘致も教育問題の解決と新たな産業ができる礎となる。
- 女性の活躍といったときに、そのロールモデルがない。浜松で活躍している女性をアピールすることも大事である。